SPEEDIA

B9500シリーズ
取扱説明書

プリンターの基本的な使い方、よく使う機能
エラーメッセージが表示されたときの解決方法
などを抜粋して記載しています。

本書に記載されていない詳しい説明が
CD-ROM 内に収録されていますので、
併せてご覧ください。

品種コード　B1-EJ1C

プリンターをご使用になる前に必ずお読みください。
また、ご使用中もお手元に置いてご活用ください。

CASIO

はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
この「取扱説明書」は、製品の正しい使い方や使用上の注意、不具合が起きたときの処置のしかたについて説明したものです。
本製品を安全に正しくご利用いただくためにご使用になる前に最後までよくお読みいただき、ご使用中もお手元に置いてご活用ください。

保証

本書は、CASIO SPEEDIA B9500に関して記載しております。
その他のモデルに関しては、同梱の保証規約をご参照ください。

お客様へのお願い
万一の故障に関しまして、その対応をスムーズに実施するために、弊社ではお買い上げいただいたお客様の登録をさせていただいております。お客様登録をさせていただいた製品に対し、製品購入日から6ヶ月以内に限り規定に基づき無償で修理致します。大変お手数とは存じますが、ご協力の程、お願い申し上げます。

①製品に同梱されている「お客様登録のご案内」に従ってご登録ください。
②お客様登録時に表示されるサービス規約をご確認ください。
③お客様登録後に保証書は発行されません。

無償保証規約（概要）
本機は高度な電子技術と機械技術（メカ トロニクス）および万全の品質管理の下で造られた製品です。
お客様の正常な使用状態（取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意事項に従った使用状態）で、万一故障が生じた場合は製品購入日から6ヶ月以内に限り規定に基づき無償で修理いたします。

1. 次の場合は無償保証期間内でも有償となり、修理に要した実費を申し受けますのでご了承ください。
   （1）取扱説明書に記載の使用方法、使用環境、または本体貼付ラベルなどの注意事項に反するお取扱いにより生じた故障および損傷
   （2）火災・天災などの災害、異常電圧など外部要因に起因する故障および損傷
   （3）弊社以外の者による不適当な修理や改造およびドラムユニット、トナーカートリッジ、トナードラムユニット、廃トナーボックスなどの消耗品の分解、改造に起因する故障および損傷
   （4）製品に接続している他の機器に起因する故障および損傷
   （5）ご使用中に、外装・操作パネルなどに生じたキズなどの外観上の変化
   （6）製品の移動によって生じた故障および損傷
2. 以下は無償保証の対象外となります。
   （1）用紙、ドラムユニット、トナーカートリッジ、トナードラムユニット、廃トナーボックスなどの消耗品
   （2）プリンタードライバーやユーティリティなどのソフトウェア
   （3）給紙装置を除くプリンターのオプション品
3. 設置場所などのお客様登録の情報に変更がある場合には、必ず弊社コンタクトセンターへ変更内容をご連絡ください。お客様登録された情報と異なる場合、保証期間内であっても有償修理となる場合があります。
4. 保証サービスの実施においていかなる場合でも、製品に蓄積、搭載されたファイル、データ、ソフトウェア、設定内容やログ等の保存に関して、保証するものではありません。
5. 修理内容などの記録は、修理伝票にかえさせていただきます。
6. 弊社は消耗品および補修用性能部品（修理用部品）を、生産終了後5年間保有しています。
7. 無償保証期間経過後の修理は、実費にて申し受けます。

保守契約制度がありますので、カスタマーコンタクトセンターにお申し込みください。
ご不明な点などありましたら、お客様のご相談窓口としてカスタマーコンタクトセンターをご利用ください。

電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

関連法令及び規格

関連法令及び規格	国際エネルギースタープログラム基準適合、エコマーク商品累型No.122「プリンタ」適合、グリーン購入法が定める「特定調達物品等」に適合、RoHS指令、クラスB情報処理装置（VCCIクラスB）

目次

はじめに・・・

目次

本体内部（前面）・・・

手差しトレイに用紙をセットする・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・71
はがき、封筒をセットする・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・73
はがきをセットする・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・73
封筒をセットする・・75
天地の向き・裏表のある用紙（レターヘッド紙）をセットする・・・・・・・・・・・・・・・・・79
用紙の設定・・・81
用紙サイズを設定する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・81
定形サイズを設定する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・81
不定形サイズを設定する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・81
用紙種類を設定する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・82
用紙に独自の名前を付けて使用する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・83
用紙種類に名前を付けて登録する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・83
トレイにユーザー用紙種類を設定する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・83
登録した用紙種類に印刷をする・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・84
操作部を使用してはがき、封筒を設定する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・85
印刷する
プリンタードライバーの設定画面を開く・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・87
ドライバーの設定画面を開く・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・87
［スタート］から印刷設定画面を開く・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・87
アプリケーションから開く・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・88
かんたん設定を使用する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・88
プリンタードライバーのヘルプを表示する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・89
基本的な印刷・・90
印刷する・・90
はがき、封筒に印刷する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・92
印刷を中止する・・・93
印刷開始前のとき・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・93
印刷中のとき・・・93
用紙サイズや用紙種類のエラーが表示されたとき・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・94
強制印刷する・・・94
トレイの用紙設定を変更して印刷する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・94
手差しトレイからの印刷を継続する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・95
便利な印刷機能・・96
用紙の両面に印刷する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・96
複数のページを集約して印刷する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・96
1 ページを複数枚に分けて印刷する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・98
製本印刷する・・100
部単位で印刷する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・102
トナーを節約して印刷する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・103

原稿に文字やイメージをスタンプする・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・103
複製できない文書を印刷する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・104
不正コピー抑止地紋を設定する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・104
不正コピーガードを設定する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・106
おことわり・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・107
表紙に印刷する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・108
合紙を挿入する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・109
分類コードで印刷枚数を管理する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・110
分類コードを設定する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・111
分類コードを入力して印刷する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・111
消耗品の補給と交換
消耗品を交換する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・113
トナーカートリッジを交換する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・114
トナーカートリッジの交換メッセージ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・115
トナーカートリッジの交換方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・116
ドラムユニットを交換する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・119
ドラムユニットの交換メッセージ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・119
ドラムユニットの交換方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・120
消耗品一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・124
定期交換部品・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・124
こまったときには
ブザー音が鳴ったとき・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・125
操作部のランプ、マーク、メッセージを確認するとき・・・・・・・・・・・・・・・・・・127
マークが表示されたとき・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・127
メッセージが表示されたとき・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・128
状態表示メッセージ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・128
エラーコードがないメッセージ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・129
エラーコードが表示されるメッセージ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・135
印刷が始まらないとき・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・140
データインランプが点灯、点滅しないとき・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・141
ＵＳＢ接続がうまくいかないとき・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・142
思いどおりに印刷できないとき・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・143
きれいに印刷できないとき・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・143
給紙がうまくいかないとき・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・147
その他のトラブルシューティング・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・152
用紙がつまったとき・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・155
紙づまり（Ａ１）が発生したとき・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・156
紙づまり（Ａ２）が発生したとき・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・158
紙づまり（Ｂ）が発生したとき・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・160

紙づまり（B）（C）が発生したとき ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・163
紙づまり（Y1）、（Y2）または（Y3）が発生したとき・・・・・・・・・・・・・・・・168
紙づまり（Z1）が発生したとき・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・170
紙づまり（Z2）が発生したとき・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・172
紙づまり（Z3）が発生したとき・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・174
保守／仕様
守ってほしいこと・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・179
使用上のお願い・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・179
印刷物の取り扱い・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・180
本機を移動する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・181
本機を清掃する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・183
清掃のしかた・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・183
給紙トレイ、給紙コロを清掃する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・183
レジストローラーを清掃する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・186
手差しトレイの給紙コロを清掃する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・188
ＬＥＤヘッドを清掃する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・189
定着器を清掃する（定着クリーニング機能） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・191
電源プラグを清掃する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・191
印刷濃度を調整する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・193
印刷位置を調整する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・193
用紙の反りを低減する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・194
縦すじの発生を防止する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・195
手動ドラム回転を実行する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・195
低温モードを有効にする・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・196
初期設定項目一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・197
初期設定項目の機能説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・212
省エネルギー機能・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・231
本体とオプションの仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・233
本体の仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・233
増設トレイの仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・237
印刷速度の仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・237
外形寸法の仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・239
Web Image Monitor の設定項目一覧 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・240
商標・・273
索引・・275
使用済みコンピューター・プリンター・情報通信機器の回収再資源化について・・・・・・・・277
使用済み消耗品の回収とリサイクルについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・277

使用説明書の紹介

分冊名	同梱されている説明書	CD-ROM 内の説明書
取扱説明書	紙マニュアル	PDF マニュアル
かんたんセットアップ	紙マニュアル	PDF マニュアル
セキュリティーガイド	-	PDF マニュアル
ドライバーインストールガイド	-	PDF マニュアル
簡単エコ印刷ナビマニュアル	-	PDF マニュアル

取扱説明書（本書）

本機の基本的な使いかた、よく使う機能、エラーメッセージが表示されたときの対処方法などについて説明しています。

かんたんセットアップ

本機を梱包箱から取り出し、パソコンと接続するまでの手順を説明しています。

取扱説明書の種類と概要

画面で見る使用説明書（PDF）の一覧と概要を説明しています。

セキュリティーガイド

管理者向けの説明書です。本機のセキュリティー機能を活用することで、機器の不正使用、データ改ざん、情報漏洩などを未然に防止できます。

セキュリティー強化のために、最初に設定をすることをお勧めします。

ドライバーインストールガイド

付属 CD-ROM に収録されているプリンタードライバー、ソフトウェアおよび本機とパソコンの接続方法の種類について説明しています。

簡単エコ印刷ナビマニュアル

両面印刷やトナーセーブなどのエコモードを簡単に設定する、簡単エコ印刷ナビの操作方法を説明しています。

補足

・PDF 形式の使用説明書をご覧になるには、Adobe Reader が必要です。

おことわり

本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
本機に登録した内容は、必ず控えをとってください。お客様が操作をミスした場合、あるいは本機に異常が発生した場合、登録した内容が消失することがあります。
本機の故障による損害、登録した内容の消失による損害、その他本製品および使用説明書の使用または使用不能により生じた損害について、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。
本製品（ハードウェア、ソフトウェア）および取扱説明書（本書・付属説明書）を運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。

本書についてのご注意

機械の改良変更等により、本書のイラストや記載事項とお客様の機械とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。
画面の表示内容やイラストは機種、オプションによって異なります。
本書は、原則的にオプションを装着した状態の画面と外観イラストを使って説明しています。
本書の一部または全部を無断で複写、複製、改変、引用、転載することはできません。

IP アドレスについて

本書で「IP アドレス」と表記されているときは、IPv4 と IPv6 の両環境に対応していることを示しています。使用環境に合わせてお読みください。

安全上のご注意

安全に関する注意事項を説明します。
本機を安全に正しくご使用いただくために以下の内容をお守りください。

注意表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために次のような注意表示をしています。

⚠警告 この表示が付いた注意文を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意 この表示がついた注意文を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負うまたは財産に損害を与える可能性が想定される内容を示しています。

絵表示について

安全表示の例

△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
⃠の中に具体的な禁止内容が描かれています。
（左図の場合は、“分解禁止”を表します）

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
●の中に具体的な指示内容が描かれています。
（左図の場合は、“アース線を必ず接続すること”を表します）

使われているマークの意味

本書で使われているマークには次のような意味があります。

重要

機能をご利用になるときに留意していただきたい項目を記載しています。紙づまり、原稿破損、データ消失などの原因になる項目も記載していますので、必ずお読みください。

補足

機能についての補足項目、操作を誤ったときの対処方法などを記載しています。

参照

説明、手順の中で、ほかの記載を参照していただきたい項目の参照先を示しています。

［ ］

キーとボタンの名称を示します。

『 』

本書以外の分冊名称を示します。

▶

操作部を使用する手順の中で、続けて行うキー操作を示しています。

例：

［インターフェース設定］ ▶ ［OK］

（［インターフェース設定］を選択して、［OK］キーを押します）

設置接続について守っていただきたいこと

⚠警告

・接地接続してください。接地接続がされないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。接地接続がコンセントのアース端子にできない場合は、接地工事を電気工事業者に相談してください。

・接地接続は、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因になります。

本機のアース線は必ず下記アース対象物に接続してください。

・コンセントのアース端子

・接地工事（D 種）を行っているアース線

使用環境について守っていただきたいこと

⚠警告

・機械の近くまたは内部で可燃性のスプレーや引火性溶剤などを使用しないでください。引火による火災や感電の原因になります。

・この機械の上や近くに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品、水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入ったりすると、火災や感電の原因になります。

⚠注意

・湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。

・ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

・この機器の上に重いものを置かないでください。置いたもののバランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因になります。

・換気の悪い部屋や狭い部屋で、長時間連続して使用するときや、大量の印刷を行うときには、部屋の換気を十分に行ってください。

・この機械の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因になります。

電源プラグ、電源コードの取り扱いについて守っていただきたいこと

⚠警告

- 表示された電源電圧以外では使用しないでください。火災や感電の原因になります。

- 表示された周波数以外では使用しないでください。火災や感電の原因になります。

- タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因になります。

- 延長コードは使用しないでください。火災や感電の原因になります。

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工しないでください。また、重いものをのせたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災や感電の原因になります。

- 電源コードが傷んだり、芯線の露出・断線などが見られるときはサービス実施店に交換を依頼してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。

- 電源プラグは年１回以上コンセントから抜いて、点検してください。
  - 電源プラグに焦げ跡がある
  - 電源プラグの刃が変形している

上記のような状態のときは、そのまま使用せずに販売店またはサービス実施店に相談してください。
そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

- 電源コードは年１回以上コンセントから抜いて、点検してください。
  - 電源コードの芯線の露出・断線などがみられる
  - 電源コードの被膜に亀裂、へこみがある
  - 電源コードを曲げると、電源が切れたり入ったりする
  - 電源コードの一部が熱くなる
  - 電源コードが傷んでいる

上記のような状態のときは、そのまま使用せずに販売店またはサービス実施店に相談してください。
そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

- 電源プラグの刃に金属などが触れると、火災や感電の原因になります。

・同梱されている電源コードセットは本機専用です。本機以外の電気機器には使用できません。また、同梱されている電源コードセット以外は使用しないでください。火災や感電の原因になります。

・濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

⚠注意

・電源プラグは根元までしっかり差し込んでください。また、接触不良になりやすい、ゆるくグラグラするコンセントで使わないでください。発熱の原因になります。

・連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

・電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

・電源プラグは年に１回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因になります。

・お手入れをするときは、安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

本体の取り扱いについて守っていただきたいこと

⚠警告

・機械は電源コンセントにできるだけ近い位置に設置し、異常時に電源プラグを容易に外せるようにしてください。

・万一、煙が出ている、へんなにおいがするなど異常状態が見られるときは、すぐに電源を切ってください。その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてサービス実施店に連絡してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。

・万一、金属、水、液体などの異物が機械内部に入ったときは、すぐに電源を切ってください。その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてサービス実施店に連絡してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。

・近くで落雷が発生しているときは、本機に触らないでください。感電の原因になります。

・ポリ袋の WARNING 表示の意味は次のとおりです。
  ・本製品に使用しているポリ袋などを乳幼児の近くに放置しないでください。口や鼻をふさぎ、窒息する恐れがあります。

・機械を落としたり、カバーなどを破損したときは、すぐに電源を切ってください。その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてサービス実施店に連絡してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。

⚠注意

・機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、回線コードなど外部の接続線をはずしたことを確認のうえ行ってください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

・給紙テーブル（オプション）を接続したまま移動するときは、本体上部を無理に押さないでください。本体と給紙テーブルがはずれて、けがの原因になります。

・機械を移動したときは、キャスター留めをするなど固定してください。動いたり、倒れたりして、けがの原因になります。

・機械本体は約 20kg あります。
・機械を移動するときは、両側面の中央下部にある取っ手を２人で持ち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。
・長距離を移動するときは、サービス実施店に相談してください。

機械内部の取り扱いについて守っていただきたいこと

⚠警告

・本書で指定している部分以外のカバーやねじは外さないでください。機械内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。機械内部の点検・調整・修理はサービス実施店に依頼してください。
・この機械を分解・改造しないでください。火災や感電の原因になります。

⚠注意

・機械内部には高温の部分があります。紙づまりを取り除くときは、本書で指定している場所以外には触れないでください。やけどの原因になります。

・用紙（記録紙）を交換するときは、指を挟んだり、けがをしないように注意してください。

・封筒レバーを操作する時には、指を挟んだり、けがをしないように注意してください。

消耗品の取り扱いについて守っていただきたいこと

⚠警告

・トナー（使用済みトナーを含む）、トナーの入った容器、およびトナーの付着した部品を火中に投入しないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。

・トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器は、火気のある場所に保管しないでください。引火して、やけどや火災の原因になります。

・ポリ袋の WARNING 表示の意味は次のとおりです。
　・本製品に使用しているポリ袋・手袋などを乳幼児の近くに放置しないでください。口や鼻をふさぎ、窒息する恐れがあります。

・こぼれたトナー（使用済みトナーを含む）を掃除機で吸引しないでください。吸引されたトナーが掃除機内部の電気接点の火花などにより発火や爆発の原因になります。ただし、トナー対応の業務用掃除機は使用可能です。トナーをこぼしたときは、トナーを飛散させないように、水で湿らせた布などで拭きとってください。

⚠注意

・トナーの入った容器を無理に開けたり、強く握ったり、つぶしたりしないでください。トナーが飛び散ると、トナーを吸い込んだり、衣服、手、床などを汚す原因になります。

・トナー（使用済みトナーを含む）、トナーの入った容器、およびトナーの付着した部品は子供の手の届かないところに保管してください。子供が誤ってトナーを飲み込んだときは、直ちに医師の診断を受けてください。

・トナー（使用済みトナーを含む）を吸い込んだときは、多量の水でうがいをし、空気の新鮮な場所に移動してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

・トナー（使用済みトナーを含む）が目に入ったときは、直ちに大量の水で洗浄してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

・トナー（使用済みトナーを含む）を飲み込んだときは、胃の内容物を大量の水で希釈してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

・紙づまりを取り除くときやトナー（使用済みトナーを含む）を補給または交換するときは、トナーで手などを汚さないように注意してください。トナーが手などの皮膚についたときは、石鹸水でよく洗い流してください。

・紙づまりを取り除くときやトナー（使用済みトナーを含む）を補給または交換するときは、トナーで衣服などを汚さないように注意してください。衣服についたときは、冷水で洗い流してください。温水で洗うなど加熱するとトナーが布に染み付き、汚れが取れなくなることがあります。

・トナー（使用済みトナーを含む）の入った容器、およびトナーの付着した消耗品を交換するときは、トナー粉が飛び散らないように注意してください。取り外した使用済み消耗品は、ふたのあるものはふたをした上で袋に入れてください。

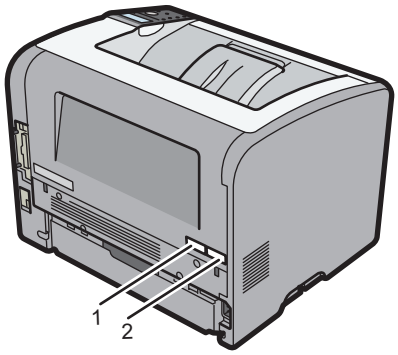
・ステープラーの針がついたままの用紙の再利用や銀紙、カーボン含有紙等の導電性の用紙は使用しないでください。火災の原因になります。

・SD カード は、子供の手に触れないようにしてください。
もし子供が誤って SD カードを飲み込んだときは、直ちに医師の診断を受けてください。

安全に関する本機の表示

警告・注意ラベル位置

本機には、下記に示す位置に安全にお使いいただくための **⚠警告** **⚠注意** のラベルまたは刻印があります。表示にしたがって安全にお使いください。



DBQ101

1.

機械本体は約 20kg あります。機械を移動するときは、両側面の中央下部にある取っ手を 2 人で持ち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。

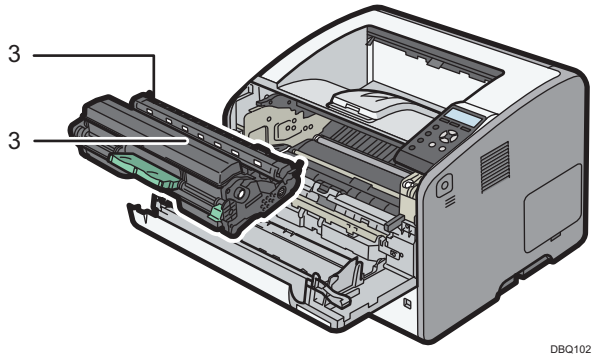
2.

設置接続してください。設置接続がされないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。

設置接続がコンセントのアース端子にできない場合は、設置工事を電気工事業者に相談してください。

設置接続は、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また設置接続を外す場合は必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

感電の原因になります。

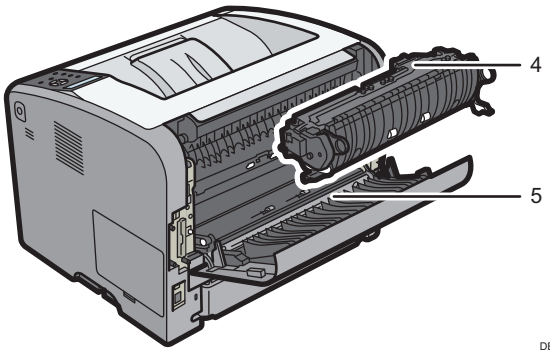


DBQ102

3.

CYN914

トナー（使用済みトナーを含む）、トナーの入った容器およびトナーの付着した部品を火中に投入しないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。
また、こぼれたトナー（使用済みトナーを含む）を掃除機で吸引しないでください。吸引されたトナーが掃除機内部の電気接点の火花などにより発火や爆発の原因になります。ただし、トナー対応の業務用掃除機は使用可能です。トナーをこぼしたときは、トナーを飛散させないように、水で湿らせた布などでふき取ってください。

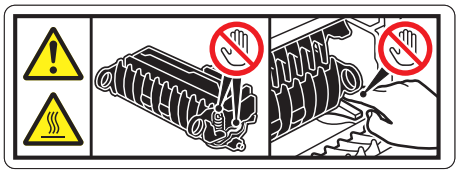


DBQ103

4.

DBQ901

5.



DBQ201

機械内部には高温の部分があります。紙づまりを取り除くときは、本書で指定している場所以外には触れないでください。やけどの原因になります。

電源スイッチの記号

本機のスイッチに記されている記号の意味は以下のとおりです。
⏻：スタンバイ

法律・規制

法律と規制に関する注意事項を説明します。

法律上の禁止事項

海外輸出規制

本製品は日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によって異なります。本装置および関連消耗品などをこれらの規制に違反して諸外国に持ち込むと罰則が課されることがあります。

複製・印刷に関するご注意

次のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしいものを作成することは法律により禁じられています。
・紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
・国債証券、地方債証券、、郵便為替証書、郵便切手、印紙
・株券、社債券、手形、小切手、定期券、回数券、乗車券、その他の有価証券
次のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により禁じられています。
・公務員または役所が作成した免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書
・私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
・役所または公務員の印影、署名または記号
・私人の印影または署名
他人の著作物を権利者に無断で複製、加工することは、個人的又は家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合を除き違法となります。
（関係法律について）
・刑法
・郵便法
・著作権法
・郵便切手類模造等取締法
・通貨及証券模造取締法

・印紙犯罪処罰法
・外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律
・印紙等模造取締法
・紙幣類似証券取締法

瞬時電圧低下耐力について

本製品は落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。

高調波規制について

この装置は「JIS C61000－３－２適合品」です。

国際エネルギースタープログラムについて

国際エネルギースタープログラムはコンピューターをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっております。対象となる製品はコンピューター、ディスプレイ、プリンター、ファクシミリ、複写機、スキャナー、複合機のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

物質エミッションについて

粉塵、オゾン、スチレン、ベンゼンおよび TVOC の放散については、エコマーク No.122「プリンタ Version2」の物質エミッションの放散速度に関する認定基準を満たしています。（本製品推奨トナーを使用し、印刷を行った場合について、RAL-UZ171 付属書 S-M に基づき試験を実施しました。）

ネットワークに接続するプリンターのセキュリティーについて

本製品をより安全にご利用いただくため、以下の対応を推奨いたします。

・ファイアウォールによる隔離されたネットワークで使用する

ファイアウォールによる内部のコンピュータネットワークの安全を維持して、インターネットからの不正アクセスを防止できます。

・プライベート IP アドレスで運用する

社内 LAN などのローカルエリアネットワーク環境で運用して、インターネットからの不正なアクセスを防ぐことができます。

・機器管理者のパスワードを変更する

機器管理者のパスワードを変更して、インターネットからの悪意ある第三者による不正な設定変更を防止できます。

ファイアウォールやプライベート IP アドレスで運用する際のルーター機器等の設定は、各製品メーカーにお問い合わせください。

リサイクル部品

本製品には、新品と同一の当社品質基準に適合したリサイクル部品を使用している場合があります。

各部の名称とはたらき

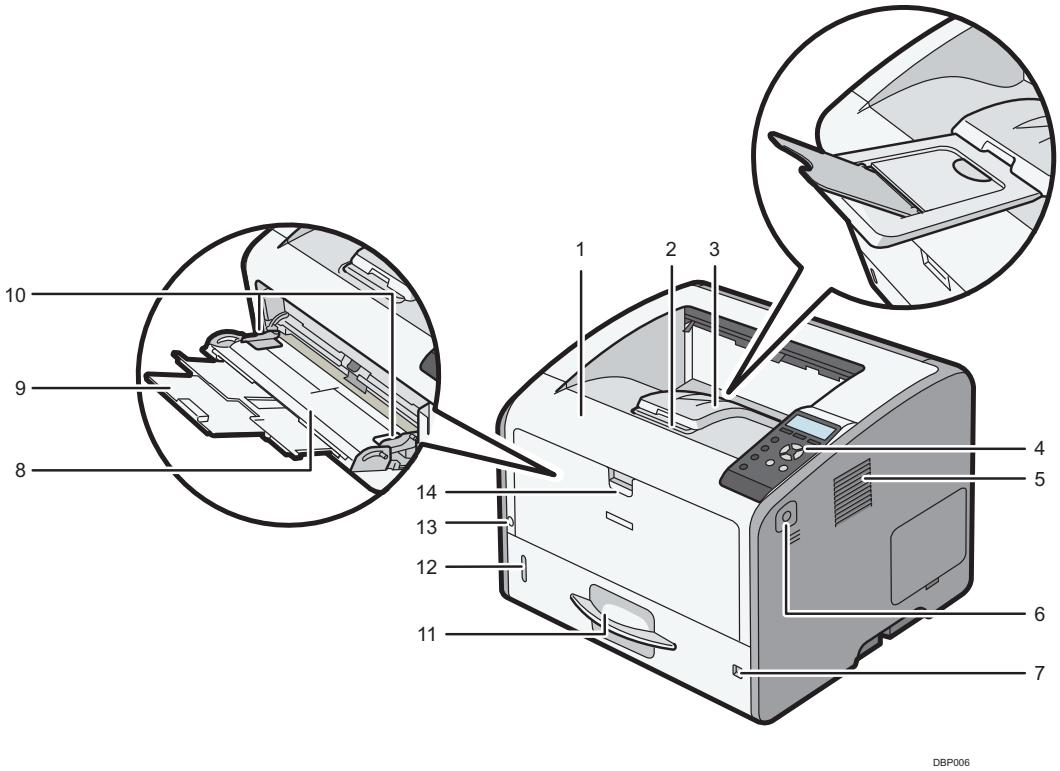
各部の名称とはたらきについて説明します。

本体各部の名称とはたらき

重要

・本機の横に物を置いたり、立てかけたりして通風孔をふさがないでください。
機械内部の温度が上昇すると、故障の原因になります。

本体前面



1. **前カバー**

トナーカートリッジやドラムユニットを交換するときに開けます。

2. **延長排紙トレイ**

排紙トレイから用紙が落ちないように引き出します。

3. **排紙トレイ**

印刷された用紙が、印刷面を下にして排紙されます。

4. **操作部**

詳しくは、P.28「操作部の名称とはたらき」を参照してください。

5. **通風孔**

機械内部の温度上昇を防止します。

6. **前カバーオープンボタン**

前カバーを開けるときに押します。

7. **用紙サイズダイヤル**

用紙サイズを指定するときにこのダイヤルを使用します。用紙サイズダイヤルに表示されていない用紙サイズを使用するときは、ダイヤルを"✳"に合わせてから操作部で用紙サイズを指定してください。

8. **手差しトレイ**

用紙をセットします。普通紙で最大 100 枚までセットできます。

使用できる用紙サイズや用紙種類については、P.60「セットできる用紙のサイズ」または、P.63「セットできる用紙の種類」を参照してください。

9. **手差しトレイ延長ガイド**

長い用紙をセットするときに引き出します。

10. **用紙ガイド**

手差しトレイに用紙をセットするときは、用紙ガイドを用紙サイズに合わせます。

11. **給紙トレイ（トレイ 1）**

用紙をセットします。セットできる枚数は機種によって異なります。

・普通紙：最大 550 枚

使用できる用紙サイズや用紙種類については、P.60「セットできる用紙のサイズ」または、P.63「セットできる用紙の種類」を参照してください。

12. **用紙残量インジケーター**

給紙トレイの中に残っている用紙のおおよその残量を示します。

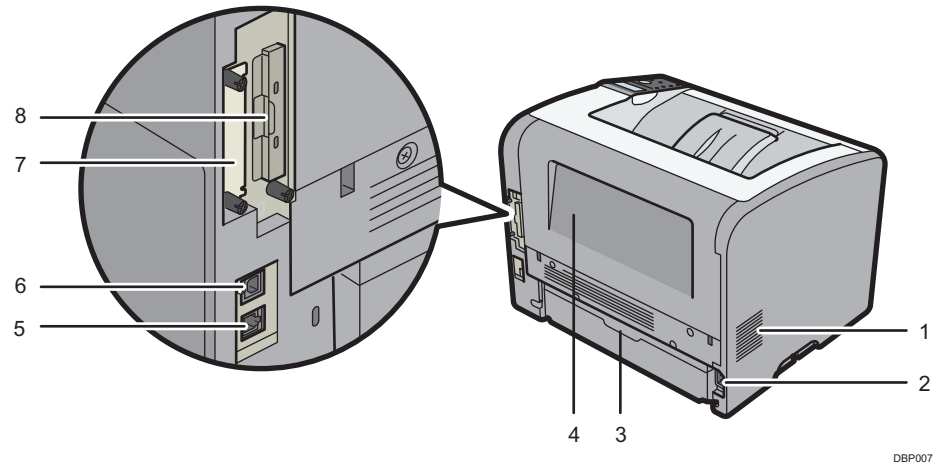
13. **電源スイッチ**

本機の電源を入れるときまたは切るときにこのスイッチを押します。

14. **手差しトレイオープンボタン**

手差しトレイを開けるときに押します。

本体背面



1. **通風孔**

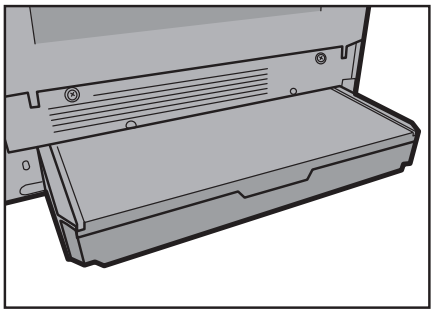
機械内部の温度上昇を防止します。

2. **本体電源コネクター**

本体の電源ケーブルを接続します。電源ケーブルの片方はコンセントに差し込みます。

3. **給紙トレイカバー**

給紙トレイの延長トレイを引き出したときに、塵やほこりの用紙への付着を防ぎます。



4. **後ろカバー**

定着ユニットを交換するときや、封筒レバーを操作するときに開けます。

5. **GigaBit イーサネットインターフェース**

本体とネットワークを接続するイーサネットケーブルを接続します。

6. **USB ポート B**

本体とパソコンを USB で接続するときに、このポートに USB ケーブルを接続します。

7. **拡張インターフェースボード用スロット**

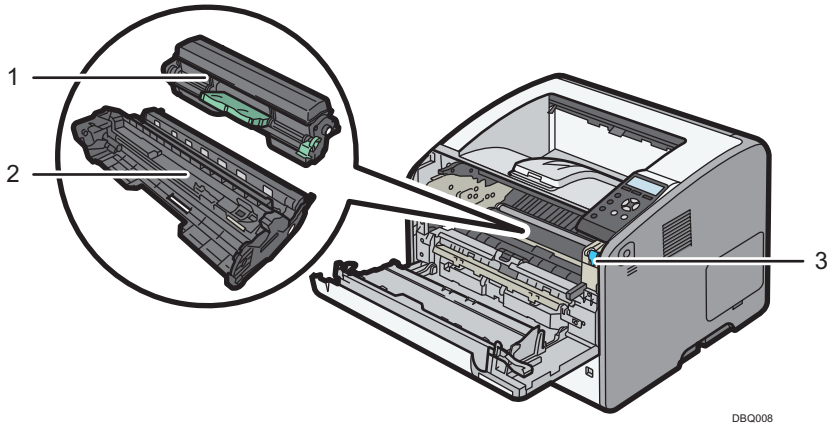
使用しません。

8. **拡張 SD カード用スロット**

上段：SD カードを使用した各種設定値のインポート／エクスポートに使用します。

下段：使用しません。

本体内部（前面）



1. **トナーカートリッジ**

つまった用紙を取り除くときに取り外します。

トナーカートリッジを交換する必要があるときは、画面にメッセージが表示されます。

画面に表示されるメッセージの詳細は、P.113「消耗品を交換する」を参照してください。

補足

・つまった用紙を取り除くときは、ドラムユニットごとそのまま引き出して取り外してください。トナーカートリッジだけ取り外すときは、右側にある緑色のレバーを押し下げてから引き出します。

2. **ドラムユニット**

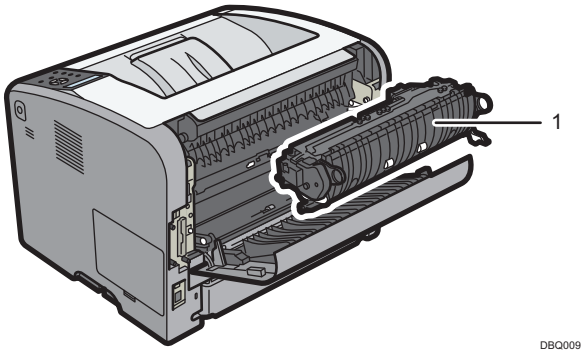
ドラムユニットを交換する必要があるときは、画面にメッセージが表示されます。

操作画面に表示されるメッセージの詳細は、P.113「消耗品を交換する」を参照してください。

3. **LED 清掃レバー**

LED ヘッドを清掃するときに操作します。

本体内部（背面）

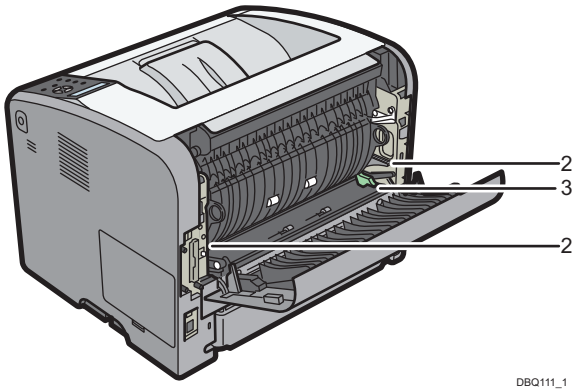


1. **定着ユニット**

用紙づまりを取り除くときに、両側にある定着ユニット固定レバーを上げてから取り外します。

定着ユニットを交換する必要があるときは、画面にメッセージが表示されます。

定着ユニットの交換については、サービス実施店に連絡してください。



2. **定着ユニット固定レバー**

定着ユニットを取り外すときは、両側のレバーを上げてロックを解除します。

定着ユニットを取り付けたときは、両側のレバーを下げてロックします。

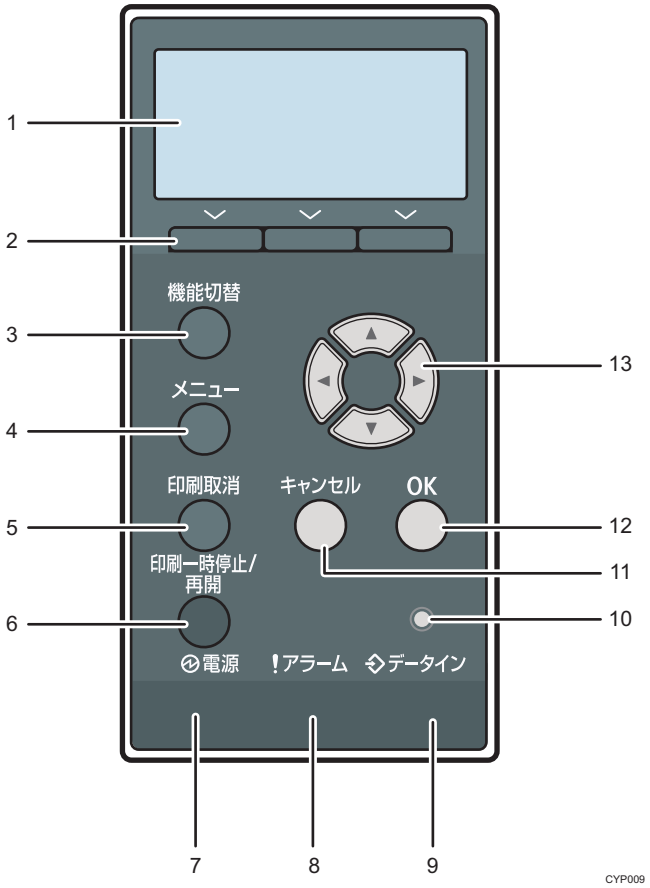
レバーが下がっていない状態では後ろカバーを閉じることができません。

3. **封筒レバー**

封筒を印刷して、しわや未定着が発生するときに紙種設定と合わせて操作します。

封筒レバーを下げると、画面のステータスメッセージに表示されます。

操作部の名称とはたらき



1. **画面**

本機の状態やエラーメッセージが表示されます。省エネモードに移行すると、［Energy Saver Mode］と表示されます。省エネモードについては、P.32「節電」を参照してください。

2. **［選択］キー**

画面下部に表示された項目を選ぶときに押します。

3. **［機能切替］キー**

複数のアプリケーションをインストールしているときに、各アプリケーションの操作画面に切り替えます。本機では使用しません。

4. **［メニュー］キー**

設定を変更したり、現在の設定を確認したりするときに押します。詳しくは、P.35「［メニュー］画面で本機を設定する」を参照してください。

5. **［印刷取消］キー**

印刷中または受信中のデータを取り消すときに押します。

6. **［印刷一時停止/再開］キー**

印刷中のデータを一時停止するときに押します。一時停止中はランプが点灯します。このキーをもう一度押すか、［オートリセット時間設定］で設定されている時間が経過すると印刷を再開します（工場出荷時の設定は「60 秒」）。

［オートリセット時間設定］については、P.201「時刻タイマー設定」を参照してください。

7. **電源ランプ**

電源が入っているときに点灯します。

電源が切れているときやスリープモードのときは消灯します。

8. **アラームランプ**

エラーが発生したときに、点灯または点滅します。

・赤点灯：印刷ができないか、印刷ができてもきれいな印刷結果が得られないことがあります。

・黄点滅：消耗品の交換時期が近づいています。

画面に表示されたエラーの内容を確認して対処してください。

エラーの表示内容については、P.125「こまったときには」を参照してください。

9. **データインランプ**

パソコンから送られたデータを受信しているときに点滅します。

印刷待ちのデータがあるときは点灯します。

10. **ECO ナイトセンサー**

室内の明るさを検知するためのセンサーです。

［明るさ検知自動電源オフ］の機能に使用します。

11. **［キャンセル］キー**

設定を有効にしないで前の画面に戻るときや、メニューから通常の表示に戻るときに押します。

12. **［OK］キー**

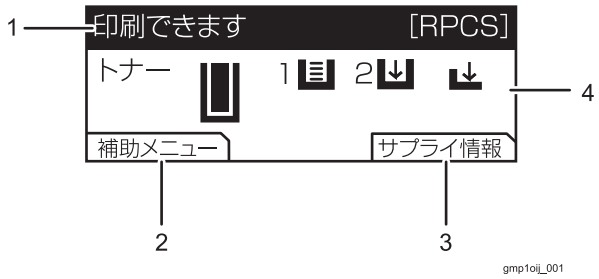
設定や設定値を確定させるとき、または次のメニューに移動するときに押します。

13. **［スクロール］キー**

カーソルを上下左右に移動させたり、設定値を増減させたりするときに使用します。

本書で［▲］［▼］［▶］［◀］と表記されているときは、同方向のスクロールキーを押します。

操作画面の名称とはたらき



gmp1oij_001

1. **ステータスメッセージ**

本機の状態やメッセージが表示されます。

2. **［補助メニュー］**

左の選択キーを押すと、以下のメニューが表示されます。

・強制排紙：改行コードがないなどの理由で印刷できないデータを印刷します。

・エラー履歴表示：エラーなどにより文書を印刷できなかったときは、エラーの履歴が残り、操作部で確認できます。

3. **［サプライ情報］**

右の選択キーを押すと、本機の消耗品および用紙の残量を確認できます。

4. **［状態情報］**

本機のトナー残量および用紙の有無を確認できます。

トナー

gmp1oij_003

トナーカートリッジの残量を表示します。およそ 10%単位で表示が変化します。

トナー残量にあわせて変化します。

1 2

gmp1oij_004

給紙トレイ内の用紙有無を表示します。

前の数字は給紙トレイの段数を表示します。

はトレイ内に用紙がセットされていることを表します。

はトレイ内に用紙がセットされていないことを表します。

gmp1oij_005

手差しトレイの用紙有無を表示します。

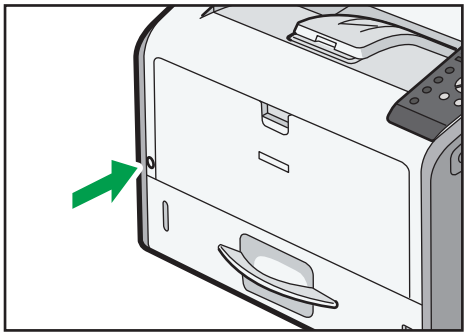
イラストは手差しトレイに用紙がセットされていないことを表します。

電源の入れかた、切りかた

本機の電源の入れかた、切りかたについて説明します。

電源の入れかた

1. **電源プラグが確実にコンセントに差し込まれているか確認します。**
2. **電源スイッチを押します。**



操作部の電源ランプが点灯します。

補足

・電源を入れたあとに、自動再起動の処理中の画面が表示されることがあります。機械内部で自動処理をするので、その間、電源スイッチを触らないでください。自動処理が完了するまでには 7 分程度の時間がかかる場合があります。

電源の切りかた

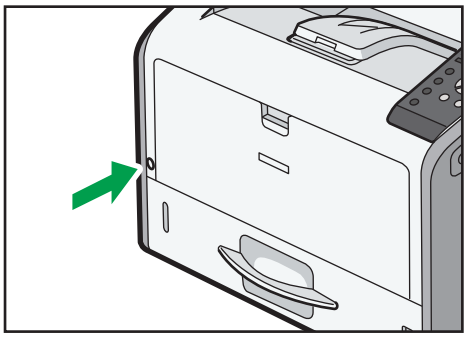
⚠注意

・電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

重要

・本機の電源を切るときは、電源スイッチを押し続けないでください。電源スイッチを押し続けると電源が強制的に切れるため、メモリーが破損して故障の原因になることがあります。
・電源プラグを抜くときは、電源ランプが消灯したことを確認してください。
・動作中に電源を切らないでください。電源を切るときは、動作が終了していることを確認してください。

1. 電源スイッチを押します。



シャットダウンの処理が終了すると自動的に電源ランプが消灯し、本機の電源が切れます。

画面に表示された残り時間を過ぎてもシャットダウンの処理が終わらないときは、サービス実施店に連絡してください。

節電

本機は節電のために、次の省エネ機能を搭載しています。

低電力モード

一定時間本機を操作しなかったときに、低電力モードに移行します。

低電力モードでは、操作部の画面を消灯して定着部のヒーター温度を下げるため、待機時より消費電力が少なくなります。

低電力モードに入るまでの時間は［低電力モード移行時間設定］で設定できます。

［低電力モード移行時間設定］については、P.203「システム設定」を参照してください。

低電力モードから復帰するには、以下のいずれかの操作をしてください。

・操作部のいずれかのキーを押す
・本機のカバーを開ける
・本機の本体給紙トレイまたはオプショントレイを引き出す
・印刷を実行する

また、ECO ナイトセンサーが明るさを検知したときも低電力モードから復帰します。

定着部オフモード

一定時間本機を操作しないと、定着部オフモードに切り替わります。

定着部オフモードでは、操作部の画面を表示したまま定着部のヒーターがオフになるため、待機時より消費電力が少なくなります。

定着部オフモード時は、操作部からの設定変更のような印刷を伴わない操作が実行できます。

定着部オフモードに入るまでの時間は［定着部オフモード（省エネ）移行設定］で設定できます。［定着部オフモード（省エネ）移行設定］については、P.203「システム設定」を参照してください。

定着部オフモードから復帰するには、以下のいずれかの操作をしてください。

・操作部で［調整/管理］の設定画面を表示する
・［定着部オフモード解除設定］を［操作部操作時］に設定しているときに操作部を操作する
・本機のカバーを開ける
・印刷を実行する

スリープモード

一定時間本機を操作しなかったときに、消費電力を抑えるスリープモードに移行します。

また、次のいずれかの操作や設定によってもスリープモードに移行します。

・［スリープモード移行時間］や［スリープモード移行時間設定］で設定した時間が経過したとき
・［ウィークリータイマー］で指定した時刻と曜日になったとき

スリープモードやウィークリータイマーの設定については、P.203「システム設定」を参照してください。

スリープモードから復帰するには、以下の操作をしてください。

・［機能切替］キー以外の操作部のいずれかのキーを押す
・印刷を実行する

また、ECO ナイトセンサーが明るさを検知したときもスリープモードから復帰します。

明るさ検知自動電源オフ

ECO ナイトセンサーが周囲の明るさを検知して自動的に電源を切ります。

夜間など本機を使用しない間、自動的に待機電力を約 0W に抑えることで、高い省エネ効果を発揮できます。

［明るさ検知自動電源オフ］については、P.203「システム設定」を参照してください。

重要

・この機能は工場出荷時より、［自動電源オフのみ］が有効となっています。日中も暗い場所に設置するとき（物陰、廊下、人感センサーのある場所など）は、センサー感度を変更するか、この機能を無効に変更することをお勧めします。
・設定変更により、明るくなると自動的に電源が入るようにすることができます。ただし、太陽光の明るさでも自動で電源が入る可能性があるので、太陽光が直接差し込む場所に設置するときは、工場出荷時の［自動電源オフのみ］が有効な状態で使用することをお勧めします。

補足

・省エネ機能に関する設定を複数しているときは、最初に条件を満たしたものから省エネ機能が有効となります。
・スリープモード中は印刷が始まるまで多少時間がかかります。
・次のようなときは、省エネ機能が働きません。
  ・外部の機器と通信中のとき
  ・警告画面が表示されているとき
  ・サービスコールが点灯しているとき
  ・用紙がつまっているとき
  ・トナー補給が表示されているとき
  ・トナー補給中のとき
  ・「初期設定」画面が表示されているとき
  ・リモートサービス通報画面が表示されているとき
  ・定着ウォームアップ中のとき
  ・データ処理中のとき
  ・印刷途中で動作が中断中のとき
  ・データインランプが点灯・点滅しているとき

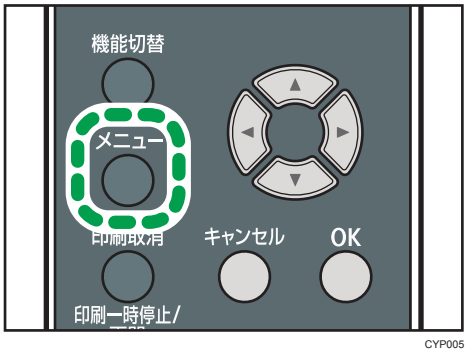
操作部で本機を設定する

［メニュー］画面で本機を設定する

重要

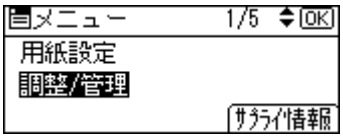
・［ログイン］ボタンが表示されている場合は、管理者認証が設定されており、操作するには管理者としてログインする必要があります。管理者に確認してください。

1. ［メニュー］キーを押します。

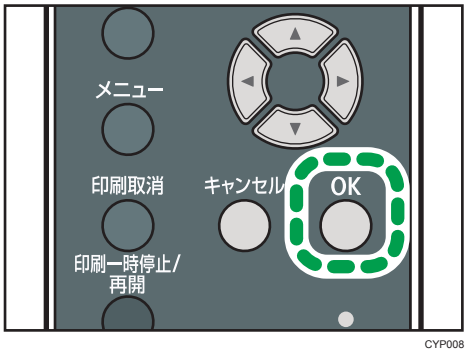


CYP005

2. ［▼］［▲］キーを押して設定する項目を選択します。



3. ［OK］キーを押して選択を確定します。



CYP008

4. ［メニュー］キーを押します。

［キャンセル］キーを押すことでも終了できます。

操作後は、通常の画面に戻してください。

補足

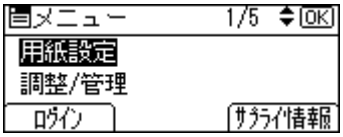
・設定/変更した内容は、設定し直さないかぎり有効です。

操作部からログインする

重要

・［ログイン］表示は、Web Image Monitor から管理者認証を有効にしたときに表示されます。

1. ［メニュー］キー ▶ ［ログイン］



2. 管理者のログインユーザー名を入力します。

［入力］ ▶ ログインユーザー名を入入力 ▶ ［入力終了］

3. 管理者のログインパスワードを入力します。

［入力］ ▶ ログインパスワードを入力 ▶ ［入力終了］

補足

・すでにユーザー認証が設定されているときは、認証画面が表示されます。管理者としてログインするときは、管理者のログインユーザー名とログインパスワードを入力します。

操作部からログアウトする

管理者認証が設定されているときは、各種設定が終了したあとに、必ずログアウトしてください。
スーパーバイザーも同じ方法でログアウトします。

1. ［ログアウト］を押します。

［ログアウト］が表示されていないときは、［メニュー］キーを押します。

2. ［する］を押します。

Web ブラウザーで本機を設定する

Web ブラウザーを使用して本機の状態を確認したり、本機のネットワークに関する設定を変更したりできます。この機能を Web Image Monitor といいます。

どんなことができるのか？

Web Image Monitor は、離れた場所にある本機の状態確認や設定変更をネットワークを介したパソコンの Web ブラウザー上からできる機能です。

Web Image Monitor では以下の操作ができます。

・本機の状態/設定の表示
・ジョブの状態/履歴の確認
・印刷中ジョブの中止
・本機のリセット
・アドレス帳の管理
・本機の各種設定
・ネットワークプロトコルに関する設定
・セキュリティーの設定

本機の環境設定

この機能は TCP/IP プロトコルを使用して動作します。Web Image Monitor を使用するときは、本機で TCP/IP プロトコルを設定してください。TCP/IP が正しく設定されると、この機能は自動的に有効になります。

推奨ブラウザー

Windows 環境：

Internet Explorer 6.0 以降
Firefox 10、または 15 以降
Google Chrome 19 以降

また、Web Image Monitor はスクリーンリーダーに対応しています。

推奨するアプリケーションは 95Reader Ver.6.0（XPReader）以降です。

補足

・使用するブラウザーのバージョンが推奨ブラウザーより低いときや、使用するブラウザーの設定で「JavaScript」、「Cookie の使用許可」が有効になっていないときは、表示や操作に不具合が生じることがあります。
・プロキシサーバーを使用するときは、ブラウザーの設定を変更してください。詳しくは、ネットワーク管理者に確認してください。

・Firefox を使用するときは、テーブルのくずれ、フォントや色の相違などが発生することがあります。
・IPv6 環境下の Windows Server 2003/2003R2/2008/2008R2/2012/2012 R2 でホスト名を使用するときは、外部の DNS サーバーでホスト名の解決をしてください。hosts ファイルは使用できません。
・Internet Explorer 8 以降を使用しているとき、ダウンロードに時間がかかることがあります。本機の URL を［インターネットオプション］から信頼済みサイトとして登録し、サイトの SmartScreen フィルター機能を無効にしてください。
詳しくは、Internet Explorer のヘルプを参照してください。
Web ブラウザーに表示される URL をブックマーク登録すると、Web Image Monitor 画面をすぐに呼び出せます。ログイン前のトップページ画面を登録してください。ログイン後のトップページ画面を登録すると、正しく表示されません。
ユーザー認証が設定されているときは、Web Image Monitor を表示するときにログインユーザー名とログインパスワードが必要です。詳しくは、P.39「Web Image Monitor のトップページを表示する」を参照してください。
・Web Image Monitor から設定するときは、操作部からログインしないでください。設定値が無効になることがあります。

Web Image Monitor のトップページを表示する

Web Image Monitor には、ゲストモードと管理者としてログインする管理者モードがあり、表示されるメニューが異なります。

ゲストモード

ログインしないで使用するモードです。

ゲストモードでは、本機の状態や設定、ジョブの状態などを表示できます。ただし、本機に関する設定は変更できません。

管理者モード

管理者としてログインして使用するモードです。

管理者モードでは、本機に関する各種の設定ができます。

Web Image Monitor にログインする

1. **Web ブラウザーを起動します。**
2. **Web ブラウザーのアドレスバーに「http://（本機の IP アドレス）または（ホスト名）/」と入力し、本機にアクセスします。**

   Web Image Monitor のトップページが表示されます。

   DNS サーバー、WINS サーバーを使用し、本機のホスト名が設定されているときは、ホスト名を入力できます。

   サーバー証明を発行し、SSL（暗号化通信）の設定をしているときは、「https://（本機の IP アドレス）または（ホスト名）/」と入力します。

重要

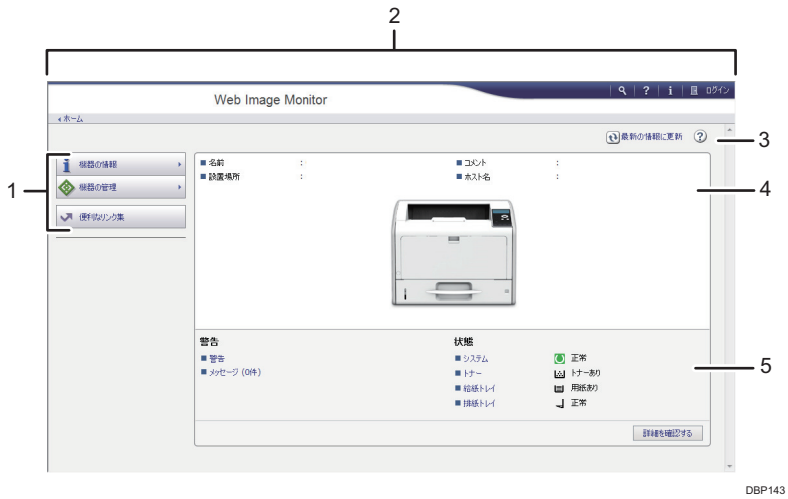
・IPv4 アドレスを入力するときは、各セグメントの先頭に付く「0」は入力しないでください。たとえば「192.168.001.010」のときは「192.168.1.10」と入力します。「192.168.001.010」と入力すると、本機に接続できません。

3. **管理者モードでアクセスするときは、Web Image Monitor のトップページで［ログイン］をクリックします。**

   ログインユーザー名とログインパスワードを入力する画面が表示されます。

4. **ログインユーザー名とログインパスワードを入力して、［ログイン］をクリックします。**

   ログインユーザー名とログインパスワードは管理者に確認してください。



1. **メニューエリア**

メニュー項目を選択すると、選択した内容が表示されます。

2. **ヘッダーエリア**

ヘルプ、バージョン情報や、キーワード検索用のボタンが表示されます。

また、ゲストモードと管理者モードを切り替えるために［ログイン］または［ログアウト］が表示されます。

3. **更新/ヘルプ**

（最新の情報に更新）：ワークエリア内の情報が更新されます。

Web ブラウザー

画面全体を更新するときは、ブラウザーの［更新］をクリックしてください。

（ヘルプ）：ヘルプファイルを閲覧したり、ダウンロードしたりできます。

4. **基本情報エリア**

本機の基本情報が表示されます。

5. **ワークエリア**

トップページでは、本機の現在の状態を表示します。また、メニューエリアで選択された項目の内容を表示します。

Web Image Monitor からログアウトする

1. **［ログアウト］をクリックします。**

補足

・ログアウト後は、Web ブラウザーのキャッシュを削除してください。

本機のセットアップ

本機のセットアップとオプションの接続について説明します。

本機をセットアップするときの流れ

1. **設置環境を確認します。**
   詳しくは、P.42「設置環境を確認する」を参照してください。

2. **開梱します。**
   ・同梱品を確認し、保護材や固定テープを本機から取り外します。
   詳しくは、『かんたんセットアップ』を参照してください。

3. **オプションを取り付けします。**
   詳しくは、P.44「オプションを取り付ける」を参照してください。

4. **電源コードを接続します。**
   詳しくは、P.46「電源コードを接続する」を参照してください。

5. **インターフェースケーブルを接続します。**
   詳しくは、P.48「パソコンに接続する」を参照してください。

6. **ネットワークの設定を変更します。**
   詳しくは、P.51「ネットワークの設定」を参照してください。

7. **用紙をセットします。**
   詳しくは、P.55「用紙をセットする」を参照してください。

8. **テスト印刷を実行し、本機が正常に動作するか確認します。**
   詳しくは、P.53「テスト印刷する」を参照してください。

9. **プリンタードライバーをインストールします。**
   詳しくは、『ドライバーインストールガイド』を参照してください。

設置環境を確認する

⚠注意

- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。
- この機器の上に重いものを置かないでください。置いたもののバランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因になります。
- 換気の悪い部屋や狭い部屋で、長時間連続して使用するときや、大量の印刷を行うときには、部屋の換気を十分に行ってください。
- この機械の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因になります。

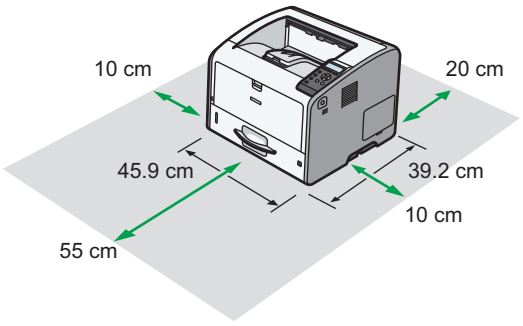
重要

・設置される前に、P.10「安全上のご注意」を必ずお読みください。
製品を安全に正しくお使いいただくために記載内容をお守りください。

設置環境

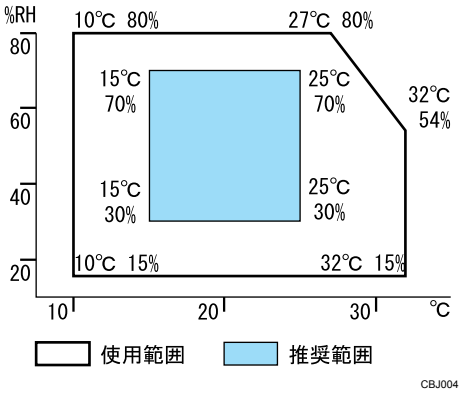
設置環境は下記を守ってください。

・メンテナンスをスムーズに行うために、本機の周辺に下記のスペースを確保してください。



・前後左右の段差が 3mm 以下の水平な場所に設置してください。

・故障の原因になるので、下記の場所には設置しないでください。
  ・直接日光の当たるところ
  ・空調機の送風、冷風、温風・ふくしゃ熱が直接当たるところ
  ・通気性、換気の悪いところ。また、ほこりの多いところ
  ・ラジオ、テレビ、その他のエレクトロニクス機器に近いところ
  ・加湿器に近いところ
  ・強い振動が起こりやすいところ
・温度や湿度が以下の使用範囲に収まる場所に設置してご使用ください。
  推奨範囲以外の環境で使用する場合、ドラムユニットが寿命前に画像品質を維持できなくなる場合があります。



オプションを取り付ける

⚠注意

・オプションの取り付けや取り外しをするときは、電源プラグをコンセントから抜いて、プリンター本体が常温であることを確認してから行ってください。やけどの原因になります。

増設トレイを取り付ける

増設トレイは、最大 3 段まで取り付けられます。

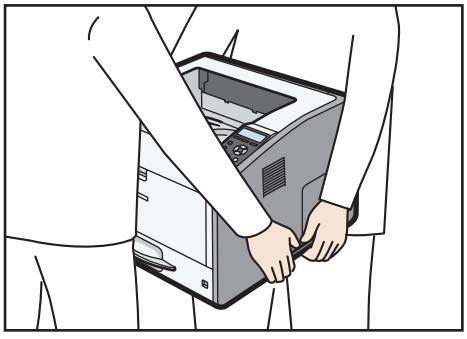
⚠注意

・機械本体は約 20kg あります。
・機械を移動するときは、両側面の中央下部にある取っ手を２人で持ち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。
・長距離を移動するときは、サービス実施店に相談してください。

重要

・本機の電源が入っているときは、電源スイッチを押して本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

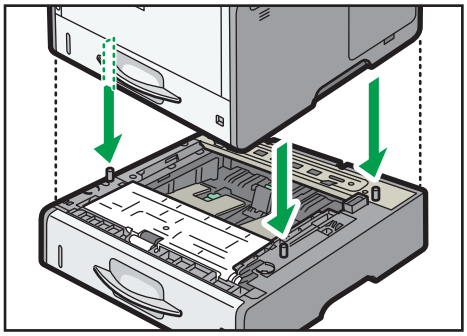
1. **増設トレイを梱包箱から取り出し、保護材を取り外します。**
2. **本機の両側面にある運搬用の取っ手を持ち、２人以上でゆっくりと持ち上げて増設トレイまで水平に運びます。**



DBP003

本機を持ち上げるときは、給紙トレイの部分や手差しトレイの下側を持たないでください。

3. 増設トレイには 3 本の垂直ピンが付いています。本機の底面にある穴に垂直ピンを合わせ、増設トレイの上に本機をゆっくりと下ろします。



DBP002

4. 電源プラグをコンセントに差し込み、本機の電源を入れます。
5. システム設定リストを印刷して、増設トレイが正しく取り付けられたことを確認します。

   正しく取り付けされているときは、システム設定リストの「接続機器」の欄に、「トレイ 2」、「トレイ 3」、および「トレイ 4」の情報が印刷されます。

補足

・システム設定リストの印刷方法は、P.53「テスト印刷する」を参照してください。

・正しく取り付けられていないときは、最初からやり直してください。それでも正しく取り付けられないときは、サービス実施店に連絡してください。

・取り付けた増設トレイを使用するには、プリンタードライバーでオプションの設定をしてください。

詳しくは『ドライバーインストールガイド』を参照してください。

電源コードを接続する

⚠警告

・表示された電源電圧以外では使用しないでください。火災や感電の原因になります。

・表示された周波数以外では使用しないでください。火災や感電の原因になります。

・タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因になります。

・延長コードは使用しないでください。火災や感電の原因になります。

・電源コードを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工しないでください。また、重いものをのせたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災や感電の原因になります。

・同梱されている電源コードセットは本機専用です。本機以外の電気機器には使用できません。また、同梱されている電源コードセット以外は使用しないでください。火災や感電の原因になります。

・濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

⚠注意

・電源プラグは根元までしっかり差し込んでください。また、接触不良になりやすい、ゆるくグラグラするコンセントで使わないでください。発熱の原因になります。

・電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

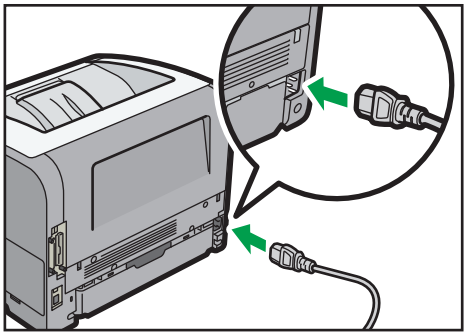
重要

・電源コードを接続される前に、P.10「安全上のご注意」を必ずお読みください。

製品を安全に正しくお使いいただくために記載内容をお守りください。

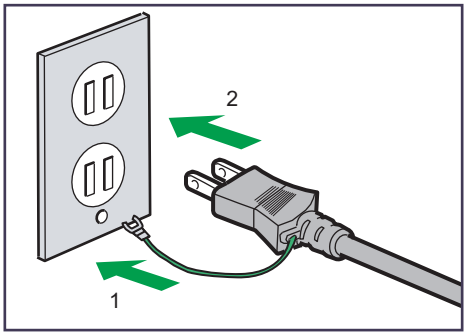
電源コードを接続する

1. 本機の背面にある電源コネクターに、本体同梱の電源コードを差し込みます。



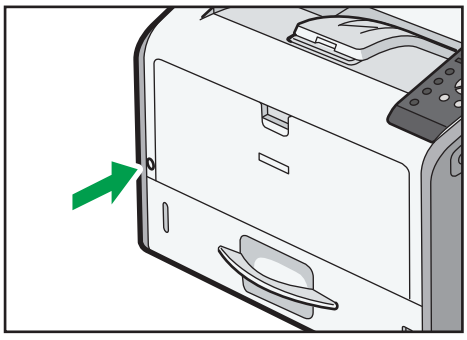
DBP001

2. アース線に接続し、次に電源プラグをコンセントに差し込みます。



CBJ029

3. 電源スイッチを押します。



DBQ054

補足

・電源を入れたあとに、自動再起動の処理中の画面が表示されることがあります。機械内部で自動処理をするので、その間、電源スイッチを触らないでください。自動処理が完了するまでには 7 分程度の時間がかかる場合があります。

パソコンに接続する

ネットワークやパソコンとの接続方法を説明します。

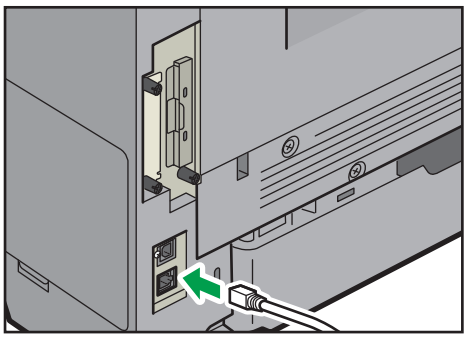
GigaBit イーサネットインターフェースに接続する

本機をネットワークに接続したプリンターとして使用するときは、GigaBit イーサネットインターフェースにケーブルを接続します。

重要

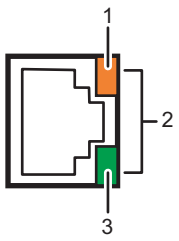
・本機の電源が入っているときは、電源スイッチを押して本機の電源を切ってください。

1. イーサネットケーブルを、本機の GigaBit イーサネットインターフェースに接続します。



DBQ055

2. イーサネットケーブルのもう一方をネットワーク接続用の Hub などに接続します。
3. 本機の電源スイッチを押して電源を入れます。



DBQ904

・100BASE-T 動作時は LED が橙色に点灯します（1）。
ネットワークに接続していないとき、あるいは 10BASE-TX 動作時は消灯します。
・1000BASE-T 動作時は LED が両方点灯します（2）。

・10BASE-TX 動作時は LED が緑色に点灯します（3）。
ネットワークに接続していないとき、または 100BASE-T 動作時は消灯します。
イーサネットケーブルが接続されていないとき、または本機がスリープモードに入っているときも消灯します。

補足

・使用する速度に対応したイーサネットケーブルを使用してください。［イーサネット速度］で 1Gbps を有効にしたときは、1000BASE-T に対応したイーサネットケーブルを使用してください。
・プラグの形状を見て接続してください。
・ケーブルを接続した状態で無理に引っ張らないでください。また、ケーブルが足などに引っかかって抜けないように接続してください。
・プラグが特殊な形状のものや、変換コネクターなどを使用したケーブルは接続できないことがあります。

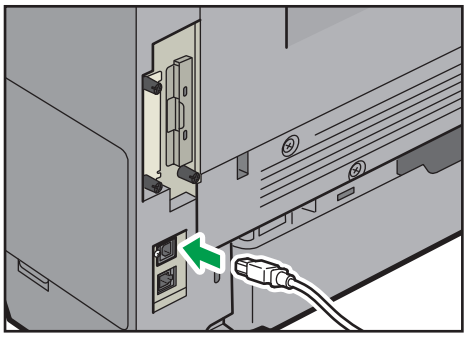
USB（B コネクター）インターフェースに接続する

本機を USB プリンターとしてパソコンから使用するときは、USB（B コネクター）インターフェースにケーブルを接続します。

重要

・本機の電源が入っているときは、電源スイッチを押して本機の電源を切ってください。

1. USB 2.0 用（B コネクター）インターフェースケーブルを本機の USB ポート B に接続します。



DBQ056

2. パソコンに USB 2.0 用インターフェースケーブルを接続します。

補足

・USB 2.0 用（B コネクター）インターフェースに対応した 5m 以下のケーブルを使用してください。
・ケーブルを接続した状態で無理に引っ張らないでください。また、ケーブルが足などに引っかかって抜けないように接続してください。
・プラグの形状を見て接続してください。
・プラグが特殊な形状のものや、変換コネクターなどを使用したケーブルは接続できないことがあります。

ネットワークの設定

イーサネットを使用するときの設定方法を説明します。

イーサネットを使用する

イーサネットケーブルを使用して本機をネットワークに接続するときは、使用するネットワーク環境に応じて、必要な項目を操作部で設定してください。
ネットワーク設定が完了したら、「システム設定リスト」を印刷して設定が正しいかを確認します。印刷手順は、P.53「テスト印刷する」を参照してください。

重要

・ネットワーク設定が完了したら、セキュリティーを設定してください。セキュリティーの設定については、管理者に問い合わせてください。

IP アドレスを手動で指定する

DHCP サーバーのない環境で本機を使用するときや、IP アドレスを固定するときなどに、IP アドレスを手動で設定する手順を説明します。設定する IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスについては、ネットワーク管理者に確認してください。

操作部の［メニュー］キーを押し、［▼］［▲］キーを使用して操作してください。

1. ［インターフェース設定］ ▶ ［OK］
2. ［ネットワーク設定］ ▶ ［OK］
3. ［有効プロトコル］ ▶ ［OK］
4. ［IPv4］ ▶ ［OK］
5. ［有効］ ▶ ［OK］ ▶ ［キャンセル］
6. ［本体 IPv4 アドレス］ ▶ ［OK］ ▶ ［指定］を選択
7. ［IP アドレス］ ▶ IP アドレスを入力 ▶ ［OK］
8. ［サブネットマスク］ ▶ サブネットマスクを入力 ▶ ［OK］
9. ［ゲートウェイ］ ▶ ゲートウェイアドレスを入力 ▶ ［OK］
10. ［指定］が選択されていることを確認 ▶ ［OK］

IP アドレスを自動的に取得する（DHCP）

DHCP 機能を使用して、IP アドレスを自動取得する手順を説明します。DHCP 機能を使用するには、使用している環境に DHCP サーバーが必要です。DHCP 機能が使用できるかは、ネットワーク管理者に確認してください。

操作部の［メニュー］キーを押し、［▼］［▲］キーを使用して操作してください。

1. ［インターフェース設定］▶［OK］
2. ［ネットワーク設定］▶［OK］
3. ［有効プロトコル］▶［OK］
4. ［IPv4］▶［OK］
5. ［有効］▶［OK］▶［キャンセル］
6. ［本体 IPv4 アドレス］▶［OK］
7. ［自動的に取得（DHCP）］▶［OK］

通信速度を設定する

イーサネットの通信速度は、使用する環境（接続先の機器）を確認してから、設定してください。

重要

・インターフェースの種別が接続する機器と一致しないと接続できません。

・本機は、ネットワーク関連機器への負荷低減（省エネルギー効果）を目的として、初期設定では 100BASE-TX（100Mbps）が上限となっています。より高速な通信が必要なときは、1000BASE-T（1Gbps）を有効にしてください。［イーサネット速度］については、使用している機種に応じて以下を参照してください。

操作部の［メニュー］キーを押し、［▼］［▲］キーを使用して操作してください。

1. ［インターフェース設定］▶［OK］
2. ［ネットワーク設定］▶［OK］
3. ［イーサネット速度］▶［OK］
4. 通信速度を選択▶［OK］

テスト印刷する

ネットワーク設定が完了したら、「システム設定リスト」を印刷して設定が正しいかを確認します。

重要

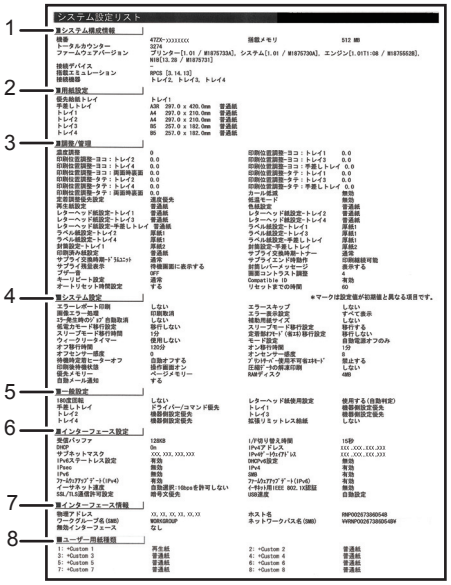
・リストは A4 または Letter サイズへの印刷を前提にレイアウトされています。給紙トレイのいずれかに、A4（または Letter）サイズの用紙（普通紙・再生紙）をセットすることをお勧めします。

操作部の［メニュー］キーを押し、［▼］［▲］キーを使用して操作してください。

1. ［テスト印刷］ ▶ ［OK］
2. ［システム設定リスト］ ▶ ［OK］

システム設定リストの見かた

システム設定リストの印刷例です。



DBP922

***1.* システム構成情報**

本機やシステムのバージョン、カウンター情報、取り付けた外部オプションの情報です。

***2.* 用紙設定**

トレイの用紙サイズと紙種が表示されます。用紙サイズは操作部で設定した値です。

「不定形サイズ」と記載されているときは、フリーサイズに設定されています。

用紙サイズで「R」と記載されているときは、用紙方向が□に設定されています。

3. **調整/管理**

［調整/管理］メニューの項目と設定値です。

4. **システム設定**

［システム設定］メニューの項目と設定値です。

5. **一般設定**

［一般設定］メニューの項目と設定値です。

6. **インターフェース設定**

［インターフェース設定］メニューの項目と設定値です。

7. **インターフェース情報**

動作モードなどのインターフェース設定の情報です。

8. **ユーザー用紙種類**

ユーザー用紙種類を登録すると、登録されている用紙名称と用紙種類が印刷されます。

補足

・印刷される項目は、オプションの装着状況によって異なります。

用紙をセットする

使用する用紙のサイズ、種類、厚さごとにセットできる給紙トレイについて説明します。また各給紙トレイに用紙をセットする方法を説明します。

用紙をセットするときの流れ

本機で正しく印刷するには、使用する用紙のサイズ、種類、厚さに合った給紙トレイの選択が必要です。使用する用紙がどの給紙トレイにセットできるかを確認し、操作部などから用紙のサイズや種類を正しく指定してください。

1. 使用する用紙のサイズ、種類、厚さから、どの給紙トレイにセットできるかを確認します。

各用紙に対応した給紙トレイについては、P.60「セットできる用紙のサイズ」または、P.63「セットできる用紙の種類」を参照してください。

2. 給紙トレイに用紙をセットします。

用紙のセット方法は、P.65「給紙トレイに用紙をセットする」またはP.71「手差しトレイに用紙をセットする」を参照してください。

はがきや封筒のセット方法は、P.73「はがきをセットする」またはP.75「封筒をセットする」を参照してください。

3. 用紙サイズ設定と用紙種類設定を変更します。

用紙サイズ設定と用紙種類設定は、操作部または Web Image Monitor で変更します。

給紙トレイ 1～4 に用紙をセットするときは、給紙トレイの用紙サイズダイヤルも変更します。

操作部の設定については、P.81「用紙の設定」を参照してください。

用紙をセットするときの注意事項

⚠注意

	・ステープラーの針がついたままの用紙の再利用や銀紙、カーボン含有紙等の導電性の用紙は使用しないでください。火災の原因になります。
	・用紙（記録紙）を交換するときは、指を挟んだり、けがをしないように注意してください。
	・封筒レバーを操作する時には、指を挟んだり、けがをしないように注意してください。

注意事項

・推奨の用紙を使用してください。それ以外を使用した印刷についてはその印刷結果は保証いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

・用紙にバリ（裁断したときにできた返し）がありうまく送られないときは、用紙のおもてと裏を逆にしてセットしてください。

・はがき、封筒、ラベル紙は手差しトレイにセットすることをお勧めします。

・紙づまりが起きたり複数枚の用紙が重なったまま一度に送られるときは、用紙をぱらぱらとさばいてからセットしてください。

CBK254

・トレイに少量の用紙が残っている状態で用紙を補給すると、紙が重なって送られる事があります。トレイ内の用紙を一度取り出して、補給する用紙の上に載せ、ぱらぱらとさばいてからセットし直してください。

・カールしている用紙、反りのある用紙は直してからセットしてください。

・トレイにセットできる用紙サイズ、種類については、P.60「セットできる用紙のサイズ」または、P.63「セットできる用紙の種類」を参照してください。

・使用する環境により、まれに用紙のこすれによる異音が発生することがありますが本機の故障ではありません。

使用できない用紙

次のような用紙は使用しないでください。故障や紙づまりの原因になります。

・インクジェット用紙/ジェルジェット用紙、感熱紙、アート紙、 導電性の用紙、ミシンがけ用紙、ふちどり用紙、窓付き封筒

・反り、折れ、しわのある用紙、穴があいている用紙、ツルツルすべる用紙、破れのある用紙、すべりにくい用紙、薄くてやわらかい用紙、表面に紙粉が多い用紙

補足

・一度印刷した用紙の印刷面に、再度印刷しないでください。故障の原因になります。

・推奨用紙を使用しても用紙の保管状態によっては、紙づまりなどが発生することがあります。

・目の粗い用紙または凹凸のある用紙に印刷すると画像がかすれることがあります。

・本機以外で一度印字された用紙は再使用しないでください。

・絵入りのはがきなどを給紙すると、絵柄裏写り防止用の粉が給紙ローラーに付着し、給紙できなくなることがあります。

用紙の保管

用紙の保管には、次の注意事項を守ってください。

・直射日光の当たらないところに置いてください。

・乾燥したところ（湿度 70%以下）に置いてください。

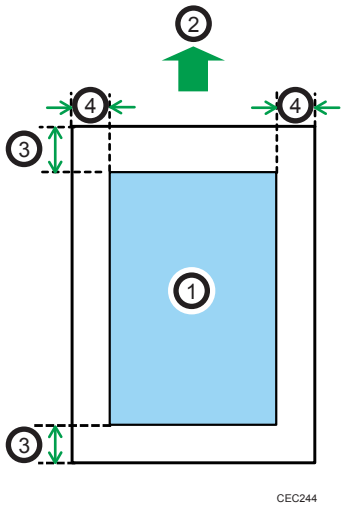
・平らなところに置いてください。

・用紙は立てかけないでください。

・一度開封した用紙は湿気を吸わないようにポリ袋に入れてください。

印刷範囲

本機の推奨印刷範囲は以下の図のとおりです。



1. **印刷範囲**
2. **給紙方向**
3. 4.2 mm
4. 4.2 mm

補足

・印刷範囲は、用紙サイズやプリンタードライバーの設定によって異なることがあります。

・手差しトレイに長尺紙をセットしたときの保証印刷範囲は、給紙方向に対して長さ 432mm までです。

・プリンタードライバーや印刷条件の設定によっては推奨印刷範囲外に印刷できますが、思いどおりの印刷結果が得られない、または用紙が正しく送られないことがあります。

推奨用紙

種類	用紙名	厚さ	用紙サイズ
普通紙	リコー マイペーパー	67 g/㎡	A3 B4 A4 B5
再生紙	リコー マイリサイクルペーパー100	69 g/㎡	A3 B4 A4 B5
剥離紙	リコー PPC 用紙 タイプ SA	119 g/㎡	A4
はがき	官製 郵便はがき、往復はがき	–	はがき 往復はがき
第 2 原図	リコー PPC 用紙 タイプ TA	62 g/㎡	A3 A4
封筒	ハート レーザー専用封筒 ホワイト	104.7 g/㎡	洋長 3 号 長形 3 号 角形 2 号

セットできる用紙のサイズ

各用紙サイズに対応した給紙トレイは次の表のとおりです。「用紙サイズ名」の列には用紙サイズの名称、「実寸」の列にはそのサイズの寸法を記載しています。「用紙サイズ名」の列の▯と▭は、本機を正面から見たときにセットできる用紙の向きを表しています。
表内の英文字と記号は次の意味を表しています。

A：操作部から用紙サイズを指定します。
B：給紙トレイの用紙サイズダイヤルで用紙サイズを指定します。
C：給紙トレイの用紙サイズダイヤルを「✱」に設定し、操作部から用紙サイズを指定します。
✓：両面印刷できます。
- ：この用紙サイズは使用できません。

定形用紙サイズ（ミリメートル）

用紙サイズ名	実寸（mm）	手差しトレイ	トレイ 1	トレイ 2～4	両面印刷
A3▯	297×420	A	B	B	✓
A4▯▭	210×297	A	B	B	✓
A5▯	148×210	A	C	C	✓
A5▭	210×148	A	B	B	✓
A6▯	105×148	A	C	C	✓
B4▯	257×364	A	B	B	✓
B5▯	182×257	A	C	C	✓
B5▭	257×182	A	B	B	✓
B6▯	128×182	A	C	C	✓
B6▭	182×128	A	-	-	-
郵便はがき▯	100×148	A	C	-	-

用紙サイズ名	実寸（mm）	手差しトレイ	トレイ 1	トレイ 2～4	両面印刷
往復はがき	148×200	A	C	-	-
長形 3 号	120×235	A	-	-	-
長形 4 号	90 × 205	A	-	-	-
洋長 3 号	120×235	A	-	-	-
洋長 3 号	235×120	A*1	C*2	-	-
洋形 4 号	105×235	A	-	-	-
角形 2 号	240×332	A	C	-	-
8 開	267×390	A	C	C	✓
16 開	195×267	A	C	C	✓

*1 フラップを開いたときの長さが 127mm以上の封筒をセットできます。ただし、フラップの種類や形状によってセットできないことがあります。

*2 フラップを開いたときの長さが 148mm以上の封筒をセットできます。ただし、フラップの種類や形状によってセットできないことがあります。

定形以外でも幅と長さを指定すれば使用できます。

各給紙トレイに対応した幅と長さは次の表のとおりです。

不定形サイズ（ミリメートル）

給紙トレイ	片面印刷		両面印刷	
	幅（mm）	長さ（mm）	幅（mm）	長さ（mm）
手差しトレイ	60～297	127～1260	90～297	148～432
トレイ 1	90～297	148～432	90～297	148～432
トレイ 2～4	100～297	148～432	100～297	148～432

重要

・用紙サイズ、用紙種類、用紙の厚さ、用紙のセット方向によっては、印刷速度が遅くなることがあります。

・幅が 279mm 未満の用紙を連続印刷すると、印刷速度が段階的に遅くなることがあります。

補足

・長尺紙は給紙方向に対して長さ 1260mm まで印刷できますが、保証する印刷範囲は 432mm までです。

セットできる用紙の種類

各用紙種類に対応した給紙トレイは次の表のとおりです。各用紙種類には対応する用紙の厚さが設定されています。「用紙の厚さ」の表と合わせて参照し、使用する用紙に適した用紙種類を確認してください。

表内の英文字と記号は次の意味を表しています。

A：使用できます。

✓：両面印刷できます。

- ：使用できません。

用紙種類	厚さ番号	手差しトレイ	トレイ 1	トレイ 2～4	両面印刷
薄紙	1	A	A	A	✓
普通紙	2	A	A	A	✓
普通紙 2	3	A	A	A	✓
中厚口	4	A	A	A	✓
厚紙 1	5	A	A	A	✓
厚紙 2	6	A	A	A	✓
厚紙 3	7	A	A	A	-
再生紙	2、3	A	A	A	✓
色紙	2、3	A	A	A	-
バインダー紙 *1	2	A	A	A	✓
特殊紙 2	-*2	A	A	A	-
特殊紙 3	-*2	A	A	A	-
レターヘッド付き用紙	1～6	A	A	A	✓

用紙種類	厚さ番号	手差しトレイ	トレイ 1	トレイ 2～4	両面印刷
レターヘッド付き用紙	7	A	A	A	-
印刷済み紙	2～4	A	A	A	-
OHP	-*2	A	-	-	-
ラベル紙	3～5	A	A	A	-
封筒	6、7	A	A	-	-

*1 バインダー用の穴あき用紙は、用紙種類を「バインダー紙」にする必要があります。

*2 紙厚を確認する必要はありません。

用紙の厚さ

厚さ番号	厚さ
1	52～65 g/m^2
2	66～74 g/m^2
3	75～89 g/m^2
4	90～105 g/m^2
5	106～130 g/m^2
6	131～162 g/m^2
7	163～220 g/m^2

重要

・用紙サイズ、用紙種類、用紙の厚さ、用紙のセット方向によっては、印刷速度が遅くなることがあります。

・幅が 279mm 未満の用紙を連続印刷すると、印刷速度が段階的に遅くなることがあります。

給紙トレイに用紙をセットする

トレイ 1 に用紙をセットする方法を例に説明します。

⚠注意

・ステープラーの針がついたままの用紙の再利用や銀紙、カーボン含有紙等の導電性の用紙は使用しないでください。火災の原因になります。

・用紙（記録紙）を交換するときは、指を挟んだり、けがをしないように注意してください。

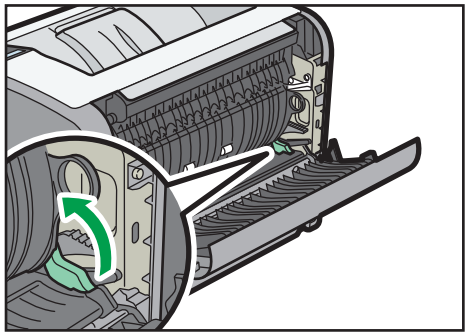
・封筒レバーを操作する時には、指を挟んだり、けがをしないように注意してください。

重要

・使用する用紙に対応した給紙トレイについては、P.60「セットできる用紙のサイズ」または、P.63「セットできる用紙の種類」を参照してください。
・セットする用紙のサイズ・用紙の方向に、用紙サイズダイヤルの表示を必ず合わせてください。用紙サイズダイヤルの表示が合っていないと、機械内部を汚したり、思いどおりの印刷ができない原因になります。印刷をするときは、プリンタードライバーで用紙サイズと用紙種類を本機の設定に合わせてください。
・用紙サイズダイヤルにない用紙サイズと印刷方向を使用するときは、用紙サイズダイヤルを「✳」に設定し、操作部で用紙サイズを指定してください。
・セットする用紙の量は、給紙トレイ内に示された上限表示を超えないようにしてください。紙づまりの原因になることがあります。
・頻繁に紙づまりが発生するときは、用紙の表と裏を逆にしてセットしてください。
・1 つのトレイに、異なる種類の用紙を混在させてセットしないでください。
・給紙トレイ内の用紙を使い切る前に、用紙を追加してセットしないでください。紙づまりの原因になります。
・サイドガイドやエンドガイドを無理に動かさないでください。故障の原因になります。
・用紙をセットした給紙トレイを本機にセットするときは、ゆっくりと入れてください。トレイを勢いよく入れると、トレイのサイドガイドやエンドガイド、または手差しトレイの用紙ガイドがずれることがあります。
・ラベル紙は 1 枚ずつセットしてください。

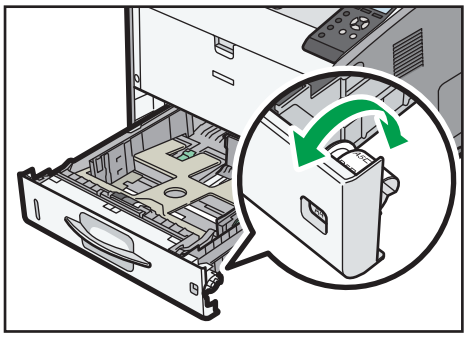
補足

・工場出荷時は封筒レバーが下がっている状態になっています。封筒以外の用紙に印刷するときは封筒レバーが垂直になるようにきちんと押し上げ、奥まで押し込んでください。



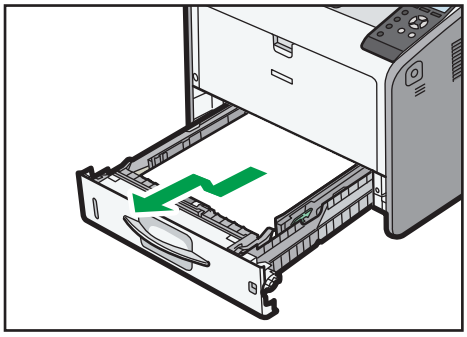
DBQ027

1. 給紙トレイをゆっくりと引き出し、セットする用紙サイズと給紙方向に用紙サイズダイヤルを合わせます。



DBQ051

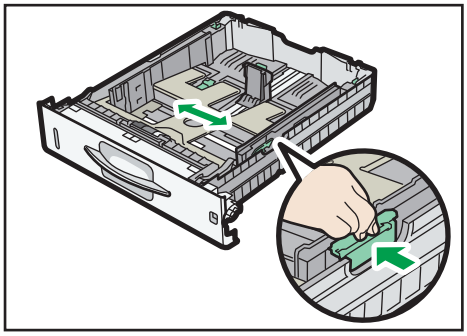
2. 給紙トレイを止まる位置まで引き出し、前面を持ち上げて引き抜きます。



DBQ030

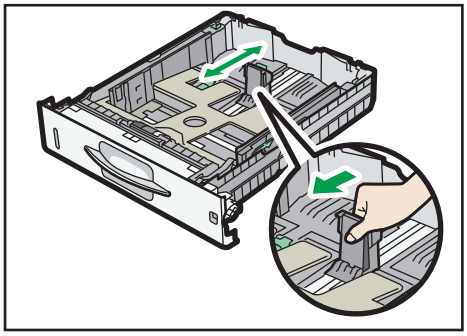
給紙トレイは平らな場所に置いてください。

3. サイドガイドのクリップをつまみながらセットする用紙サイズに合わせます。



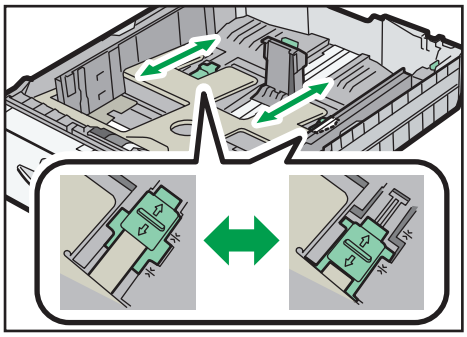
DBQ301

4. エンドガイドのクリップをつまみながらセットする用紙サイズに合わせます。



DBQ302

5. トレイ 1 または増設トレイに用紙をセットするときは、トレイの底板にある 2 個所の用紙厚変更スイッチの位置を、セットする用紙の厚さに合わせて変更します。



DBP008

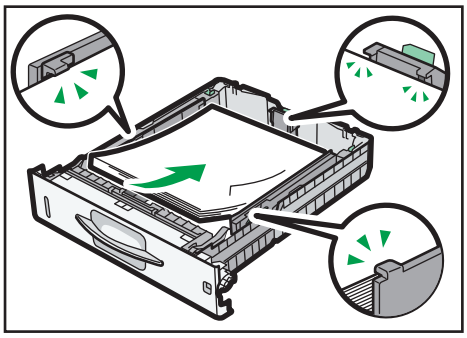
補足

・131g/m^2 以上の用紙をセットするときは、スイッチを奥側にスライドさせます。

・130g/m^2 以下の用紙をセットするときは、スイッチを手前側にスライドさせます。

6. **印刷する面を下にして用紙をセットします。**

   上限表示を超えないようにしてください。



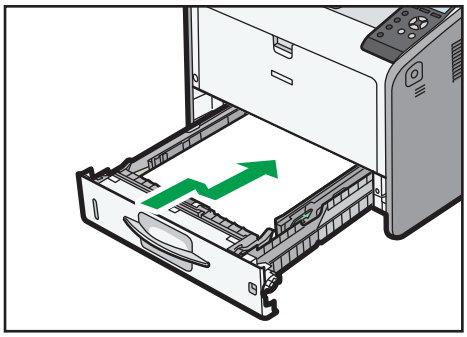
DBQ038

7. **サイドガイドとエンドガイドの位置をセットした用紙に合わせて調整します。**

   用紙とサイドガイドやエンドガイドの間に隙間がないことを確認してください。隙間があるときはサイドガイドやエンドガイドを操作して調整してください。

   用紙ガイドを用紙に強く押し当てすぎると、給紙がうまくいかない原因になるので注意してください。セットした用紙を給紙トレイの中で大きく動かさないでください。トレイ底板の隙間に用紙端部が入り、紙づまりや用紙折れの原因になります。

8. **前面を持ち上げるようにして給紙トレイを差し込み、奥までゆっくりと押し込みます。**



DBQ039

紙づまりを防止するため、しっかり奥までトレイを入れてください。

補足

・給紙トレイに A4□より大きい用紙をセットするときは、延長トレイを引き出してください。引き出し方法は、P.70「A4□より大きい用紙をセットするとき」を参照してください。

・トレイ 1 には一部のサイズの封筒をセットできます。正しい向きでセットしてください。

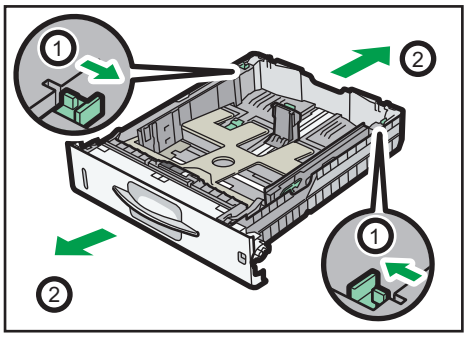
詳しくは、P.75「封筒をセットする」を参照してください。

・レターヘッド紙やビジネス用便箋など、天地の向きや表裏がある用紙は、正しい向きでセットしてください。詳しくは、P.79「天地の向き・表裏のある用紙（レターヘッド紙）をセットする」を参照してください。

A4□より大きい用紙をセットするとき

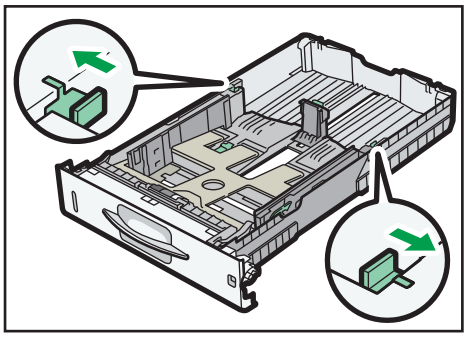
給紙トレイに A4□より大きい用紙をセットするときは、延長トレイを引き出してください。

1. **給紙トレイを完全に引き出します。**
   詳しくは、P.65「給紙トレイに用紙をセットする」を参照してください。
2. **延長トレイの 2 個所のロックを内側にスライドさせて外し、延長トレイを止まるまで引き出します。**



DBQ405

3. **延長トレイの 2 個所のロックを外側にスライドさせてロック位置に戻します。**
   延長トレイがきちんとロックされていないと、用紙が正しく送られない原因になります。


DBQ403

補足

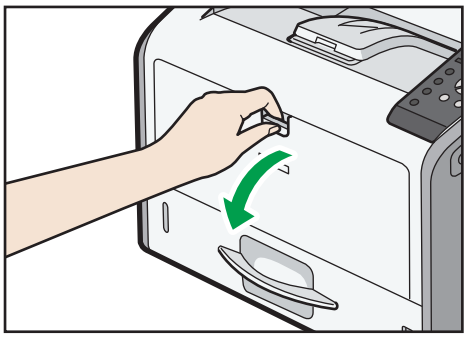
・A4□以下のサイズの用紙をセットするときは、延長トレイを使用しないでください。

手差しトレイに用紙をセットする

重要

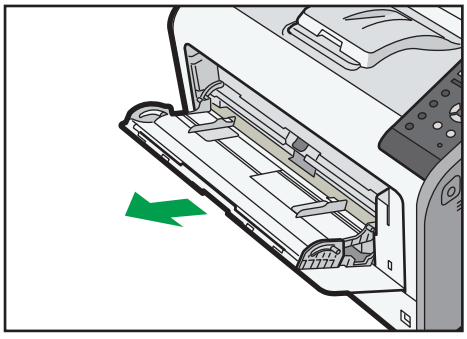
・使用する用紙に対応した給紙トレイについては、P.60「セットできる用紙のサイズ」またはP.63「セットできる用紙の種類」を参照してください。
用紙をセットしたら、操作部やドライバーで正しい用紙サイズ・種類と向きを指定してください。正しく印刷されない原因になります。
用紙ガイドのつめの下に収まる量の用紙をセットしてください。紙づまりの原因になることがあります。
・トレイに異なる種類の用紙を混在させてセットしないでください。
・ラベル紙は 1 枚ずつセットしてください。
・A3□より長い用紙は 1 枚ずつセットし正しく用紙が送られるように手で持って支えてください。
用紙の厚さや紙幅により用紙の送られかたや画質が異なりますので、事前に使用する用紙で印刷結果を確認してください。

1. **手差しトレイ中央の手差しトレイオープンボタンを押し下げながら、手差しトレイを開きます。**



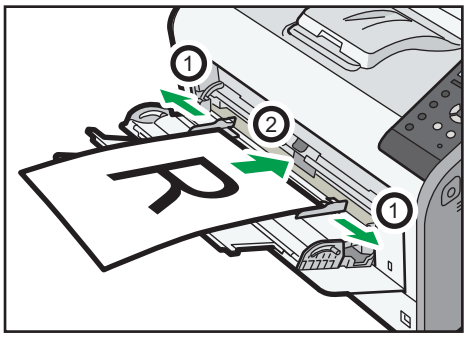
DBQ059

A4□以上の長さの用紙をセットするときは手差しトレイ延長ガイドを引き出します。



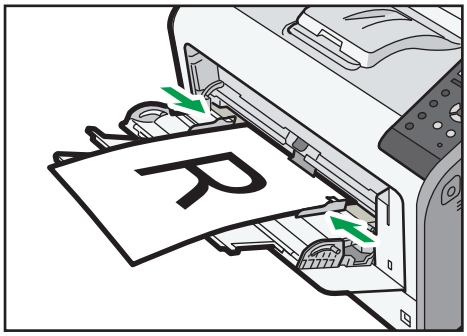
DBQ120

2. 用紙ガイドを広げ、印刷する面を上にして、用紙の先端が突き当たるまで差し込みます。



DBQ121

3. 用紙ガイドを用紙の幅に合わせます。



DBQ122

補足

・手差しトレイにセットするときは、できるだけ方向にセットしてください。

・はがきや封筒は正しい向きでセットしてください。詳しくは、P.73「はがきをセットする」またはP.75「封筒をセットする」を参照してください。
レターヘッド紙やビジネス用便箋など、天地の向きや表裏がある用紙は、正しい向きでセットしてください。詳しくは、P.79「天地の向き・表裏のある用紙（レターヘッド紙）をセットする」を参照してください。

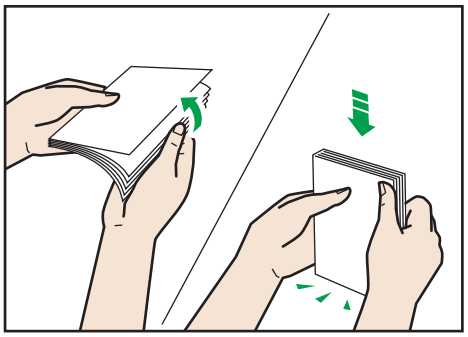
はがき、封筒をセットする

はがきをセットする

はがきをセットするときの推奨条件について説明します。

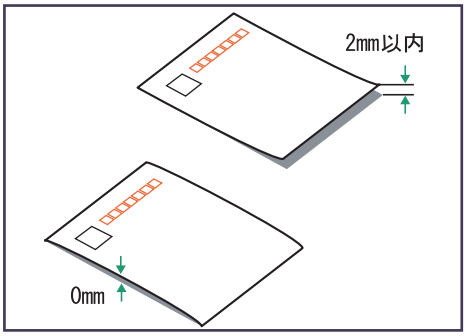
重要

・市販の郵便はがきがセットできます。
・連続して大量のはがき用紙を印刷しないでください。地汚れの原因になります。
・往復はがきは折り目のないものを使用してください。
・はがきをセットするときは、ぱらぱらとさばいてから端をそろえてください。

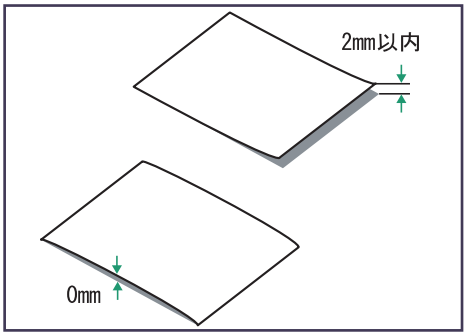

CJV001

・郵便はがきが反っていると、正しく送られなかったり、印刷品質に影響が出ることがあります。
・セットする前に反りが以下の図の範囲になるように直してください。

表面（宛先記入面）に印刷するとき　裏面に印刷するとき



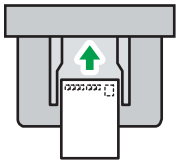
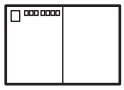
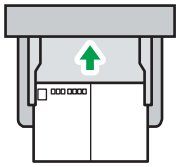
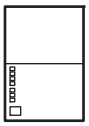
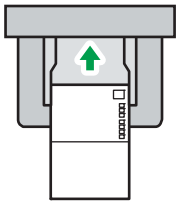
BVN066



BVN067

・郵便はがきの裏面にバリ（裁断したときにできた返し）があるときは、郵便はがきを平らなところに置き、定規などを水平に 1～2 回動かして、郵便はがきの 4 辺のバリを取り除き、バリを取り除いたときに出た紙粉を払ってください。

はがきの種類やセットする向きによって、トレイにセットする方法が異なります。
はがきに印刷するときは、必ずはがきのセット方向を確認してください。

はがきの種類と向き	手差しトレイ
郵便はがき 	 はがきの下辺：手前側 印刷する面：上
往復はがき 	 はがきの下辺：手前側 印刷する面：上
往復はがき 	 はがきの下辺：左側 印刷する面：上

重要

・はがきを大量に印刷した直後の印刷に、黒い斑点などの汚れが付着する場合があります。その場合は、P.191「定着器を清掃する」を参照して「定着クリーニング」を実行してから印刷を再開してください。

補足

・はがきに印刷するときは、普通紙に印刷するときより印刷速度が遅くなります。郵便はがきの厚紙の種類は［厚紙 2］をお勧めします。使用するはがきの用紙厚さに合わせて設定を変更してください。それぞれの設定での実際の用紙厚さについては、P.63「セットできる用紙の種類」を参照してください。

封筒をセットする

封筒をセットするときの推奨条件について説明します。

⚠注意

・用紙（記録紙）を交換するときは、指を挟んだり、けがをしないように注意してください。

・封筒レバーを操作する時には、指を挟んだり、けがをしないように注意してください。

重要

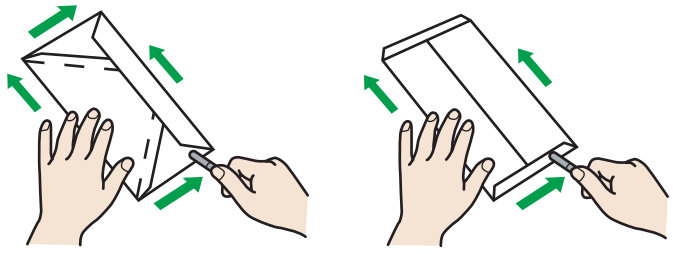
・窓付き封筒は使用しないでください。

・のり付き封筒は、のりで封筒同士が貼りつくことがあります。さばいてからセットしてください。封筒同士が貼りつくときは、1 枚ずつセットしてください。

・フラップ（ふた）の長さや形状によっては紙づまりが起こることがあります。

・フラップを開いた状態でセットしたときは、不定形サイズを指定してください。
購入時よりフラップ（ふた）が閉じられている封筒だけ、フラップを閉じた状態でセットし、定形サイズを指定して印刷できます。ただし、フラップを本機の後ろ側にして給紙トレイ 1 にセットするときは、フラップを開いてください。
封筒を押さえて中の空気を抜き、四辺の折り目をしっかりと押さえてからセットしてください。

・封筒が反っていたり曲がっているときは、鉛筆や定規で上向きの反りが 2mm 以内、下向きの反りが 0mm になるように直してからセットしてください。



CHU024

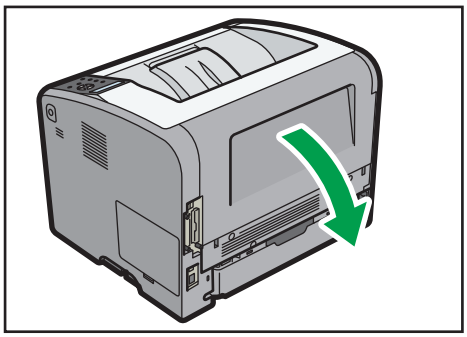
・封筒の形やセットする向きによって、トレイにセットする方法が異なります。
封筒に印刷するときは、必ず封筒のセット方向を確認してください。

・印刷する封筒の種類により、紙種を［中厚口］［封筒］など切り替えてご使用ください。また定着器の「封筒レバー」を切り替えることでシワや未定着の状態を軽減できる場合があります。

封筒レバーを使用する

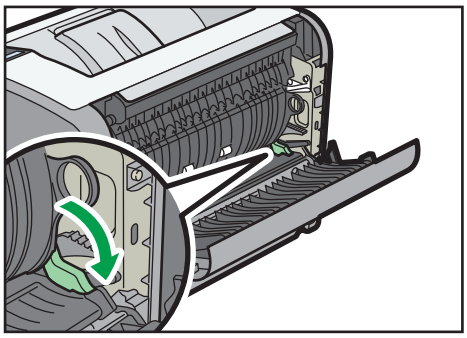
封筒の種類によって封筒レバーを使用することで、しわや未定着を軽減できます。

1. 後ろカバーを開けます。



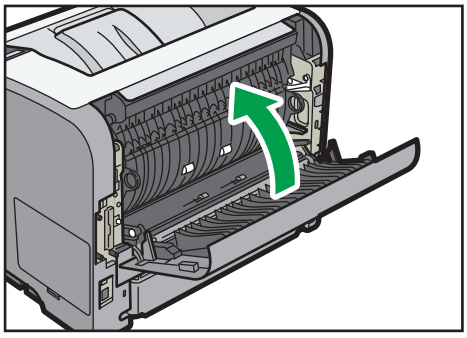
DBQ020

2. 封筒レバーを一番下まで下げます。



DBQ111

3. 後ろカバーを閉めます。



DBQ029

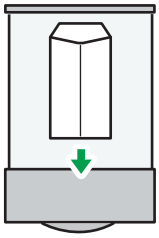
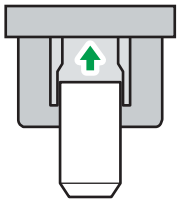
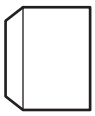
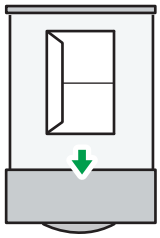
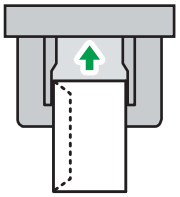
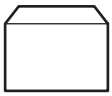
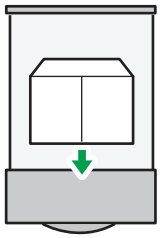
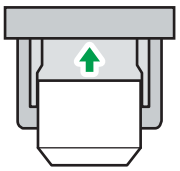
4. 液晶画面のステータス表示を確認します。

gmp1oij_002

補足

・印刷が終わったら、必ず封筒レバーを上げてください。

封筒のセット方向

封筒の種類と向き	給紙トレイ 1	手差しトレイ
角形/長形 封筒[*1] 	 ・フラップ[*2]：開く ・封筒の下辺：手前側 ・印刷する面：下	 ・フラップ：開く ・封筒の下辺：後ろ側 ・印刷する面：上
洋形/洋長形 封筒 	 ・フラップ：閉じる ・封筒の下辺：右側 ・印刷する面：下	 ・フラップ：閉じる ・封筒の下辺：右側 ・印刷する面：上
洋形/洋長形 封筒[*1] 	 ・フラップ[*2]：開く ・封筒の下辺：手前側 ・印刷する面：下	 ・フラップ：開く ・封筒の下辺：後ろ側 ・印刷する面：上

*1 角形/長形封筒や洋形/洋長形封筒を上の図のようにセットするときは、プリンタードライバーの［項目別設定］タブにある［基本］メニューで、［180 度回転］にチェックを入れて印刷してください。

*2 エンドガイドでフラップを押さえられないときは、正しく給紙できないことがあります。その場合は手差しトレイにセットしてください。

封筒をセットしたあと、プリンタードライバーと操作部の両方で、用紙の種類を「中厚口」または「封筒」に設定してください。また、用紙の厚さを設定してください。詳しくは、P.85「操作部を使用してはがき、封筒を設定する」を参照してください。

使用できる封筒

種類	用紙名	厚さ	用紙サイズ
封筒	ハート レーザー専用封筒 ホワイト	104.7 g/㎡	洋長３号 長形３号 角形２号

トレイによってセットできる封筒サイズが異なります。詳しくは、P.60「セットできる用紙のサイズ」を参照してください。

重要

・封筒を大量に印刷した直後の印刷に、黒い斑点などの汚れが付着する場合があります。その場合は、P.191「定着器を清掃する」を参照して「定着クリーニング」を実行してから印刷を再開してください。

補足

・トレイに一度にセットする封筒は、同じサイズ、同じ用紙種類の封筒にしてください。
・封筒には両面印刷できません。
周囲と異なる厚みの部分があると、均一に印刷できないことがあります。2、3 枚通紙して、印刷結果を確認してください。
・封筒に印刷するときは、普通紙に印刷するときより印刷速度が遅くなります。
・印刷後、封筒が大きくカールしたときは、しごいて直してください。
・湿気を吸った封筒は使用しないでください。
推奨封筒でも、高温になるところや湿気の多いところで印刷すると、しわが発生するなど、正しく印刷されないことがあります。
封筒の長辺の端に細かいしわができて排紙されたり、裏面が汚れて排紙されたり、ぼやけて印刷されることがあります。また黒くベタ刷りするときに、封筒の用紙が重なりあっている部分にすじが入ることがあります。

天地の向き・表裏のある用紙（レターヘッド紙）をセットする

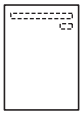
レターヘッド紙やビジネス用便箋など、天地の向きや表裏がある用紙は、正しく印刷されないことがあります。使用する機能に合わせて、次のように設定を変更してください。また、用紙を正しくセットしてください。

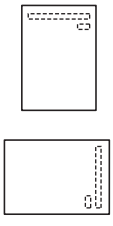
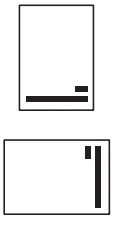
操作部の設定

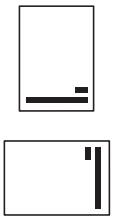
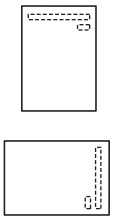
［レターヘッド紙使用設定］を［使用する（自動判定）］または［使用する（常時）］に設定してください。設定項目については、P.206「一般設定」を参照してください。

用紙のセット方向

使用しているアイコンの意味は次のとおりです。

アイコン	意味
	印刷する面を上にセットしてください。
	印刷する面を下にセットしてください。

印刷面	トレイ 1～4	手差しトレイ
片面		

印刷面	トレイ 1～4	手差しトレイ
両面		

補足

・印刷の途中で片面印刷から両面印刷になったときは、1 部目と 2 部目以降で片面印刷の印刷面が異なることがあります。印刷面を同一にするときは、片面印刷のページと両面印刷のページで給紙するトレイを分けて、片面印刷を給紙するトレイは「両面印刷の対象」設定を「対象外」に設定をしてください。

・両面印刷の方法は、P.96「用紙の両面に印刷する」を参照してください。

用紙の設定

操作部で用紙サイズや用紙種類を変更する方法を説明します。

用紙サイズを設定する

重要

・使用する用紙サイズが用紙ダイヤルにないときは、用紙サイズダイヤルを「＊」にセットし、必ず操作部でも用紙サイズを設定してください。
不定形サイズを印刷するときは、必ず操作部とプリンタードライバーで用紙サイズを設定してください。不定形サイズの設定ができないアプリケーションでは、印刷できません。

定形サイズを設定する

操作部の［メニュー］キーを押し、［▼］［▲］キーを使用して操作してください。

1. ［用紙設定］▶［OK］
2. ［用紙サイズ設定：(トレイ名)］▶［OK］
3. トレイにセットした用紙のサイズを選択▶［OK］

不定形サイズを設定する

操作部の［メニュー］キーを押し、［▼］［▲］キーを使用して操作してください。

1. ［用紙設定］▶［OK］
2. ［用紙サイズ設定：(トレイ名)］▶［OK］
3. ［不定形サイズ］▶［OK］
4. ［ヨコ］の長さを指定▶［OK］
5. ［タテ］の長さを指定▶［OK］

補足

・各用紙サイズに対応したトレイについて詳しくは、P.60「セットできる用紙のサイズ」を参照してください。

用紙種類を設定する

セットした用紙の種類を設定することで、より適切に印刷できます。

操作部の［メニュー］キーを押し、［▼］［▲］キーを使用して操作してください。

1. **［用紙設定］ ▶ ［OK］**
2. **［用紙種類設定：(トレイ名)］ ▶ ［OK］**
3. **トレイにセットした用紙の種類を選択 ▶ ［OK］**

   以下の用紙種類を設定したときは、ここで設定が完了します。

   ・薄紙、普通紙、普通紙 2、中厚口、厚紙 1、厚紙 2、厚紙 3、バインダー紙、特殊紙 2、特殊紙 3、OHP
4. **［再生紙］、［色紙］、［レターヘッド］、［ラベル紙］、［封筒］、または［印刷済み紙］を選択したときは、［キャンセル］を押す**
5. **［調整/管理］ ▶ ［OK］**
6. **［一般管理］ ▶ ［OK］**
7. **選択した用紙種類の紙の厚さを設定する項目を選択 ▶ ［OK］**
8. **設定するトレイを選択 ▶ ［OK］**

   ［レターヘッド紙設定］、［ラベル紙設定］、または［封筒設定］では、トレイごとに紙の厚さを設定できます。［再生紙設定］、［色紙設定］、または［印刷済み紙設定］では、設定する紙の厚さはすべての給紙トレイで有効です。
9. **紙の厚さを選択 ▶ ［OK］**

補足

・各用紙種類に対応したトレイについて詳しくは、P.63「セットできる用紙の種類」を参照してください。

・バインダー用の穴あき用紙は、用紙種類設定を「バインダー紙」にする必要があります。

用紙に独自の名前を付けて使用する

Web Image Monitor を使用して、ユーザー用紙種類として独自の名前を付けて登録できます。この機能を使用すると、用途にあった用紙種類や設定を簡単に選択できます。

重要

・この機能はネットワーク接続をしているときに使用できます。
・本機と使用しているパソコンとの間で双方向通信が働いているときに使用できます。
・ユーザー用紙種類の名称はログ収集の対象にはなりません。

用紙種類に名前を付けて登録する

重要

・使用するプリンタードライバーの各国言語以外で名称を登録すると、プリンタードライバーで文字が正しく表示されないことがあります。
英数カタカナ半角文字以外の名称を登録すると、操作部に文字が正しく表示されないことがあります。

1. **Web Image Monitor に管理者モードでログインします。**
ログイン方法は、P.39「Web Image Monitor にログインする」を参照してください。
2. **メニューエリアの［機器の管理］から［設定］をクリックします。**
3. **「機器」カテゴリーの中の［ユーザー用紙種類］をクリックします。**
4. **「用紙名称：」に、用紙の用途を判別できる名称を入力します。**
5. **「用紙種類：」プルダウンメニューから用途にあった用紙の種類を選択します。**
6. **［OK］をクリックします。**
7. **［ログアウト］をクリックします。**
8. **Web Image Monitor を終了します。**

補足

・最大 8 種類までユーザー用紙種類を登録できます。

トレイにユーザー用紙種類を設定する

各給紙トレイと登録した用紙種類を関連付けます。

1. **Web Image Monitor に管理者モードでログインします。**
ログイン方法は、P.39「Web Image Monitor にログインする」を参照してください。

2. メニューエリアの［機器の管理］から［設定］をクリックします。
3. 「機器」カテゴリーの中の［用紙］をクリックします。
4. 設定するトレイの「用紙種類：」で［ユーザー用紙種類］をラジオボタンで選択し、登録しておいた用紙種類の名称を選択します。
5. ［OK］をクリックします。
6. ［ログアウト］をクリックします。
7. Web Image Monitor を終了します。

登録した用紙種類に印刷をする

1. アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの印刷設定画面を開きます。
2. 「用紙種類：」プルダウンメニューから登録しておいた用紙種類を選択します。
3. アプリケーションから印刷の指示をします。

操作部を使用してはがき、封筒を設定する

操作部の［メニュー］キーを押し、［▼］［▲］キーを使用して操作してください。

1. ［用紙設定］▶［OK］
2. ［用紙サイズ設定：(トレイ名)］▶［OK］
3. ［郵便ハガキ□］、［往復ハガキ□］、［往復ハガキ□］、または封筒のサイズを選択▶［OK］
4. ［用紙種類設定：(トレイ名)］▶［OK］
5. はがきのときは［厚紙 2］、封筒のときは［中厚口］または［封筒］を選択▶［OK］
   はがきのときはここで設定が完了します。
6. 封筒のときは［キャンセル］を押す
7. ［調整/管理］▶［OK］
8. ［一般管理］▶［OK］
9. ［封筒設定］▶［OK］
10. 封筒をセットしたトレイを選択▶［OK］
11. 紙の厚さを選択▶［OK］

補足

・はがきや封筒のセット方法は、P.73「はがきをセットする」または P.75「封筒をセットする」を参照してください。
・操作部とプリンタードライバーの両方で、用紙設定を正しく行ってから印刷してください。プリンタードライバーの設定については、P92.「はがき、封筒に印刷する」を参照してください。
・各用紙サイズ/種類に対応したトレイについては、P.60「セットできる用紙のサイズ」または P.63「セットできる用紙の種類」を参照してください。

印刷する

印刷方法や本機の動作の設定方法などについて説明します。プリンタードライバーから印刷する方法は、Windows 7 のプリンタードライバーを例に説明しています。

プリンタードライバーの設定画面を開く

ドライバー設定画面を開く

手順で説明しているプリンタードライバー画面の表示はアプリケーションによって異なります。

重要

・プリンターのプロパティの内容を変更するには「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。内容を変更するときは、Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。

・プリンターのプロパティの設定はユーザーごとに変更できません。プリンターのプロパティの設定内容が、このプリンタードライバーを使用して印刷するすべてのユーザーの設定です。

1. ［スタート］ボタンをクリックし、［デバイスとプリンター］をクリックします。
2. 本機のアイコンを右クリックします。
3. ［プリンターのプロパティ］をクリックします。

［スタート］から印刷設定画面を開く

重要

・プリントサーバーから配布されたドライバーを使用するときは、プリントサーバーで設定された［標準の設定］の内容が初期値として表示されます。
印刷設定はユーザーごとに変更できません。印刷設定画面の設定内容が、このプリンタードライバーを使用して印刷するすべてのユーザーの初期値です。

1. ［スタート］ボタンをクリックし、［デバイスとプリンター］をクリックします。
2. 本機のアイコンを右クリックします。
3. ［印刷設定］をクリックします。

アプリケーションから開く

印刷で使用するアプリケーションだけに有効な設定をするには、プリンタードライバーの印刷設定画面をアプリケーションから表示させて設定します。
アプリケーションから印刷設定画面を開くと、［デバイスとプリンター］ウィンドウから表示される印刷設定の内容が初期値として表示されます。アプリケーションから印刷するときは、必要な項目を変更して印刷します。
画面の表示はアプリケーションによって異なります。ここでは Windows 7 に付属の「ワードパッド」を例に説明します。

1. **画面左上のメニューボタンをクリックし、［印刷］をクリックします。**
2. **「プリンターの選択」から本機を選択します。**
3. **［詳細設定］をクリックします。**

かんたん設定を使用する

よく使用する印刷機能の一部は、［かんたん設定］タブの「かんたん設定一覧：」に登録されています。メニューから設定名を選択するだけで、印刷方法を指定できます。
「かんたん設定」を使用するには、「かんたん設定一覧：」から、適用する設定名をクリックします。設定名を選択するだけで登録されている設定内容が反映されるため、印刷するときに何個所も設定を変更したり、誤って設定して無駄な印刷をしたりすることを防止できます。
「かんたん設定」は任意に追加、変更、削除できます。また、複数のメンバーで同じかんたん設定を共有して使用することもできます。プリンタードライバーに関する特別な知識がなくても、登録した「かんたん設定」を使用するだけで、さまざまな機能を活用できます。
「かんたん設定」を登録するときは、以下の手順で操作してください。

1. **印刷設定画面を開きます。**
2. **印刷の設定を必要に応じて指定します。**
3. **［かんたん設定に登録...］をクリックします。**
4. **設定の名前とコメントを入力して［OK］をクリックします。**
5. **［OK］をクリックします。**

補足

・「かんたん設定」の変更や削除については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

プリンタードライバーのヘルプを表示する

ヘルプのトピックを表示する

プリンタードライバーの設定画面の［ヘルプ］ボタンをクリックすると、表示しているタブに対応する内容のトピックが表示されます。

プリンタードライバーの設定画面の表示項目についての説明を表示する

プリンタードライバーの設定画面右上にある？マークのボタンをクリックすると、ポインターに？マークが表示されます。

説明を見たい項目をクリックすると、対応する内容のトピックが表示されます。

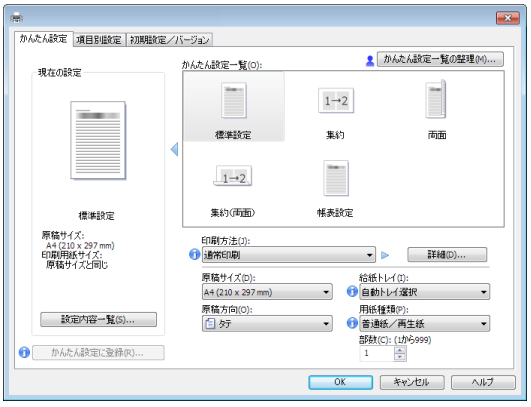
基本的な印刷

印刷する

重要

・本機がスリープモードのときに USB 2.0 経由で印刷すると、印刷できていても、印刷失敗のメッセージがパソコン上に表示されることがあります。正しく印刷されているかどうかを確認してください。

1. **アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの印刷設定画面を開きます。**
2. **［かんたん設定］タブが選択されていることを確認します。**
3. **「かんたん設定一覧：」の［標準設定］をクリックし、以下の項目を設定します。**



印刷方法：
［通常印刷］を選択します。
原稿サイズ：
印刷する文書のサイズを選択します。
原稿方向：
文書の印刷方向を選択します。
給紙トレイ：
使用する給紙トレイを選択します。
用紙種類：
給紙トレイにセットされている用紙の種類を選択します。
部数：
印刷部数を入力します。

・「給紙トレイ：」で［自動トレイ選択］を選択したときは、用紙サイズと用紙種類に応じて給紙トレイが自動で選択されます。

・設定した内容は、［かんたん設定に登録...］ボタンから、かんたん設定として保存できます。

4. **その他の印刷の設定を必要に応じて指定します。**

プリンタードライバーの［項目別設定］タブから便利な印刷機能を設定できます。詳しくは、P.96「便利な印刷機能」を参照してください。

5. ［OK］をクリックします。
6. アプリケーションから印刷の指示をします。

はがき、封筒に印刷する

1. アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの印刷設定画面を開きます。
2. 以下の項目を設定します。

・給紙トレイ：
　はがきまたは封筒をセットした給紙トレイを選択します。
・原稿サイズ：
　はがきまたは封筒の用紙サイズを選択します。
・原稿方向：
　はがきまたは封筒の印刷方向を選択します。
・用紙種類：
　用紙の種類を選択します。
　郵便はがき、往復はがきに印刷するときは［厚紙 2（131 から 162g/m²）］を選択します。
　封筒に印刷するときは、［中厚口］または［封筒］を選択します。
その他の印刷の設定を必要に応じて指定します。詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

3. ［OK］をクリックします。
4. アプリケーションから印刷の指示をします。

重要

・はがきまたは封筒を大量に印刷した直後の印刷に、黒い斑点などの汚れが付着する場合があります。その場合は、P.191「定着器を清掃する」を参照して「定着クリーニング」を実行してから印刷を再開してください。

補足

・印刷品質を保つため、先端・後端から 15mm、左右端から 10mm 以上が余白となるようにしてください。
・操作部とプリンタードライバーの両方で、用紙設定を正しく行ってから印刷してください。操作部の設定については、P.85「操作部を使用してはがき、封筒を設定する」を参照してください。
・はがきや封筒は正しい向きでセットしてください。はがきのセット方向については、P.73「はがきをセットする」を参照してください。封筒のセット方向については、P.75「封筒をセットする」を参照してください。

印刷を中止する

本機とパソコンから印刷を中止します。中止する方法は印刷データの状態によって異なります。状況を確認し、以下の手順で操作します。

1. **印刷を中止するデータが、本機から印刷されているか確認します。**
   データが印刷されていなくてもデータインランプが点滅・点灯していれば、本機はデータを受信しています。
2. **印刷を中止します。**
   データの印刷状況によって、次のいずれかの手順で操作します。

印刷開始前のとき

1. **Windows のタスクトレイのプリンターアイコンをダブルクリックします。**
2. **印刷を中止する文書のドキュメント名をクリックして反転表示させます。**
3. **［ドキュメント］メニューの［キャンセル］をクリックします。**

印刷中のとき

1. **［印刷取消］キーを押す ▶［ジョブ消去］または［全消去］を選択 ▶［消去する］**
   印刷中のジョブを消去するときは［ジョブ消去］、本機に送信したすべてのジョブを消去するときは［全消去］を押します。

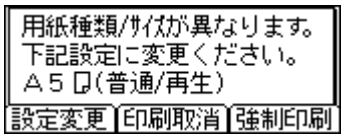
補足

・インターフェース切り替え時間が短いと、ひとつのデータが途中で切れて分かれることがあります。このため、印刷中止の操作をしても、それ以降のデータが印刷されることがあります。このようなときは、データが途切れないようにするために、インターフェース切り替え時間を長くしてください。インターフェース切り替え時間の設定項目については、P.209「インターフェース設定」を参照してください。

・大容量データの印刷を中止するときは、操作部から印刷中止の操作をしたあと、パソコン側からも印刷を中止することをお勧めします。

用紙サイズや用紙種類のエラーが表示されたとき

印刷時に指定した用紙サイズ、用紙種類に一致するトレイがないときや、本機にセットした用紙がなくなったときは、操作部に警告画面が表示されます。表示された内容に従って、印刷を継続するか中止するかを選択してください。



重要

・以下の条件のとき、トレイを変更して強制印刷できません。
・両面印刷ができないトレイを指定して、両面印刷を設定しているとき。
・おもて表紙や合紙を設定しているとき

強制印刷する

トレイを選択して強制印刷する方法を説明します。
用紙を補給して印刷するときは、正しい用紙をセットしてからトレイを選択してください。
警告画面で［強制印刷］を押し、操作部の［▼］［▲］キーを使用して操作してください。

1. ［実行］ ▶ 使用するトレイを選択 ▶ ［OK］

補足

・複数の部数を指定していても、強制印刷の操作によって印刷されるのは 1 部だけです。
・エラースキップを設定すると、自動的に強制印刷を実行できます。詳しくは、P.218「エラースキップ」を参照してください。

トレイの用紙設定を変更して印刷する

重要

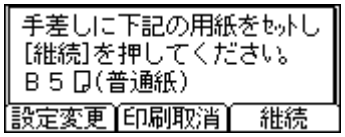
・トレイの用紙サイズダイヤルもドライバーで指定した用紙サイズに合わせてください。

警告画面で［設定変更］を押し、操作部の［▼］［▲］キーを使用して操作してください。

1. 用紙サイズを変更するトレイを選択 ▶ ［OK］
2. 使用する用紙サイズを選択 ▶ ［OK］
3. 用紙種類を変更するトレイを選択 ▶ ［OK］
4. 使用する用紙種類を選択 ▶ ［OK］ ▶ ［キャンセル］

手差しトレイからの印刷を継続する

［トレイ設定選択］で［手差しトレイ］を［全サイズ・種類許可］（［全サイズ・用紙種類許可］）または［全不定形サイズ・種類］（［全不定形サイズ・種類許可］）に設定しているときは、ジョブで指定した用紙サイズと異なる用紙が給紙されると警告画面が表示されます。このときは、画面に表示されたサイズ・種類の用紙を手差しトレイにセットして印刷を継続できます。



1. **画面に表示されているサイズと種類の用紙を手差しトレイにセット ▶ ［継続］**

   エラーが発生したページから印刷が再開されます。

補足

- ［設定変更］から用紙サイズや用紙種類を変更しても、実行中のジョブには適用されません。用紙設定を変更するときは、印刷取消をしてから、再度印刷を実行してください。
- ［トレイ設定選択］の設定項目については、P.206「一般設定」を参照してください。

便利な印刷機能

表紙用の用紙への印刷、合紙の挿入、ソートなど、プリンタードライバーで設定できる便利な印刷機能について説明します。

用紙の両面に印刷する

両面印刷の種類

用紙の一辺でとじる形態で、用紙の開きかたを設定できます。

原稿方向	左開き	上開き	右開き
タテ			
ヨコ			

両面印刷についての注意

両面印刷を設定できる用紙サイズ、用紙種類については、P.60「セットできる用紙のサイズ」または、P.63「セットできる用紙の種類」を参照してください。

1つの文書内に原稿サイズの異なるページがあるときは、そのページの前で改ページすることがあります。

補足

・プリンタードライバーでの設定については、P.87「プリンタードライバーの設定画面を開く」を参照してください。

複数のページを集約して印刷する

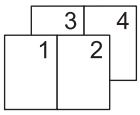
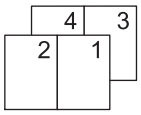
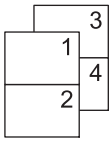
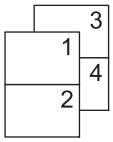
集約を設定すると、複数のページを縮小して 1 ページにまとめて印刷ができます。

集約印刷の種類

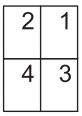
集約印刷で 1 ページにまとめることができるのは、2 ページ、4 ページ、9 ページ、16 ページです。4 ページ以上を 1 ページにまとめるときは、4 つのパターンからページの並べかたを選択できます。

ここでは 2 ページを 1 ページにまとめるときと、4 ページを 1 ページにまとめるときを例に説明します。

・2 ページを 1 ページに集約

原稿方向	左から右／上から下	右から左／上から下
タテ		
ヨコ		

・4 ページを 1 ページに集約

左上→右上→左下→右下	左上→左下→右上→右下	右上→左上→右下→左下	右上→右下→左上→左下
			

集約印刷についての注意

1 つの文書内に原稿方向の異なるページがあるときは、そのページの前で改ページします。

プリンタードライバーとアプリケーションで同じ機能を設定できるときは、アプリケーション側では機能を設定しないでください。アプリケーション側の設定を有効にして印刷すると、意図しない印刷結果になることがあります。

補足

・集約印刷と製本印刷を組み合わせて使用するときは、P.100「製本印刷する」を参照してください。

・プリンタードライバーでの設定については、P.87「プリンタードライバーの設定画面を開く」を参照してください。

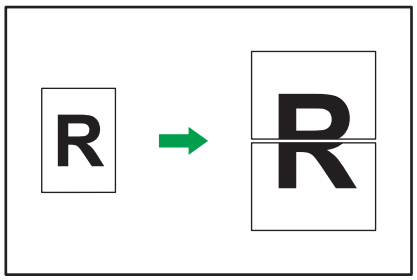
1 ページを複数枚に分けて印刷する

1 ページを複数枚の用紙に分けて拡大印刷し（拡大連写）、それらを貼り合わせることで、ポスターのような大判の印刷物を作れます。用紙の端から 15 mm の部分がのりしろとして印刷されます。印刷された用紙を貼り合わせるときは、端から 15 mm を重ねると、継ぎ目が目立たなくなります。

拡大連写の種類

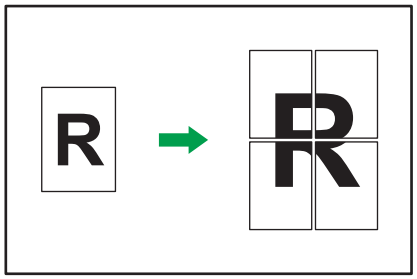
拡大連写で設定できる用紙の分けかたは次のとおりです。ここでは原稿の向きが ▯ のときを例に説明します。

・2 枚に分けて印刷（上下 2 枚に分割します。）



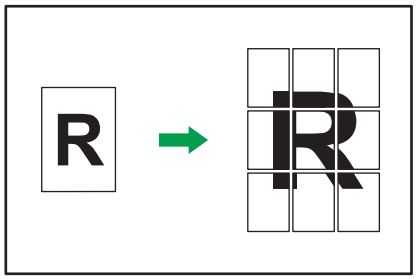
CKN103

・4 枚に分けて印刷（縦 2 枚、横 2 枚に分割します。）



CKN104

・9 枚に分けて印刷（縦 3 枚、横 3 枚に分割します。）



CKN105

拡大連写についての注意

拡大率は、指定した用紙のサイズと分割枚数に応じて決まります。

拡大連写で印刷するとき、画像によっては用紙の裏汚れなどの不具合が発生することがあります。

補足

・プリンタードライバーでの設定については、P.87「プリンタードライバーの設定画面を開く」を参照してください。

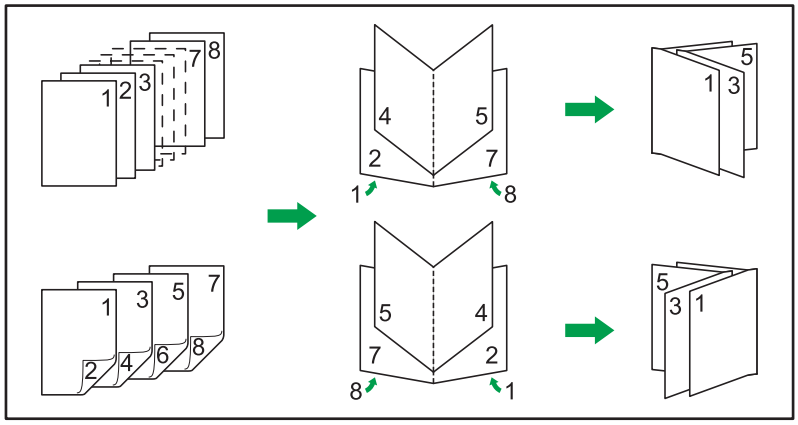
製本印刷する

用紙の中央でとじて印刷する方法を説明します。

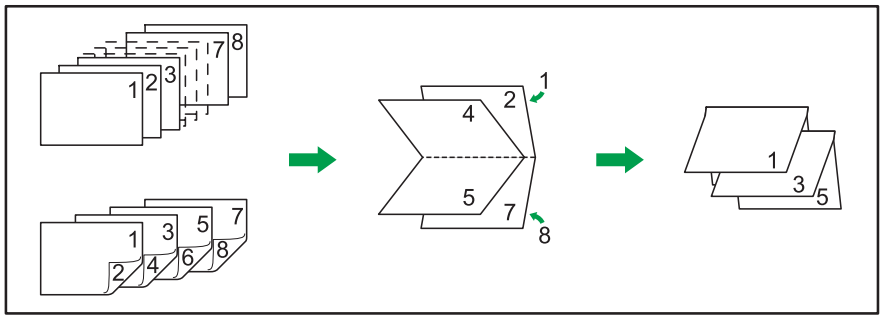
製本印刷の種類

用紙の中央でとじる形態で、用紙の開きかたを設定できます。

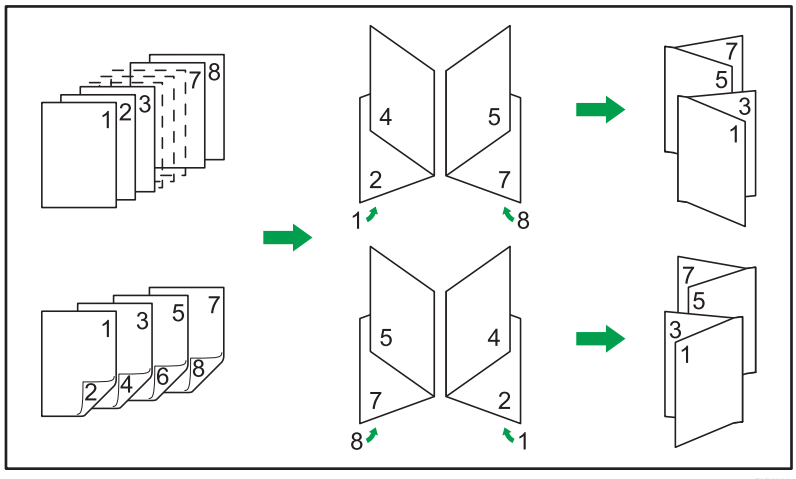
・週刊誌（左開き）/週刊誌（右開き）



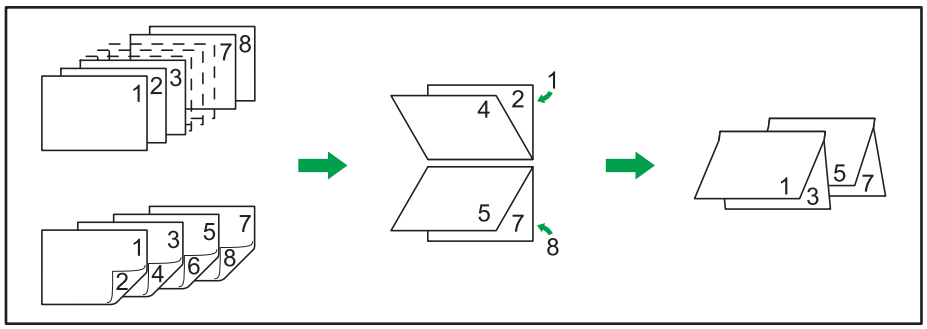
・週刊誌（上開き）



・ミニ本（左開き）/ミニ本（右開き）



・ミニ本（上開き）



CKN119

製本印刷についての注意

・製本印刷（両面印刷）を設定できる用紙サイズ、用紙種類については、P.60「セットできる用紙のサイズ」または、P.63「セットできる用紙の種類」を参照してください。

・原稿方向が［タテ］のときに、左開きと右開きを指定できます。

・原稿方向が［ヨコ］のときに、上開きを指定できます。

・1 つの文書内に原稿サイズの異なるページがあるとき、そのページの前で改ページすることがあります。

補足

・製本印刷と集約印刷を組み合わせて使用するときは、P.96「複数のページを集約して印刷する」を参照してください。

・プリンタードライバーでの設定については、P.87「プリンタードライバーの設定画面を開く」を参照してください。

部単位で印刷する

会議資料など複数部数の印刷をするとき、ページ順に仕分け（ソート）して印刷できます。パソコンから送信されてきたデータをメモリーに読み込み、ソートします。

重要

・200 ページまでの文書を 999 部までソートできます。
エラーが発生した印刷ジョブを［エラースキップ］で強制印刷したときは、ソートが解除されます。［エラースキップ］については、P.218「エラースキップ」を参照してください。

ソートの種類

・ソート（1 部ずつそろえて印刷します。）

・回転ソート（本機能はご使用になれません。）

補足

・プリンタードライバーでの設定については、P.87「プリンタードライバーの設定画面を開く」を参照してください。
・プリンタードライバーでソートの設定をするときに、［アプリケーションのソート］を指定していると、意図しない印刷結果になることがあります。［プリンターのソート］を指定して印刷してください。

トナーを節約して印刷する

トナーセーブ機能を使用する

トナーセーブ機能を使用すると、通常よりも薄い色で印刷され、トナーを節約できます。

トナーセーブの種類

トナーセーブ１：やや薄い

トナーセーブ２：薄い

補足

・プリンタードライバーでの設定については、P.87「プリンタードライバーの設定画面を開く」を参照してください。

原稿に文字やイメージをスタンプする

プリンタードライバーでスタンプを設定すると、作成した文書に文字やイメージデータを重ねて印刷できます。

スタンプには、文字データを使用する「スタンプ印字」と、ビットマップファイル（.bmp）を使用する「イメージスタンプ」があります。スタンプ印字とイメージスタンプは同時に指定できません。

スタンプの種類

プリンタードライバーにはいくつかのスタンプ印字があらかじめ登録されています。

利用できるスタンプ印字の種類は次のとおりです。

CONFIDENTIAL	マル秘	DRAFT	社外秘	COPY

イメージスタンプについての補足事項

イメージスタンプはプリンタードライバーで設定できます。

イメージスタンプを設定するときは、印刷するイメージデータが必要です。

詳しくはプリンタードライバーのヘルプを参照してください。

補足

・プリンタードライバーでの設定については、P.87「プリンタードライバーの設定画面を開く」を参照してください。

複製できない文書を印刷する

本機では、不正コピー抑止用の文字列とマスクパターンを埋め込んで印刷できます。
不正コピー抑止には、「不正コピー抑止地紋」と「不正コピーガード」があります。

重要

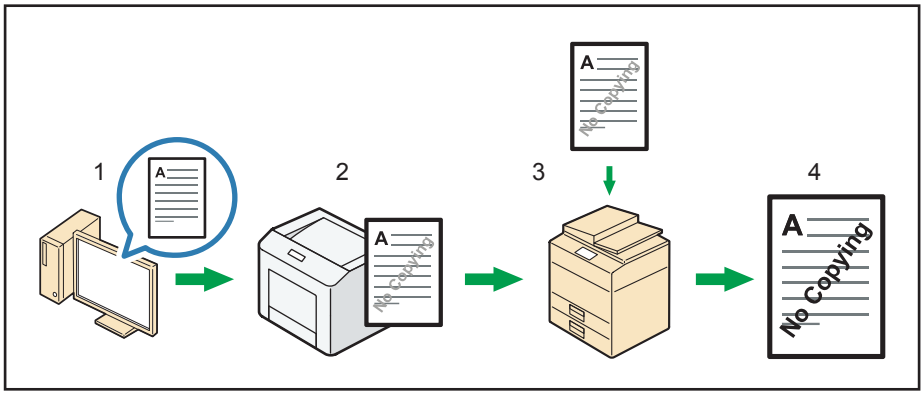
・不正コピー抑止は、必ずしも情報漏洩を防止するものではありません。

補足

・不正コピー抑止が［機器側設定優先］に設定されているときは、操作部での設定が優先されます。詳しくは、『セキュリティーガイド』を参照してください。
・Web Image Monitor での設定については、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

不正コピー抑止地紋を設定する

不正コピー抑止地紋を設定した文書を印刷するときの流れを説明します。



1. **不正コピー抑止地紋を設定し、文書を印刷します。**
2. **印刷した文書に、設定した不正コピー抑止文字列とマスクパターンが埋め込まれます。**
3. **複写機または複合機を使用して、印刷した文書をコピーします。**
4. **コピーした文書に、不正コピー抑止文字列が浮き上がります。**

不正コピー抑止地紋についての注意

・印刷するデータに、部分的に地紋と文字列を埋め込むことはできません。
・地紋効果は、コピー、スキャン、ドキュメントボックスへの蓄積結果をすべて保証しているものではありません。また蓄積結果は、使用する機種とその設定条件により異なります。

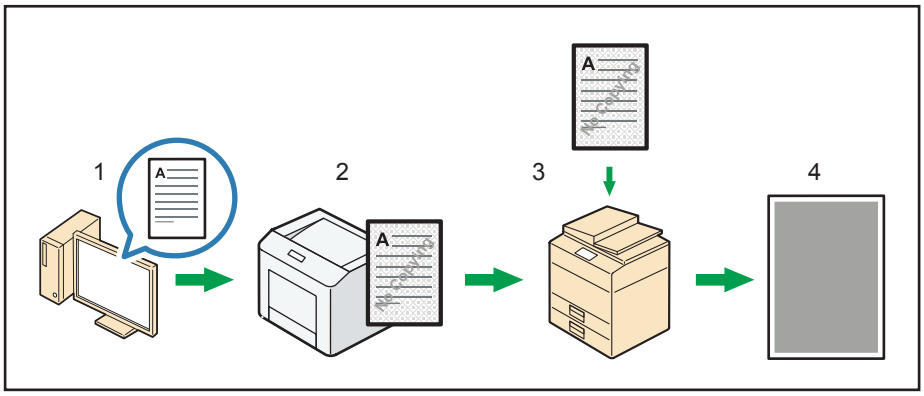
・地紋効果は、コピーするときの原稿種類設定により、画質の一部に濃淡が発生することがあります。

補足

・プリンタードライバーでの設定については、P.87「プリンタードライバーの設定画面を開く」を参照してください。

不正コピーガードを設定する

不正コピーガードを設定した文書を印刷するときの流れを説明します。



1. **不正コピーガードを設定し、文書を印刷します。**
2. **印刷した文書に、不正コピーガード用の地紋と不正コピー抑止文字列が埋め込まれます。**
3. **当社指定の不正コピーガードモジュールが搭載された複写機または複合機を使用して、印刷した文書をコピーします。**
4. **コピーした文書の文字や画像がグレー地に変換されます。**

不正コピーガードについての注意

・不正コピーガードでグレー地に印刷するには、本機側でも設定が必要です。
詳しくは『セキュリティーガイド』を参照してください。
・任意の範囲だけを対象とした地紋の埋め込みはできません。
・普通紙、または白色度 70%以上の再生紙で、B5 サイズ以上の用紙を使用してください。
・両面印刷するとき、裏面の文字や模様が透けることで、機能が正常に動作しないことがあります。

補足

・プリンタードライバーでの設定については、P.87「プリンタードライバーの設定画面を開く」を参照してください。

おことわり

当社は、不正コピー抑止地紋による不正コピー抑止効果および不正コピーガード機能が、常時有効に機能することを保証するものではありません。使用する用紙ならびにコピー機の機種および設定条件などによっては、不正コピー抑止地紋による不正コピー抑止効果および不正コピーガード機能が有効に機能しないことがあります。この点をご理解のうえ、ご使用ください。

重要

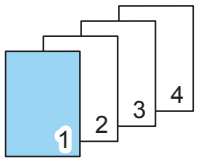
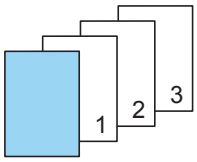
・不正コピー抑止地紋および不正コピーガード機能を使用または使用できなかったことにより生じた損害について、当社は一切その責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

表紙に印刷する

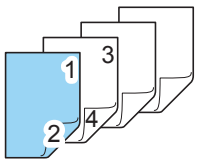
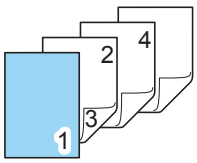
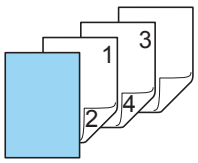
原稿の 1 ページ目を表紙用の用紙に印刷したり、1 ページ目の前に表紙用の用紙を挿入します。

表紙の印刷方法

・片面印刷

表紙用の用紙に印刷するとき	表紙用の用紙に印刷しないとき
	

・両面印刷

表紙用の用紙の両面に印刷するとき	表紙用の用紙の片面に印刷するとき	表紙用の用紙に印刷しないとき
		

表紙についての注意

・おもて表紙をトレイにセットしたあとは、当該の用紙サイズを設定してください。

・合紙が指定されているときは、おもて表紙の指定はできません。

・表紙の両面に印刷するときは、両面印刷を指定してください。詳しくは、P.96「用紙の両面に印刷する」を参照してください。

補足

・プリンタードライバーでの設定については、P.87「プリンタードライバーの設定画面を開く」を参照してください。

合紙を挿入する

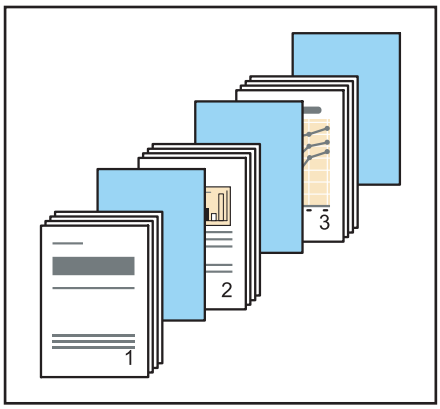
ページごとに合紙を挿入します。

重要

・合紙用の用紙と本文印刷用の用紙は、異なるトレイにセットしてください。

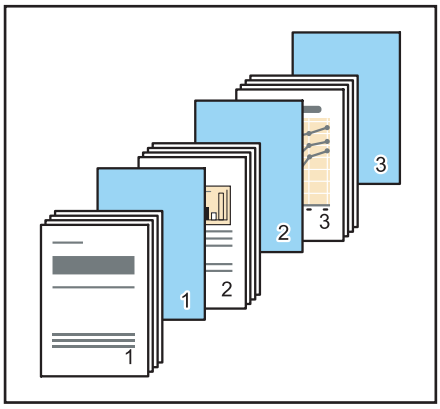
・合紙用の用紙と本文印刷用の用紙は、同じサイズで同じ方向にセットしてください。

合紙に印刷しないとき



CKN116

合紙に印刷するとき



CKN115

合紙についての注意

・表紙が指定されているときは、合紙の挿入はできません。

・試し印刷を指定しているときは、１部を印刷して蓄積しません。

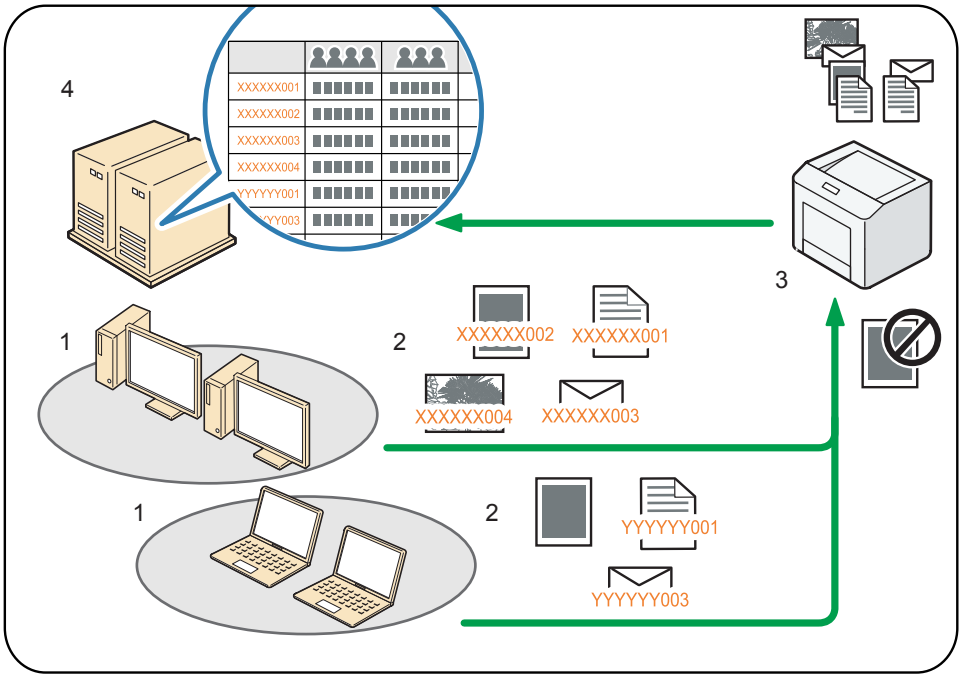
・合紙を設定すると、両面印刷、製本印刷は解除されます。

補足

・プリンタードライバーでの設定については、P.87「プリンタードライバーの設定画面を開く」を参照してください。

分類コードで印刷枚数を管理する

分類コードを登録しておくと、分類コードごとの印刷枚数が本機に記録されます。
この機能を使用し、たとえば利用目的や個人ごとに分類コードを設定しておくと、印刷枚数を利用目的や個人ごとに確認ができます。勘定科目ごとの収集や顧客ごとの課金管理などに適しています。



1. **管理する部や課、プロジェクトチーム、ユーザーなど**
2. **利用目的に応じて、分類コードをプリントジョブに入力します。**
   詳しくは、P.111「分類コードを入力して印刷する」を参照してください。
3. **印刷します。**
   印刷時に分類コードの入力を必須とするか任意とするかを、Web Image Monitor で設定します。詳しくは、P.111「分類コードを設定する」を参照してください。
4. **外部ログ管理システムで分類コードを収集し、管理します。**

分類コードを設定する

プリントジョブに分類コードを必須とするか任意とするかを、Web Image Monitor で設定します。

重要

・分類コードを［必須］に設定したとき、分類コードが付与されていないプリントジョブは印刷できません。
・分類コードを［必須］に設定したときでも、システム設定リストは印刷できます。
・初期状態は［任意］に設定されています。

1. **Web Image Monitor に管理者モードでログインします。**
   ログイン方法は、P.39「Web Image Monitor にログインする」を参照してください。
2. **メニューエリアの［機器の管理］から［設定］をクリックします。**
3. **「機器」カテゴリーの中の［ログ］をクリックします。**
4. **「共通設定」カテゴリーの中の「分類コード」の［必須］か［任意］をクリックします。**
5. **［OK］をクリックします。**
6. **［ログアウト］をクリックします。**
7. **Web Image Monitor を終了します。**

分類コードを入力して印刷する

分類コードが必須の環境で印刷するときは、プリントジョブに分類コードを指定して印刷します。

分類コードについての注意

入力した分類コードはプリンタードライバーに保存されます。
複数の分類コードを切り替えたいときは、プリンタードライバーを別の名前で複数インストールしそれぞれに個別の分類コードを設定します。

補足

・プリンタードライバーでの設定については、P.87「プリンタードライバーの設定画面を開く」を参照してください。

消耗品の補給と交換

消耗品を交換するときの注意事項や、本機に対応している消耗品の商品名、商品コードなどについて説明しています。

消耗品を交換する

消耗品は早めにお求めいただくことをお勧めします。適合する消耗品をお買い求めの際は、本体貼付けのラベルに記載されている型式を参照してください。

⚠警告

・トナー（使用済みトナーを含む）、トナーの入った容器、およびトナーの付着した部品を火中に投入しないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。

・トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器は、火気のある場所に保管しないでください。引火して、やけどや火災の原因になります。

・ポリ袋の WARNING 表示の意味は次のとおりです。
・本製品に使用しているポリ袋・手袋などを乳幼児の近くに放置しないでください。口や鼻をふさぎ、窒息する恐れがあります。

・こぼれたトナー（使用済みトナーを含む）を掃除機で吸引しないでください。吸引されたトナーが掃除機内部の電気接点の火花などにより発火や爆発の原因になります。ただし、トナー対応の業務用掃除機は使用可能です。トナーをこぼしたときは、トナーを飛散させないように、水で湿らせた布などで拭きとってください。

⚠注意

・トナーの入った容器を無理に開けたり、強く握ったり、つぶしたりしないでください。トナーが飛び散ると、トナーを吸い込んだり、衣服、手、床などを汚す原因になります。

・トナー（使用済みトナーを含む）、トナーの入った容器、およびトナーの付着した部品は子供の手の届かないところに保管してください。子供が誤ってトナーを飲み込んだときは、直ちに医師の診断を受けてください。

・トナー（使用済みトナーを含む）を吸い込んだときは、多量の水でうがいをし、空気の新鮮な場所に移動してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

- トナー（使用済みトナーを含む）が目に入ったときは、直ちに大量の水で洗浄してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。
- トナー（使用済みトナーを含む）を飲み込んだときは、胃の内容物を大量の水で希釈してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。
- 紙づまりを取り除くときやトナー（使用済みトナーを含む）を補給または交換するときは、トナーで手などを汚さないように注意してください。トナーが手などの皮膚についたときは、石鹸水でよく洗い流してください。
- 紙づまりを取り除くときやトナー（使用済みトナーを含む）を補給または交換するときは、トナーで衣服などを汚さないように注意してください。衣服についたときは、冷水で洗い流してください。温水で洗うなど加熱するとトナーが布に染み付き、汚れが取れなくなることがあります。
- トナー（使用済みトナーを含む）の入った容器、およびトナーの付着した消耗品を交換するときは、トナー粉が飛び散らないように注意してください。取り外した使用済み消耗品は、ふたのあるものはふたをした上で袋に入れてください。
- ステープラーの針がついたままの用紙の再利用や銀紙、カーボン含有紙等の導電性の用紙は使用しないでください。火災の原因になります。
- SD カード は、子供の手に触れないようにしてください。
  もし子供が誤って SD カードを飲み込んだときは、直ちに医師の診断を受けてください。

トナーカートリッジを交換する

トナーを補給するときに注意してほしいこと、使用済みトナーの廃棄のしかたを説明します。

重要

- 操作部にトナーの交換を促すメッセージが表示されてから、トナーカートリッジを交換してください。
- 本機に対応していないトナーカートリッジを使用すると、故障の原因になります。
- 電源を入れたままトナーを補給します。電源を切ると設定した内容が取り消され、印刷を再開できません。
- トナーカートリッジは、高温多湿、および直射日光をさけて 35℃以下の環境を目安に保管してください。
- トナーカートリッジは平らなところに置いてください。

トナーカートリッジを取り外したあと、トナーカートリッジの口を下に向けたまま振らないでください。残ったトナーが飛散することがあります。

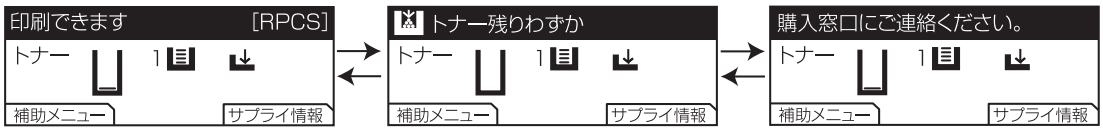
・トナーカートリッジを何度も抜き差ししないでください。トナーが漏れることがあります。

・トナーカートリッジを本機に取り付けるときは、トナーカートリッジを両手で持ち、本機に貼られたラベルが示す位置までしっかりと押し込んでください。前カバーが閉まらないときは、前カバーを無理に閉めずに、トナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。

トナーカートリッジの交換メッセージ

操作部に次のメッセージが表示されたときは、もうすぐトナーがなくなります。
交換用のトナーカートリッジを用意してください。

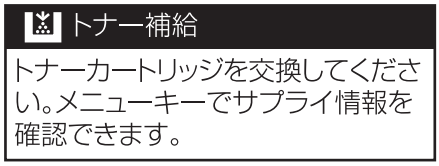
「予告通知」



下図のように交互に表示されます。

操作部に次のメッセージが表示されたときは、トナーカートリッジを交換してください。

「トナーカートリッジ交換通知」

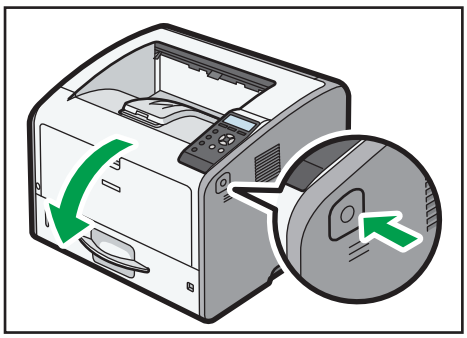


補足

・トナー残量が多いにもかかわらず、予告通知が表示されるときは、トナーカートリッジの口を上に向けてよく振ってから、再セットしてください。

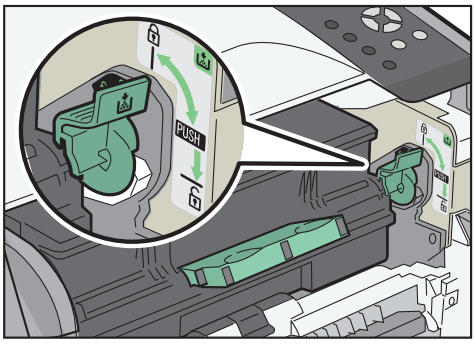
トナーカートリッジの交換方法

1. 前カバーオープンボタンを押し、前カバーを両手でゆっくりと開きます。



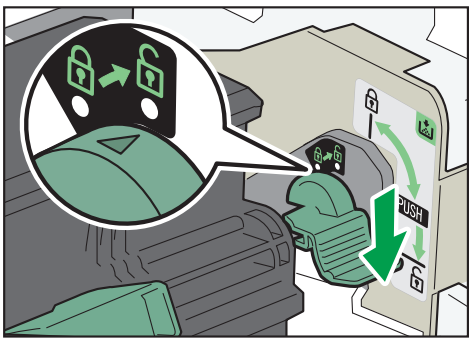
DBQ010

2. トナーカートリッジレバーを確認します。



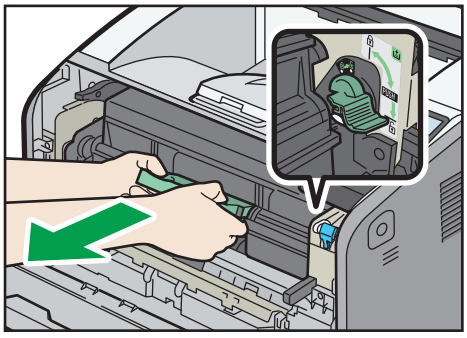
DBQ152

3. トナーカートリッジレバーをロック解除位置まで押し下げます。



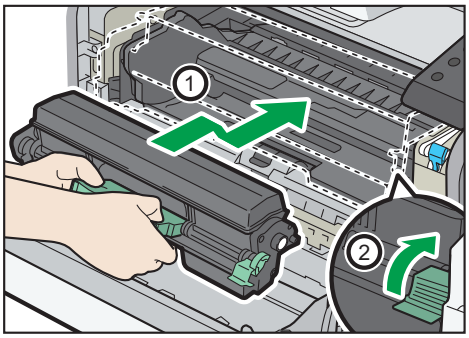
DBQ154

4. トナーカートリッジ前面の緑色の取っ手を両手でしっかりと持ち、手前に引き上げるように取り出します。



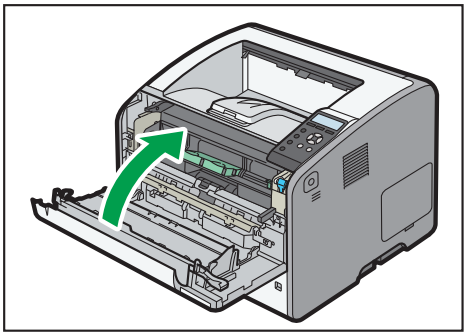
DBQ905

5. 新しいトナーカートリッジを取り出し、イラストのようにドラムユニットに取り付け、トナーカートリッジレバーを「3」の位置まで戻し、ロックします。



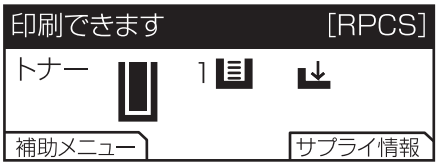
DBQ172

6. 前カバーを両手でゆっくりと閉じます。



DBQ167

7. 本体のパネル表示が下記に戻っていることを確認し、作業は終了です。



使用済みトナーを廃棄する

トナーの再利用はできません。

使用済みトナーカートリッジを廃棄するときは、トナー粉が飛び散らないように箱または袋に入れて保管してください。

保管したトナーカートリッジは、同梱または本体貼付けの回収案内を参照してお申込いただくか、販売店またはサービス実施店へお渡しいただき、当社の回収･リサイクル活動にご協力ください。

なお、お客様で処理されるときは、必ず地域の条例や自治体の指示に従って、一般のプラスチック廃棄物あるいは回収システムにより処理してください。

ドラムユニットを交換する

ドラムユニットを交換するときに注意してほしいこと、使用済みドラムユニットの廃棄のしかたを説明します。

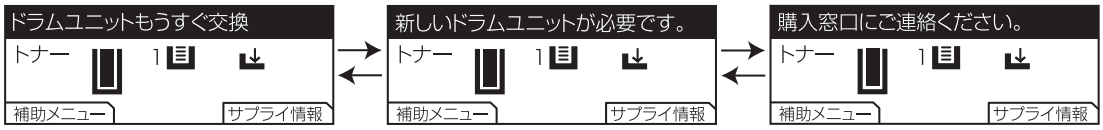
重要

- ドラムユニットは長時間光に当てると性能が低下します。交換は速やかに行ってください。
- ドラムユニットの下部表面に触れたり、傷つけたりしないよう注意してください。
- ドラムユニットを取り外した状態で、本機を放置しないでください。
- ドラムユニットを本機に取り付けるときは、ドラムユニットを両手で持ち、本機に貼られたラベルが示す位置までしっかりと押し込んでください。前カバーが閉まらないときは、前カバーを無理に閉めずに、ドラムユニットが正しくセットされているか確認してください。

ドラムユニットの交換メッセージ

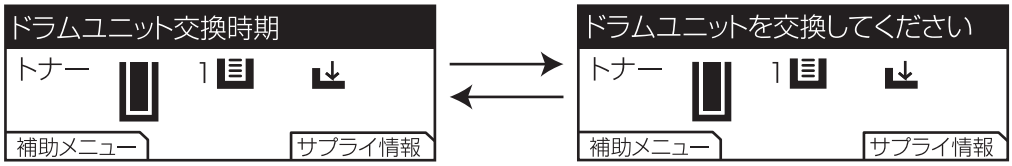
操作部に次のメッセージが表示されたときは交換時期が間近です。
新しいドラムユニットを用意してください。

「予告通知」



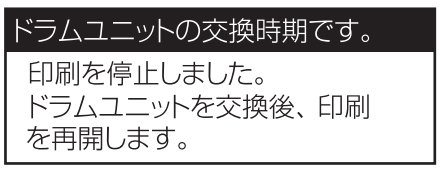
操作部に次のメッセージが表示されたときは、ドラムユニットを交換してください。

「ドラムユニット交換通知」



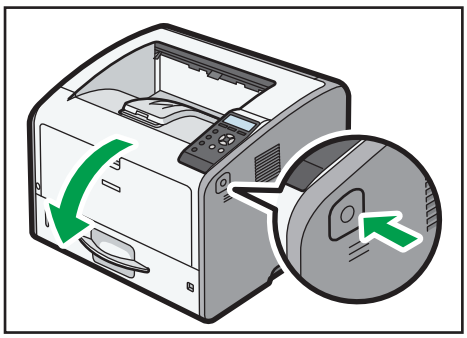
操作部に次のメッセージが表示されたときは、ドラムユニットの寿命です。
新しいドラムユニットに交換するまで印刷を再開することはできません。

「ドラムユニット寿命通知」



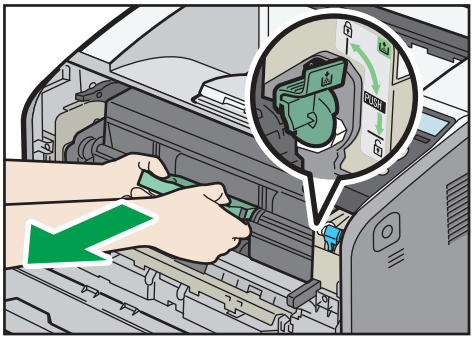
ドラムユニットの交換方法

1. 前カバーオープンボタンを押し、前カバーを両手でゆっくりと開きます。



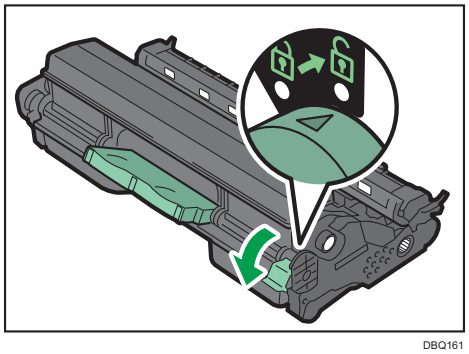
DBQ010

2. トナーカートリッジ前面の緑色の取っ手を両手でしっかりと持ち、手前に引き上げるように取り出します。ドラムユニットとトナーカートリッジがセットされた状態で引き出せます。



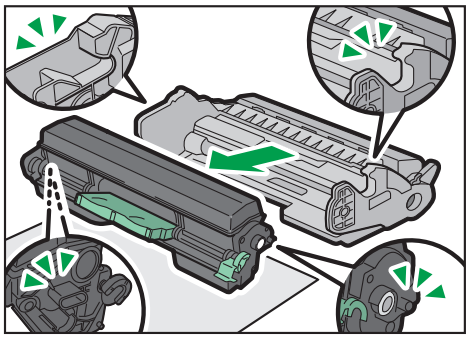
DBQ011

3. トナーカートリッジレバーをロック解除位置まで押し下げます。



DBQ161

4. トナーカートリッジのロックが解除されるとドラムユニットと分離し、トナーカートリッジだけが取り外せます。

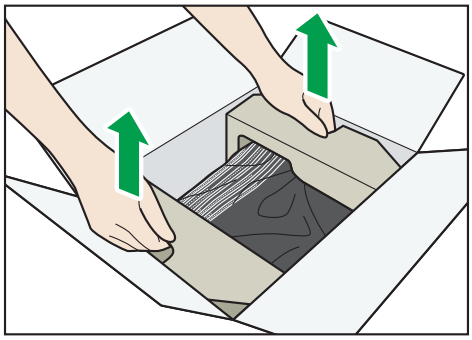


DBQ163

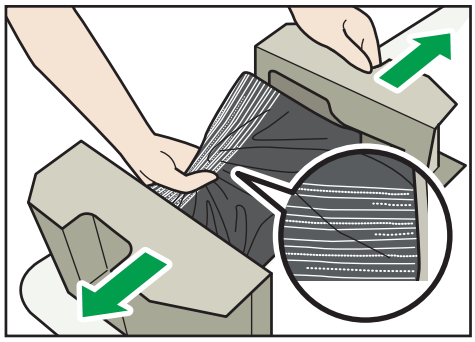
重要

・トナーがこぼれる場合がありますので、紙を敷いて作業を行ってください。

5. 新しいドラムユニットの梱包箱を開け、イラストのように取り出します。



CYN802



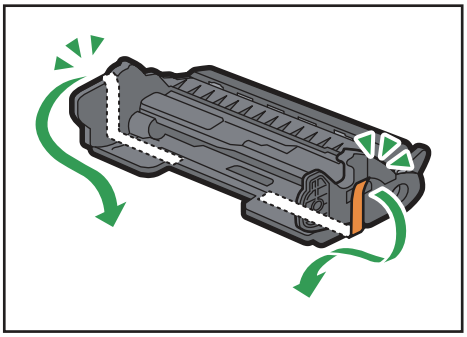
CYN803

重要

・梱包袋に白色で印字された場所を持って取り出します。
ドラムユニットの保持位置にご注意ください（イラストの位置参照）。

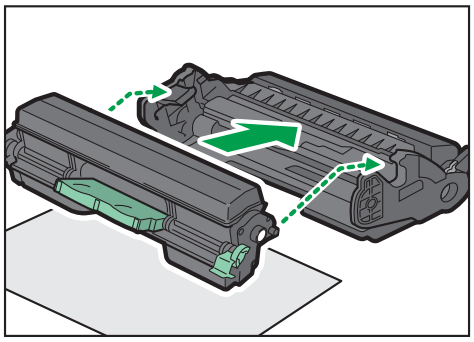
6. 新しいドラムユニットを梱包袋から平らな机などに取り出し、本体から取り出したドラムユニットをポリ袋に入れて梱包します。

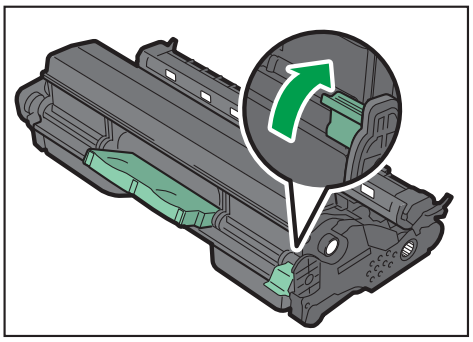
7. ドラムユニットのオレンジテープを本体から取り外します。



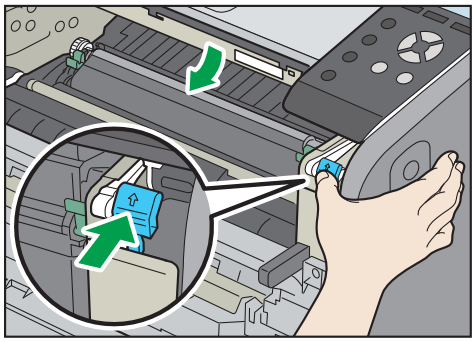
DBQ173

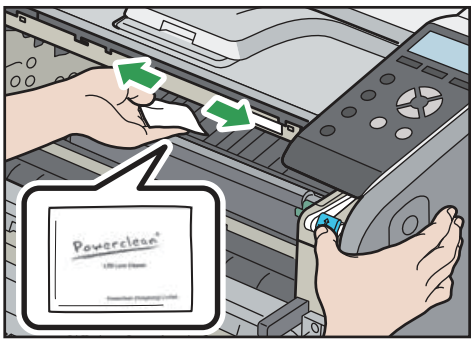
8. トナーカートリッジを新しいドラムユニットに取り付け、トナーカートリッジレバーをロック位置まで引き上げます。


DBQ164


DBQ165

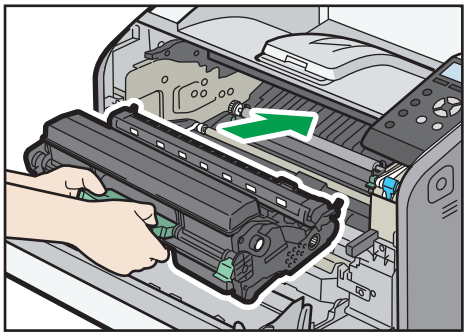
9. 本体の LED 清掃レバーを押し、LED ヘッドを同梱の LED レンズクリーナーで清掃します。

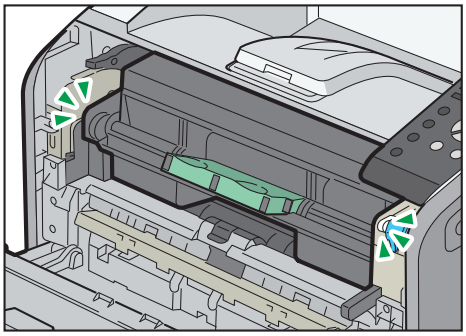

DBQ150



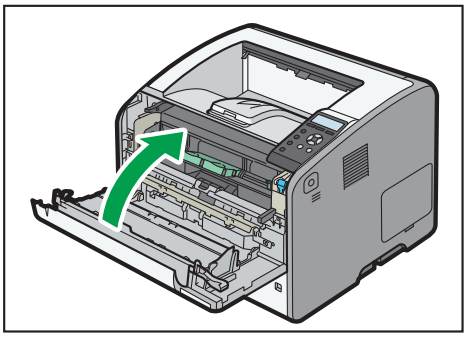
DBQ151

10. トナーカートリッジを取り付けたドラムユニットを両手で持ち、ラベルが示す位置まで、しっかりと差し込みます。


DBQ016

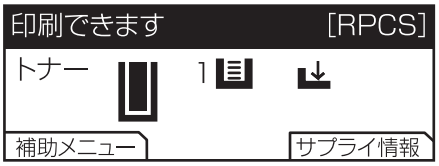

DBQ019

11.前カバーを両手でゆっくりと閉じます。



DBQ167

12.本体のパネル表示が下記に戻っていることを確認し、交換作業は終了です。



重要

・ドラムユニットの交換後は、定着器の品質維持のため、本体のパネルから「定着クリーニング」を行うことを推奨します。

定着クリーニング方法

操作部の［メニュー］キーを押し、［▼］［▲］キーを使用して操作してください。

1. 手差しトレイに A4▱用紙をセットします。
2. ［調整/管理］▶［OK］
3. ［品質調整］▶［OK］
4. ［定着クリーニング］▶［OK］

セットした用紙にクリーニング印刷（両面印刷）が行われます。

使用済みドラムユニットを廃棄する

使用済みドラムユニットを廃棄するときは、トナー粉が飛び散らないように箱または袋に入れて保管してください。

保管したドラムユニットは、本体貼付けの回収案内を参照してお申込いただくか、販売店またはサービス実施店へお渡しいただき、当社の回収･リサイクル活動にご協力ください。なお、お客様で処理されるときは、必ず地域の条例や自治体の指示に従って、一般のプラスチック廃棄物あるいは回収システムにより処理してください。

消耗品一覧

適合する消耗品については本体正面記載の適合消耗品をご参照ください。

商品名	販売単位	印刷可能ページ数
トナーカートリッジ	1 個	約 12,000 ページ
ドラムユニット	1 個	約 25,000 ページ

補足

・トナーカートリッジ

「印刷可能ページ数」は、A4 サイズで、「JIS X6931」「ISO/IEC19752」に準拠し、印字濃度が工場出荷初期設定値のときです。「ISO/IEC19752」とは、国際標準化機構（International Organization for Standardization）より発行された「印字可能枚数の測定方法」に関する国際標準です。交換時期を過ぎると印刷ができなくなります。トナーカートリッジ（消耗品）は保証対象外です。ただし、ご購入になった時点で不具合があった場合は購入された販売店までご連絡ください。

本気を始めてご使用になるときは本機に同梱されているトナーカートリッジをお使いください。本体に同梱されているトナーカートリッジの印刷可能ページ数は約 3,000 ページです。

・ドラムユニット

「印刷可能ページ数」は、A4▱5% チャート連続印刷をした場合の目安です。実際の印刷可能ページ数は、印刷する用紙の種類・サイズ、印刷内容、環境条件によって異なります。ドラムユニット（消耗品）は保証対象外です。ただし、ご購入になった時点で不具合があった場合は購入された販売店までご連絡ください。

定期交換部品

定期交換部品（磨耗などにより機能低下する部品）の種類と目安について説明します。定期交換部品の交換メッセージが表示された場合は、販売店またはサービス実施店にご連絡ください。

・メンテナンスキット（定着器、転写ロール）：約 90,000 ページ（A4▱ 3P/J 時）

ご使用の状況により、早めに交換時期になる場合があります。またその他部品の交換が必要になる場合があります。

こまったときには

困ったときの対処方法を説明します。

ブザー音が鳴ったとき

本機の状態をブザー音で知らせます。

ブザー音のパターン	意味	状態
“ピッ”	入力完了音	操作部や画面のキーを押したことを知らせます。
“ピッピー”	入力無効音	無効なキーが押されたときやパスワード入力などを間違えたときにこの音が鳴ります。
“ピーピー”	準備完了音	スリープモードを解除したときや電源を入れたときに、印刷できる状態になったことを知らせます。
“ピーピーピーピーピー” “ピーピーピーピーピー” “ピーピーピーピーピー” “ピーピーピーピーピー”	弱注意音 （同じパターンを４回繰り返します）	用紙切れのときなどにこの音が鳴ります。
“ピッピッピッピッピッ” “ピッピッピッピッピッ” “ピッピッピッピッピッ” “ピッピッピッピッピッ” “ピッピッピッピッピッ”	強注意音 （同じパターンを５回繰り返します）	紙づまり、トナー補給や何らかの異常により、お客様による対処が必要となったときにこの音が鳴ります。

補足

・鳴動中のブザー音を止めることはできません。このため紙づまりやトナー補給のときに、前カバーなどの開閉を続けて行うと、本機が正常な状態に戻っていてもブザー音が鳴り続けることがあります。
ブザー音を鳴らすか鳴らさないかの設定については、P.200「一般管理」を参照してください。

操作部のランプ、マーク、メッセージを確認するとき

マークが表示されたとき

紙づまりや用紙補給など、お客様による操作が必要となったときに操作部に表示されるマークについて説明します。

マーク	状態
：用紙づまり表示	用紙がつまったときに表示されます。 紙づまりを取り除く方法は、P.155「用紙が詰まったとき」を参照してください。
：用紙補給表示	用紙がなくなったときに表示されます。
：トナー補給表示	トナーがなくなったときに表示されます。 トナーの補給方法は、P.114「トナーカートリッジを交換する」を参照してください。
：サービスコール表示	機械が故障し、修理が必要なときに表示されます。 本体正面に貼付けされている案内ラベルを参照してください。
：カバーオープン表示	本機の前カバーや後ろカバーが開いているときに表示されます。

メッセージが表示されたとき

おもなメッセージについて説明します。その他のメッセージが表示されたときは、メッセージに従って対処してください。

状態表示メッセージ

メッセージ	状態
印刷一時停止中	［印刷一時停止/再開］キーを押して印刷を停止しました。
印刷中です	印刷しています。
印刷できます	パソコンからデータを送って印刷できます。
印刷データ待ち	印刷データの受信待ちです。データの受信が完了すると印刷が始まります。
印刷取消中です	印刷ジョブを取り消し中です。「印刷できます」と表示されるまでお待ちください。
オフライン	オフライン状態です。
おまちください	短い時間、このメッセージが表示されることがあります。 トナーの補給中です。しばらくお待ちください。
機内冷却の為ファンが稼動中です	プリンター内部の冷却をしています。 冷却が完了したら印刷が再開されますので、しばらくお待ちください。 連続両面印刷を続けているとプリンター内部の温度が上昇し、冷却のため一時印刷を中断する場合があります。
設定変更中です	設定変更中です。
ヘキサダンプ	16 進法でデータを印刷できるモードです。ヘキサダンプモードを解除するときは、［印刷取消］を押してください。

エラーコードがないメッセージ

補足

・電源の切りかたは、P.31「電源の入れかた、切りかた」を参照し、正しい方法で操作してください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
（A1）トレイに詰まっている用紙を取り除き、前カバー開閉	本体内部の用紙搬送部で紙づまりが発生しました。	給紙トレイを引き出して、用紙を取り除いてください。 詳しくは、P.156「紙づまり（A1）が発生したとき」を参照してください。
（A2）前カバーを開けて用紙を取り除いてください。	手差しトレイの用紙搬送部で紙づまりが発生しました。	手差しトレイの用紙を取り除いてください。 詳しくは、P.158「紙づまり（A2）が発生したとき」を参照してください。
（B）前カバーを開けて用紙を取り除いてください。	本体内部の用紙搬送部で紙づまりが発生しました。	前カバーを開けて、用紙を取り除いてください。 詳しくは、P.160「紙づまり（B）が発生したとき」を参照してください。
（B）（C）前/後カバーを開け詰まっている用紙を取り除く。	本体内部の用紙搬送部で紙づまりが発生しました。	前カバーと後ろカバーを開けて、用紙を取り除いてください。 詳しくは、P.163「紙づまり（B）（C）が発生したとき」を参照してください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
（Y1）トレイ２に詰まっている用紙を取り除き前カバー開閉	トレイ２で紙づまりが発生しました。	トレイ２を引き出して、用紙を取り除いてください。 詳しくは、P.168「紙づまり（Y1）、（Y2）または（Y3）が発生したとき」を参照してください。
（Y2）トレイ３に詰まっている用紙を取り除き前カバー開閉	トレイ３で紙づまりが発生しました。	トレイ３を引き出して、用紙を取り除いてください。 詳しくは、P.168「紙づまり（Y1）、（Y2）または（Y3）が発生したとき」を参照してください。
（Y3）トレイ４に詰まっている用紙を取り除き前カバー開閉	トレイ４で紙づまりが発生しました。	トレイ４を引き出して、用紙を取り除いてください。 詳しくは、P.168「紙づまり（Y1）、（Y2）または（Y3）が発生したとき」を参照してください。
（Z1）後ろカバーを開けて用紙を取り除いてください。	搬送ユニット内で紙づまりが発生しました。	後ろカバーを開けて、用紙を取り除いてください。 詳しくは、P.170「紙づまり（Z1）が発生したとき」を参照してください。
（Z1）（B）後ろカバーを開けて用紙を取り除いてください。	搬送ユニット内で紙づまりが発生しました。	後ろカバーを開けて、用紙を取り除いてください。 詳しくは、P.170「紙づまり（Z1）が発生したとき」を参照してください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
（Z2）トレイ 1 を引き出し用紙を取り除き前カバー開閉	搬送ユニット内で紙づまりが発生しました。	給紙トレイを引き出して、用紙を取り除いてください。 詳しくは、P.172「紙づまり（Z2）が発生したとき」を参照してください。
（Z3）トレイ 1 か後ろカバーを開けて用紙を取り除き前カバー開閉	搬送ユニット内で紙づまりが発生しました。	給紙トレイを引き出して、用紙を取り除いたあと、後ろカバーを開けて、用紙を取り除いてください。 詳しくは、P.174「紙づまり（Z3）が発生したとき」を参照してください。
トナー残りわずか	トナーが残りわずかです。	新しいトナーカートリッジを用意してください。
トナー補給　トナーカートリッジを交換してください。	トナーがなくなりました。	トナーカートリッジを交換してください。 詳しくは、P.114「トナーカートリッジを交換する」を参照してください。
印刷できません。	印刷不許可のファイルを印刷しようとしています。	印刷不許可の設定を解除して印刷してください。
エラー。設定変更して印刷/取消	印刷中にエラーが発生しました。エラースキップにより、強制印刷または印刷が中止されました。	印刷設定を確認してください。
カバーオープン 白黒反転または矢印の部分を閉めてください。	前カバーまたは後ろカバーが開いています。	前カバーまたは後ろカバーを閉めてください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
給紙（トレイ名）を正しくセットしてください。	指定されたトレイが正しくセットされていません。	指定したトレイが正しくセットされているか確認してください。
最大サイズオーバーです。強制印刷またはジョブリセットしてください。	プリンタードライバーの設定が間違っているか、またはプリンタードライバーで指定した用紙サイズ、用紙種類の用紙がトレイにありません。	・プリンタードライバーの設定を確認してプリンタードライバーで指定した用紙サイズ、または用紙種類をトレイにセットしてください。用紙サイズの変更方法は P.55「用紙をセットする」を参照してください。 ・トレイを選択して強制印刷をするか、［印刷取消］を押して印刷を中止してください。 強制印刷および印刷の取り消し方法は、P.94「用紙サイズや用紙種類のエラーが表示されたとき」を参照してください。
センターに接続できませんでした。/プロキシユーザー名/パスワードを確認	プロキシユーザー名もしくはパスワードが間違っています。	プロキシユーザー名もしくはパスワードを正しく設定してください。
トナーカートリッジを正しくセットしてください。	トナーカートリッジがセットされていない、正しくセットされていない、もしくは適合品ではありません。	トナーカートリッジが正しくセットされているか、セットしたトナーカートリッジが本体の適合品かを確認してください。
ドラムユニットの交換時期です。	ドラムユニットの交換時期です。	ドラムユニットを交換してください。 詳しくは、P.119「ドラムユニットを交換する」を参照してください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
ドラムユニットもうすぐ交換	ドラムユニットが残りわずかです。	新しいドラムユニットを用意してください。
ドラムユニットを正しくセットしてください。	ドラムユニットがセットされていないか、正しくセットされていません。	ドラムユニットが正しくセットされているか確認してください。 ドラムユニットが正しくセットされていてもエラーメッセージが表示されるときは、乾いた布でドラムユニットの本体接触部分をやさしく拭き取ってください。
（トレイ名）は片面印刷のみの設定となっているため両面印刷できません	トレイの設定が片面印刷に設定されています。	両面印刷できるトレイを選択し直すか、表示されたトレイの設定を変更してください。
（トレイ名）を下記設定に変更してください。	トレイに設定した用紙サイズが、プリンタードライバーで指定した用紙サイズと異なります。	トレイに設定したサイズの用紙をセットし、操作部で用紙サイズを変更してください。
（トレイ名）に用紙補給するか機能を解除して強制印刷。	プリンタードライバーの設定が間違っているまたはプリンタードライバーで指定した用紙サイズの用紙がトレイにありません。	表示されたトレイに用紙を補給してください。 指定した用紙サイズと同じサイズの用紙がセットされているトレイを指定してください。
本体トレイが満杯になりました。用紙を取り除いてください。	本体の排紙トレイが満杯になりました。	本体排紙トレイの用紙を取り除いてください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
非純正トナーがセットされています、	セットされているトナーカートリッジが純正ではないトナーカートリッジの可能性があります。	純正ではないトナーカートリッジを装着しているときは、純正のトナーカートリッジをセットしてください。
メンテナンスキットの交換時期です。	定期交換部品（定着ユニットなど）の交換時期です。	サービス実施店に連絡してください。
定着ユニットを正しくセットしてください。	定着ユニットがセットされていないか、正しくセットされていません。	定着ユニットが正しくセットされているか確認してください。 定着ユニットが正しくセットされていてもエラーメッセージが表示されるときは、サービス実施店に連絡してください。
USB エラーです。	USB インターフェースに異常が発生しています。	電源を入れ直してください。 それでも同じメッセージが表示されるときは、サービス実施店に連絡してください。
イーサネットボードエラーです。	イーサネットボードに異常が発生しています。	電源を入れ直してください。 それでも同じメッセージが表示されるときは、サービス実施店に連絡してください。
オプション RAM エラーです。	SDRAM モジュールに異常が発生しました。	SDRAM モジュールを交換してください。
プリンターフォントエラーです。	プリンターのフォントファイルが異常です。	サービス実施店に連絡してください。

エラーコードが表示されるメッセージ

重要

・「エラーコードが表示されるメッセージ」は、「システム設定」の「エラー表示設定」を「すべて表示」に設定すると表示されます。

補足

・電源の切りかたは、P.31「電源の入れかた、切りかた」を参照し、正しい方法で操作してください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
9B：認証不適合	認証が不適合なユーザーが、プログラムの登録または給紙トレイの情報登録をしようとしました。	認証については『セキュリティーガイド』を参照してください。
A3：オーバーフロー	受信バッファがオーバーフローしました。	・初期設定で［受信バッファ］を多く設定してください。 ・送信データを減らしてください。
A4：ソートオーバー	ソートできる枚数をオーバーしています。	印刷ページ数を減らしてください。
A6：ページフル	ページ印刷中にページ画像が破棄されました。	・プリンタードライバーで解像度を低く設定してください。プリンタードライバーの設定方法はプリンタードライバーのヘルプを参照してください。 ・初期設定で［優先メモリー］を［ページメモリー］に変更してください。
AI：用紙サイズエラー	給紙できない用紙サイズの印刷が指定されたためオートジョブリセットが実行されました。	給紙可能な用紙サイズで印刷を行ってください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
AJ：用紙種類エラー	給紙できない用紙種類の印刷が指定されたためオートジョブリセットが実行されました。	給紙可能な用紙種類で印刷を行ってください。
B6：ユーザーの自動登録に失敗	登録件数が上限に達しているため、LDAP 認証または Windows 認証時に認証情報を本機のアドレス帳に自動登録できません。	ユーザー情報の自動登録については、『セキュリティーガイド』を参照してください。
B7：登録済ユーザーと情報が重複	LDAP や統合サーバー認証で、異なるサーバーに別の ID で同じ名前が登録されていて、ドメイン（サーバー）の切り替えなどによって名前（アカウント名）の重複が発生しました。	ユーザーの認証については、『セキュリティーガイド』を参照してください。
B8：サーバー応答なし	LDAP 認証、Windows 認証の際にサーバーへの認証問い合わせでタイムアウトが発生しました。	認証問い合わせ先のサーバーの状態を確認してください。
B9：他機能でアドレス帳使用中	ほかの機能でアドレス帳を使用中の状態が続いており、認証問い合わせができません。	しばらくしてからもう一度操作をやり直してください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
BA：利用権限がありません。	プリンタードライバー側で認証が設定されていないか、ログインユーザー名（ユーザーコード）、ログインパスワードが間違っています。	・ユーザー認証を有効にしているときは、プリンタードライバーのプロパティでユーザー認証を有効に設定してください。 ・プリンタードライバーにログインユーザー名（ユーザーコード）パスワードを正しく設定してください。プリンタードライバーの設定方法はプリンタードライバのヘルプを参照してください。
BB：印刷利用量制限度数オーバー	ユーザーに許可された印刷枚数を超えたため、印刷が中止されました。	印刷利用量制限については、『セキュリティーガイド』を参照してください。
BC：ソートエラー	ソートが解除されました。	印刷ページ数を減らしてください。
BF：両面エラー	両面印刷が解除されました。	両面印刷可能な用紙を使用してください。両面印刷可能な用紙については、P.60「セットできる用紙のサイズ」または、P.63「セットできる用紙の種類」を参照してください。
BI：紙種名称エラー	指定したユーザー用紙種類が設定されていません。	・指定したユーザー用紙種類が設定されているか確認してください。 ・ユーザー用紙種類の設定内容を本機から取得し直してください。
BJ：分類コードが不正です	分類コードが指定されていません。	プリンタードライバーで分類コードを任意に設定してから印刷してください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
BQ：圧縮データエラー	圧縮データが破損しています。	パソコンと本機の間で正常に通信ができているか確認してください。圧縮データ作成ツールが正常に動作完了しているか確認してください。
P1：コマンドエラー	RPCS のコマンドエラーです。	次のいずれかを確認してください。 ・ホストと本機の間で正常に通信ができるか。 ・機種に合ったプリンタードライバーを使用しているか。 ・ホームページから最新バージョンを入手してください。
P2：メモリーエラー	メモリーの取得エラーです。	・プリンタードライバーで解像度を低く設定してください。 プリンタードライバーの設定方法はプリンタードライバーのヘルプを参照してください。 ・［項目別設定］タブの「メニュー項目：」から［印刷品質］を選択します。「ベクター／ラスター：」の設定を［ラスター］に変更してください。 ・初期設定で［優先メモリー］を［ユーザーメモリー］に変更してください。
P3：メモリーエラー	メモリーの取得エラーです。	電源を入れ直してください。電源を入れ直しても同じメッセージが表示されるときは、SDRAM モジュールの交換が必要です。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
P4：送信中止	プリンタードライバーから、データ送信中断コマンドを受信しました。	使用しているパソコンが正しく動作しているか確認してください。
P5：受信中止	データの受信が中断しました。	データを再送してください。

それでも印刷が開始されないときは、サービス実施店に連絡してください。

補足

・初期設定の［エラー表示設定］を［簡易表示］に設定したときは、表示されないメッセージがあります。

・次のメッセージは、印刷したエラー履歴または操作部のエラー履歴に表示されます。

「91：ジョブがキャンセルされました」「92：ジョブがキャンセルされました」

エラーの内容は、システム設定リストに印刷されることがあります。併せて確認してください。印刷方法は、P.53「テスト印刷する」を参照してください。

印刷が始まらないとき

状態	原因	対処方法と参照先
印刷が始まらない。	電源が入っていません。	電源の入れかたについては、P.31「電源の入れかた、切りかた」を参照してください。
	操作部の画面に原因が表示されます。	表示されているメッセージを確認して、エラーの対処をしてください。対処方法は、P.128「メッセージが表示されたとき」を参照してください。
	インターフェースケーブルが正しく接続されていません。	インターフェースケーブルの正しい接続については、P.48「パソコンに接続する」を参照してください。
	適切なインターフェースケーブルを使用していません。	使用するインターフェースケーブルはパソコンの種類によって異なります。適切なインターフェースケーブルについては、P.48「パソコンに接続する」を参照してください。また、断線が考えられるときは、ほかのケーブルと交換してみてください。
	本機の電源を入れてからインターフェースケーブルを接続しました。	インターフェースケーブルを接続してから、本機の電源を入れてください。

状態	原因	対処方法と参照先
印刷が始まらない。	ログインユーザー名、ログインパスワードまたはドライバー暗号鍵が間違っています。	ログインユーザー名、ログインパスワードまたはドライバー暗号鍵を確認してください。 ログインユーザー名、ログインパスワードまたはドライバー暗号鍵については、『セキュリティーガイド』を参照してください。
	セキュリティー強化機能で高度な暗号化が設定されています。	セキュリティー強化機能については、『セキュリティーガイド』を参照してください。
テスト印刷ができない。	本機が故障している可能性があります。	サービス実施店に連絡してください。

それでも印刷が始まらないときは、サービス実施店に確認してください。

データインランプが点灯、点滅しないとき

印刷を実行してもデータインランプが点灯、点滅しないときは、データが本機に正しく届いていません。

パソコンとケーブルで直接接続しているとき

データインランプが点灯・点滅しないときの、印刷ポートの確認方法です。

印刷ポートが正しく設定されているか確認してください。

1. **プリンタードライバーのプロパティ画面を開きます。**
   プロパティ画面の開きかたについて詳しくは、P.87「ドライバー設定画面を開く」を参照してください。
2. **［ポート］タブをクリックします。**
3. **［印刷するポート］ボックスで正しいポートを選択します。**

パソコンとネットワークで接続しているとき

ネットワークの接続については、管理者に確認してください。

USB 接続がうまくいかないとき

状態	原因	対処方法と参照先
本機が自動認識されない。	USB ケーブルの接続に問題があります。	パソコン側の USB ケーブルを抜き、本機を再起動します。本機が起動したことを確認してから USB ケーブルを接続してください。
Windows が自動的に USB 接続の設定をしてしまった。	不正なデバイスとして認識していないか、確認してください。	Windows のデバイスマネージャで、不正なデバイスを削除してください。不正なデバイスは、アイコンに黄色の「！」または、黄色の「？」が表示されます。必要なデバイスを削除しないように注意してください。
USB ケーブルを挿しても本機が認識しない。	本機が省エネ状態のときは、USB ケーブルを接続しても本機が認識しないことがあります。	USB ケーブルを抜いたあと本機を起動させます。本機が起動したことを確認してから USB ケーブルを再度接続してください。

思いどおりに印刷できないとき

きれいに印刷できないとき

状態	原因	対処方法と参照先
全体がかすれる。	用紙に湿気が含まれています。	適度な温度、湿度で保管した用紙を使用してください。用紙の適切な保管方法は、P.56「用紙をセットするときの注意事項」を参照してください。
	適切な用紙がセットされていません。	当社推奨の用紙を使用してください。目の粗い用紙や表面が加工されている用紙に印刷するとかすれて印刷されることがあります。適切な用紙については、P.60「セットできる用紙のサイズ」またはP.63「セットできる用紙の種類」を参照してください。
	プリンタードライバーでトナーセーブをするように設定されています。	プリンタードライバーの［項目別設定］タブで「メニュー項目：」の［印刷品質］を選択して「トナーセーブ：」の設定を「しない」に変更してください。
一部または全体がかすれる。	LED ヘッドが汚れています。	LED ヘッドを清掃してください。清掃方法は、P.189「LED ヘッドを清掃する」を参照してください。

状態	原因	対処方法と参照先
指でこすると画像がかすれる。（トナーが定着していない）	厚紙などを使用しているときに、用紙種類の設定が合っていないことがあります。	プリンタードライバーの［項目別設定］タブで「メニュー項目：」の［用紙］から［用紙種類：］を変更してください。
	カール低減が「有効」になっています。	［調整/管理］［品質調整］から［カール低減］を変更してください。
	定着器が「封筒」設定になっています。	封筒レバーを垂直状態（普通紙）に切り替えてください。
画面どおりに印刷されない。	本機側のグラフィック処理を使用して印刷されます。	［項目別設定］タブの「メニュー項目：」から［印刷品質］を選択します。「ベクター／ラスター：」の設定を［ラスター］に変更してください。
文字がにじんで印刷される。	LED ヘッドが汚れています。	LED ヘッドを清掃してください。清掃方法は、P.189「LED ヘッドを清掃する」を参照してください。
画像が途中で切れたり、余分なページが印刷される。	アプリケーションで設定した用紙サイズより小さい用紙に印刷していることがあります。	プリンタードライバーの［項目別設定］タブで、「メニュー項目：」の［基本］を選択します。用紙サイズの設定を確認して、アプリケーションで設定したサイズと同じサイズの用紙に設定してください。同じサイズの用紙をセットできないときは、変倍の機能を使用して縮小印刷してください。 プリンタードライバーの設定方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

状態	原因	対処方法と参照先
ページレイアウトがずれる。	プリンターによって印刷領域が異なることがあるため、ほかのプリンターで印刷すると 1 ページに入っていた文書が本機で印刷すると 1 ページに入らないことがあります。	プリンタードライバーの［項目別設定］タブで、「メニュー項目：」の［編集］を選択し［印刷領域：］の設定を変更してください。プリンタードライバーの設定方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
写真が粗く印刷される。	アプリケーションによっては、解像度を下げて印刷するものがあります。	プリンタードライバーの［項目別設定］タブで、「メニュー項目：」の［印刷品質］を選択し、「画像設定：」を［写真（イメージデータ）］に設定、または解像度を高く設定してください。プリンタードライバーの設定方法はプリンタードライバーのヘルプを参照してください。
実線が破線、もしくはかすれたように印刷される。	ディザパターンが合っていません。	プリンタードライバーの［項目別設定］タブで、「メニュー項目：」の［印刷品質］を選択しディザリング設定を変更してください。プリンタードライバーの設定方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
印刷物にトナーの固まりが付着する、もしくは汚れる。	定着器が汚れています。	定着器を清掃してください。 清掃方法は、P.191「定着器を清掃する」を参照してください。 汚れが取れるまで、何度か清掃を繰り返してください。

状態	原因	対処方法と参照先
細線がギザギザに印刷されたり印刷されない。 または、太さにばらつきが生じる。	アプリケーションで極細線が指定されています。	プリンタードライバーの［項目別設定］タブで、「メニュー項目：」の［印刷品質］を選択しディザリング設定を変更してください。 プリンタードライバーの設定方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。 ディザリングの設定を変更しても改善されないときは、アプリケーションで線の太さを変更してください。
縦の線が印刷される。 白や黒のすじが入る。	LED ヘッドが汚れています。	LED ヘッドを清掃してください。 清掃方法は、P.189「LED ヘッドを清掃する」を参照してください。
両面印刷すると、印刷結果が水滴のように白く抜ける。または印刷結果が汚れる。	用紙に含まれる水分が印刷時の熱で水蒸気となって用紙に付着することで画像の一部が白く抜けたり、出力紙がトナーで汚れたりすることがあります。	早朝や深夜など、プリンター本体周辺の温度が低い状況で片面印刷を続けたときは、両面印刷をする前に 10 分程度の時間を空けてください。 適度な温度、湿度で保管した用紙を使用してください。用紙の適切な保管方法は、P.56「用紙をセットするときの注意事項」を参照してください。
濃度ムラが目立つ。	ドラムユニット内のトナーが均一になっていない可能性があります。	ドラムユニット内のトナーを均一にする為、P.191「定着器を清掃する」を何度か繰り返してください。

給紙がうまくいかないとき

状態	原因	対処方法と参照先
思ったトレイとは異なるトレイから給紙される。	Windows からの印刷時は操作部で給紙トレイを選択しても、プリンタードライバーの設定が優先します。	プリンタードライバーの［項目別設定］タブで、「メニュー項目：」の［用紙］を選択し、「給紙トレイ：」の設定を変更してください。 プリンタードライバーの設定方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
画像が斜めに印刷される。	給紙トレイのサイドガイドが正しくセットされていません。	サイドガイドが正しくセットされているか確認してください。給紙トレイのセット方法は、P.65「給紙トレイに用紙をセットする」を参照してください。
	用紙が斜めに搬送されています。	用紙のセット方法は、P.65「給紙トレイに用紙をセットする」を参照してください。
何度も用紙がつまる。	セットされている用紙が多すぎます。	給紙トレイのサイドガイド、または手差しトレイの用紙ガイド板の内側に表示されている上限表示の線を超えないように用紙をセットしてください。また、複数枚の用紙が重なったまま一度に送られないように、用紙をぱらぱらとさばいてからセットしてください。

状態	原因	対処方法と参照先
何度も用紙がつまる。	給紙トレイのサイドガイド、エンドガイドが正しくセットされていません。	サイドガイド、エンドガイドが正しくセットされているか確認してください。また、サイドガイドがロックされているかどうかも確認してください。サイドガイド、エンドガイドのセット方法は、P.65「給紙トレイに用紙をセットする」を参照してください。
	給紙トレイのサイズ設定と用紙のサイズが異なっています。	・用紙を取り除いてください。紙づまりの取り除きかたは、P.155「用紙がつまったとき」を参照してください。 ・セットする用紙のサイズと用紙サイズダイヤル、および操作部の設定を合わせてください。用紙のセット方法は、P.65「給紙トレイに用紙をセットする」を参照してください。
	用紙に湿気が含まれています。	適度な温度、湿度で保管した用紙を使用してください。用紙の適切な保管方法は、P.56「用紙をセットするときの注意事項」を参照してください。
	用紙が厚すぎるか、薄すぎます。	当社推奨の用紙を使用してください。適切な用紙については、P.60「セットできる用紙のサイズ」またはP.63「セットできる用紙の種類」を参照してください。

状態	原因	対処方法と参照先
何度も用紙がつまる。	用紙に折り目やしわがあります。	当社推奨の用紙を使用してください。また、適度な温度、湿度で保管した用紙を使用してください。適切な用紙とその保管方法は、P.60「セットできる用紙のサイズ」、P.63「セットできる用紙の種類」または、P.56「用紙をセットするときの注意事項」を参照してください。
	一度印刷した用紙を使用しています。	当社推奨の用紙を使用してください。また、本機以外で一度コピーまたは印字された用紙は再使用しないでください。適切な用紙については、P.60「セットできる用紙のサイズ」または、P.63「セットできる用紙の種類」を参照してください。
	用紙に「バリ」（裁断したときにできた返し）があります。	・定規などを使ってバリを取り除いてください。 ・用紙の表裏を逆にしてセットしてください。
	用紙が密着しています。	用紙をぱらぱらとさばいてからセットしてください。 または 1 枚ずつ送ってください。
紙が重なって送られる。	用紙が密着しています。	用紙をぱらぱらとさばいてからセットしてください。 または 1 枚ずつ送ってください。

状態	原因	対処方法と参照先
用紙にしわがよる。	用紙に湿気が含まれています。	適度な温度、湿度で保管した用紙を使用してください。用紙の適切な保管方法は、P.56「用紙をセットするときの注意事項」を参照してください。
	用紙が薄すぎます。	当社推奨の用紙を使用してください。適切な用紙については、P.60「セットできる用紙のサイズ」または、P.63「セットできる用紙の種類」を参照してください。
用紙の先端が折れる。	用紙に湿気が含まれています。	適度な温度、湿度で保管した用紙を使用してください。用紙の適切な保管方法は、P.56「用紙をセットするときの注意事項」を参照してください。または、［カール低減］を［有効］に設定してください。
	推奨以外の用紙を使用しています。	適切な用紙については、P.60「セットできる用紙のサイズ」または、P.63「セットできる用紙の種類」を参照してください。
	用紙に「バリ」（裁断したときにできた返し）があります。	・定規などを使ってバリを取り除いてください。 ・用紙の表裏を逆にしてセットしてください。

状態	原因	対処方法と参照先
両面印刷ができない。	両面印刷に対応していない用紙をセットしています。	両面印刷に対応する用紙については、P.60「セットできる用紙のサイズ」または、P.63「セットできる用紙の種類」を参照してください。
	使用しているトレイが「用紙設定」で両面印刷の対象外に設定されています。	使用するトレイの両面印刷の対象の設定を変更してください。 設定項目については、P.197「用紙設定」を参照してください。
	両面印刷に対応していない用紙種類に設定されているときは、両面印刷できません。	「システム初期設定」で使用するトレイの「用紙種類設定」の設定を両面印刷に対応する用紙に変更してください。

その他のトラブルシューティング

状態	原因	対処方法と参照先
印刷した用紙が排紙トレイから落ちる。	用紙のサイズや種類、印刷時の条件によっては用紙の反りが大きくなることがあります。	・延長排紙トレイを引き出してください。 ・給紙トレイにセットした用紙の表裏を逆にしてください。 ・印刷した用紙を 1 枚ずつ取り除いてください。複数枚の用紙を続けて印刷するときは、封筒レバーを下げてから印刷してください。
印刷の指示をしてから 1 枚目の印刷が始まるまで時間がかかる。	「スリープモード」になっていることがあります。	スリープモードの状態で印刷データを受信すると、ウォームアップのため印刷開始するまで時間がかかります。スリープモードに移行するまでの時間は［スリープモード移行時間設定］または［スリープモード設定］で変更できます。
印刷に時間がかかる。	写真やグラフを多用したデータなど、データの種類によってはパソコンの処理に時間がかかることがあります。	データインランプ⇦が点滅していれば、本機にデータは届いています。そのまま少しお待ちください。 プリンタードライバーで次の設定をするとパソコンの負担が軽減することがあります。 ・速度を優先させるように印刷品質の設定を変更する。 ・解像度を一番低い値に設定する。 プリンタードライバーの設定方法はプリンタードライバーのヘルプを参照してください。

状態	原因	対処方法と参照先
用紙の裏面に印刷された。	セットされている用紙の表と裏が逆になっています。	本体トレイ、増設トレイに用紙をセットするときは、印刷する面を上にセットしてください。 手差しトレイに用紙をセットするときは、印刷する面を下にセットしてください。
縦と横が逆に印刷される。	セットした用紙方向とプリンタードライバーのオプションセットアップで設定した用紙方向が合っていません。	給紙トレイにセットした用紙の向きと、プリンタードライバーのプロパティから［オプション構成］タブの「給紙トレイ設定」で設定した用紙方向をそろえてください。
1 ページの途中で排紙され、1 ページのデータが 2 ページにまたがって印刷されてしまう。	「プリンター初期設定」の［自動排紙時間］の設定が短すぎます。	初期設定で［自動排紙時間］の設定を自動排紙しないように変更、または現在の設定より長い時間に変更してください。
パソコンから印刷指示をしたが、印刷されない。	ユーザーコード管理を設定しています。	管理者にユーザーコードを確認してください。 確認したユーザーコードをプリンタードライバーのプロパティで設定してください。 プリンタードライバーの設定方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

状態	原因	対処方法と参照先
接続されているオプションが認識されない。	双方向通信が働いていません。	プリンタードライバーのプロパティでオプション構成を設定してください。プリンタードライバーの設定については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。 プロパティで機器情報を自動更新すると、その他のプリンタードライバーで双方向通信に失敗し、機器情報の自動更新ができなくなることがあります。Windows にログオンし直してから、もう一度自動更新を実施してください。
集約印刷や製本印刷、用紙指定変倍が指定どおりにできない。	アプリケーションまたはプリンタードライバーの設定が間違っています。	・プリンタードライバーの［項目別設定］タブで、「メニュー項目：」の［基本］を選択し「原稿方向：」と「原稿サイズ：」が、アプリケーションと同じ設定か確認してください。 ・異なるサイズが設定されているときは原稿サイズと方向を選択してください。プリンタードライバーの設定方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

それでも思いどおりに印刷できないときは、サービス実施店に確認してください。

用紙がつまったとき

紙づまりが発生したときは、操作部の画面に次のメッセージが表示されます。
紙づまりの位置を確認し、用紙を取り除いてください。

「(A1)トレイに詰まっている用紙を取り除き、前カバー開閉」
「(A2)前カバーを開けて用紙を取り除いてください。」
「(B)前カバーを開けて用紙を取り除いてください。」
「(B)(C)前/後カバーを開け詰まっている用紙を取り除く。」
「(Y1)トレイ 2 に詰まっている用紙を取り除き前カバー開閉」
「(Y2)トレイ 3 に詰まっている用紙を取り除き前カバー開閉」
「(Y3)トレイ 4 に詰まっている用紙を取り除き前カバー開閉」
「(Z1)後ろカバーを開けて用紙を取り除いてください。」
「(Z2)トレイ 1 を引き出し用紙を取り除き前カバー開閉」
「(Z3)トレイ 1 か後カバーを開けて用紙を取り除き前カバー開閉」

⚠注意

・機械内部には高温の部分があります。紙づまりを取り除くときは、本書で指定している場所以外には触れないでください。やけどの原因になります。

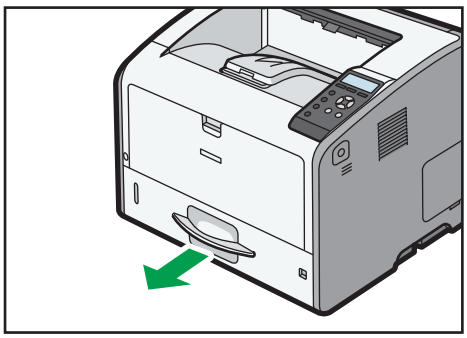
・紙づまりを取り除くときは、指を挟んだり、けがをしないように注意してください。

重要

・用紙を取り除くときは電源を切らないでください。電源を切ると設定した機能や数値が取り消されます。
・用紙は破れないように確実に取り除いてください。本機の内部に紙片が残ると、再び用紙がつまったり、故障の原因になります。
・何度も用紙がつまるときは、次の原因が考えられます。
　・給紙トレイまたは増設トレイのサイドガイドやエンドガイド、または手差しトレイの用紙ガイドの位置がずれている。

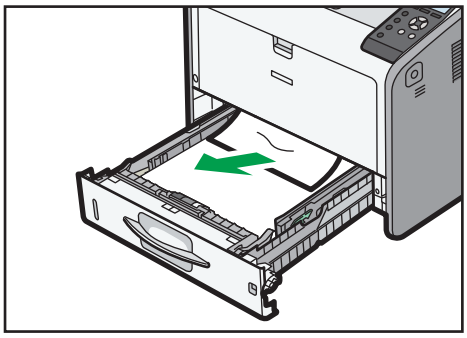
紙づまり（A1）が発生したとき

1. 給紙トレイを止まる位置までゆっくりと引き出します。



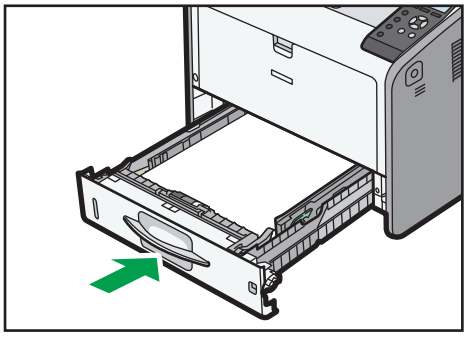
DBQ125

2. つまった用紙をゆっくりと引き抜きます。



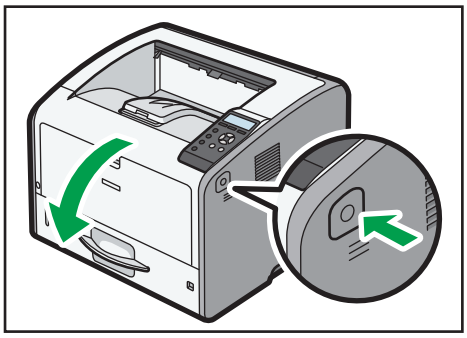
DBQ126

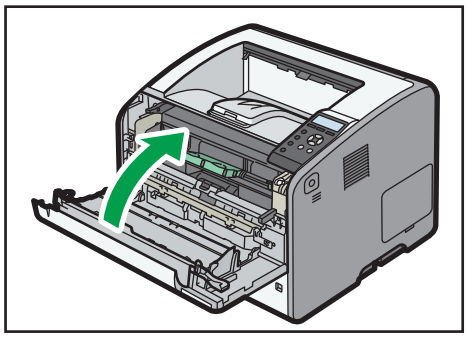
3. 給紙トレイを止まる位置までゆっくりと差し込みます。



DBQ127

4. 前カバーオープンボタンを押し、前カバーを両手でゆっくりと開けてから、前カバーを閉じます。


DBQ010


DBQ067

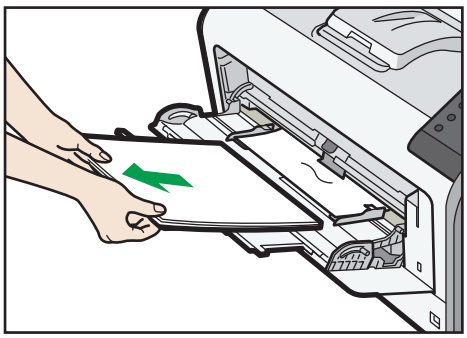
前カバーを開閉するとエラーの状態が解除されます。

補足

・前カバーを閉じるときは、カバーの上の部分をしっかりと押してください。
カバーを閉じたら、エラーが解除されたことを確認してください。

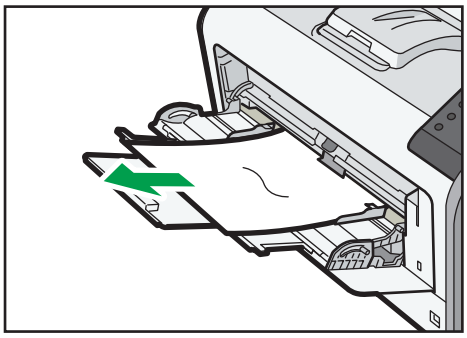
紙づまり（A2）が発生したとき

1. 手差しトレイにセットされている用紙を取り出します。



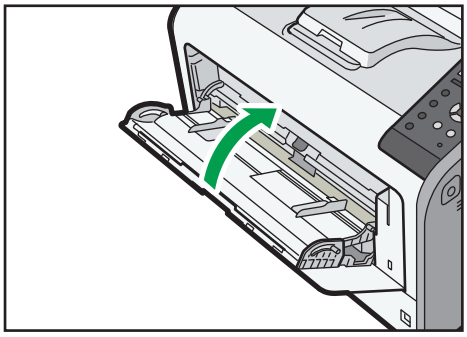
DBQ128

2. つまった用紙をゆっくりと引き抜きます。



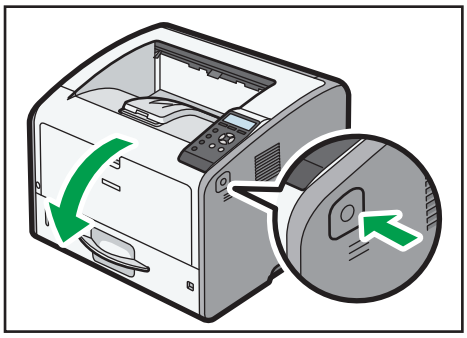
DBQ129

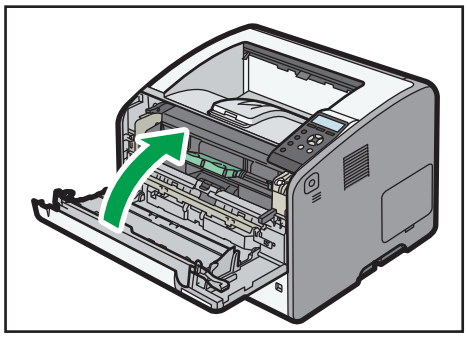
3. 手差しトレイを閉めます。



DBQ114

4. 前カバーオープンボタンを押し、前カバーを両手でゆっくりと開けてから、前カバーを閉じます。


DBQ010


DBQ067

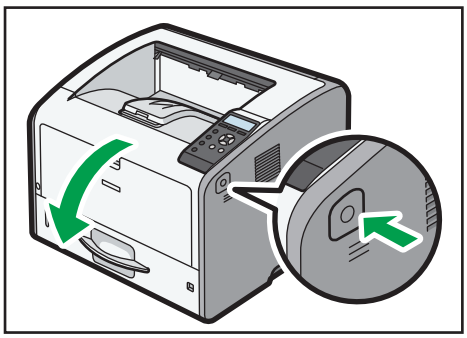
前カバーを開閉するとエラーの状態が解除されます。

補足

・前カバーを閉じるときは、カバーの上の部分をしっかりと押してください。
カバーを閉じたら、エラーが解除されたことを確認してください。

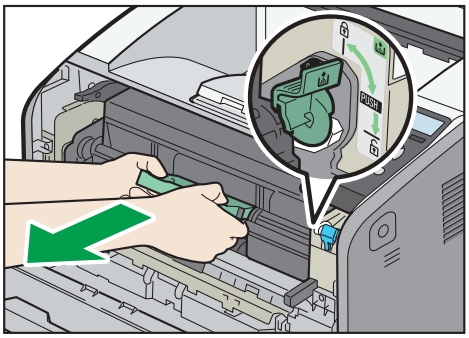
紙づまり（B）が発生したとき

1. 前カバーオープンボタンを押し、前カバーを両手でゆっくりと開けます。



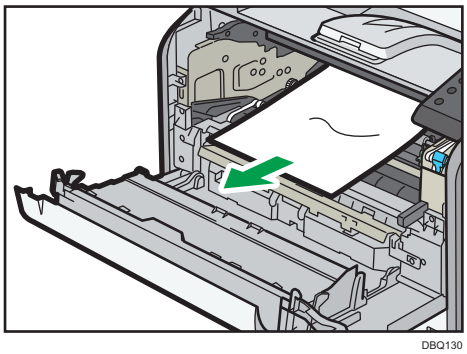
DBQ010

2. トナーカートリッジレバーがロックされていることを確認してから、トナーカートリッジのハンドルを持ち、トナーカートリッジを取り付けたドラムユニットを本機から引き出します。



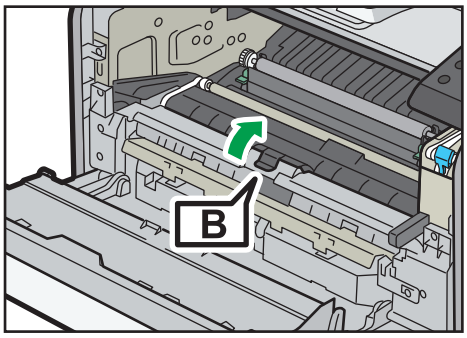
DBQ011

3. つまった用紙をゆっくりと引き抜きます。

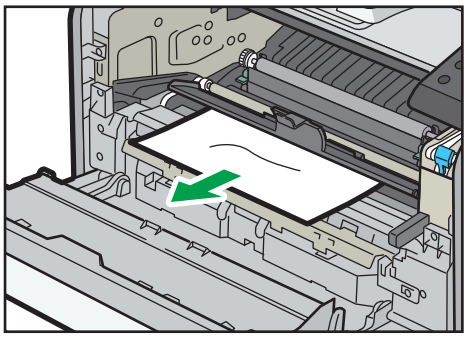


DBQ130

4. つまった用紙が見つからないときや引き抜けないときは、「B」を上げてつまった用紙を取り除きます。



DBQ131



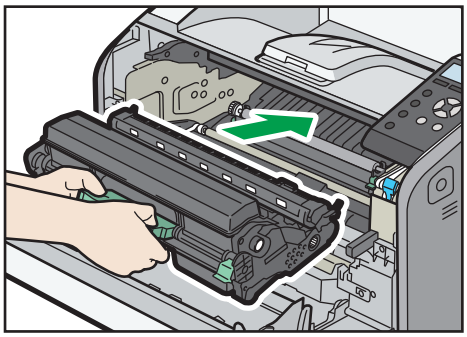
DBQ132

補足

・「B」を上げて詰まった用紙が見えるが取り除けない場合は、P.172「紙づまり（Z2）が発生したとき」を参照して、「Z2」から用紙を取り除いてください。

5. トナーカートリッジのハンドルを持ち、奥まで差し込みます。

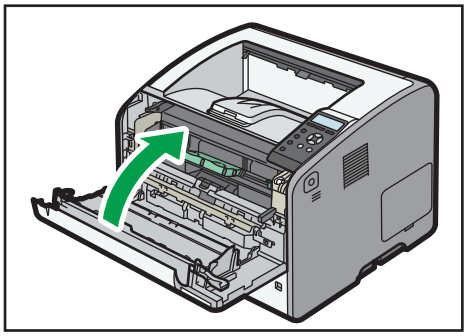
トナーカートリッジを取り付けたドラムユニットは、本機に貼られたラベルが示す位置までしっかりと押し込んでください。



DBQ016

6. 前カバーを両手でゆっくりと押し上げて閉じます。

前カバーが閉まらないときは、前カバーを無理に閉めずに、トナーカートリッジを取り付けたドラムユニットが正しくセットされているか確認してください。



DBQ067

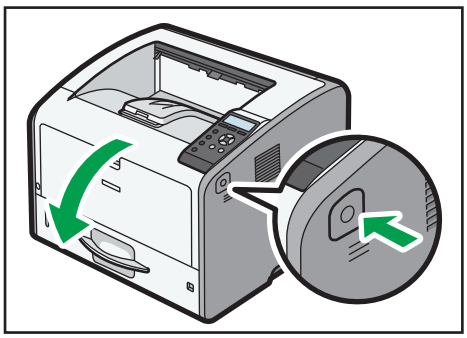
補足

・前カバーを閉じるときは、カバーの上の部分をしっかりと押してください。

カバーを閉じたら、エラーが解除されたことを確認してください。

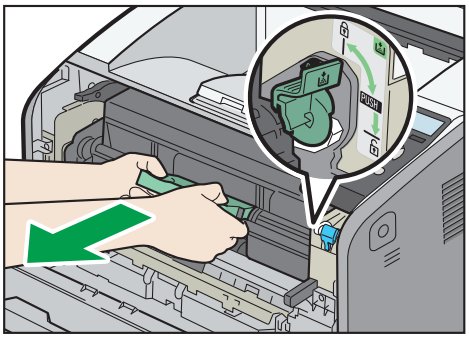
紙づまり（B）（C）が発生したとき

1. 前カバーオープンボタンを押し、前カバーを両手でゆっくりと開けます。



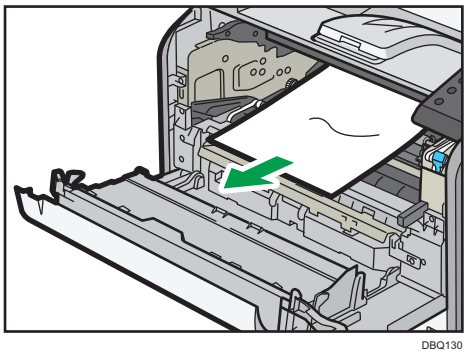
DBQ010

2. トナーカートリッジレバーがロックされていることを確認してから、トナーカートリッジのハンドルを持ち、トナーカートリッジを取り付けたドラムユニットを本機から引き出します。



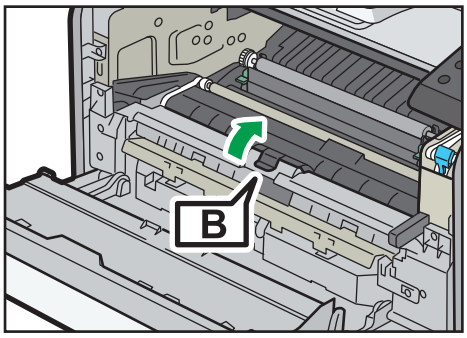
DBQ011

3. つまった用紙をゆっくりと引き抜きます。

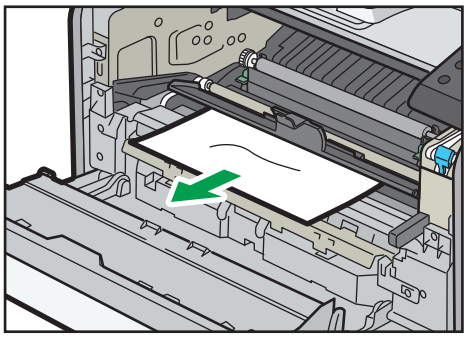


DBQ130

4. つまった用紙が見つからないときや引き抜けないときは、「B」を上げてつまった用紙を取り除きます。



DBQ131

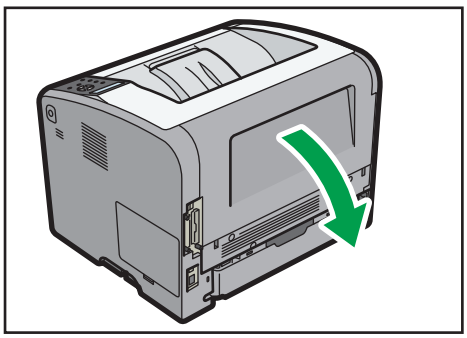


DBQ132

補足

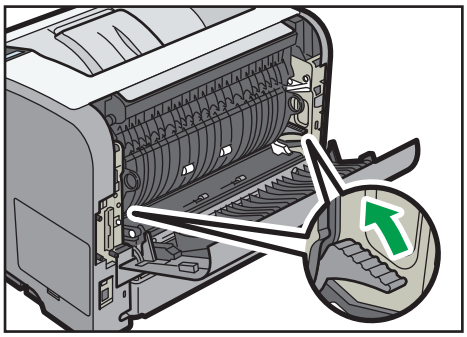
・「B」を上げて詰まった用紙が見えるが取り除けない場合は、P.172「紙づまり（Z2）が発生したとき」を参照して、「Z2」から用紙を取り除いてください。

5. 後ろカバーを開けます。



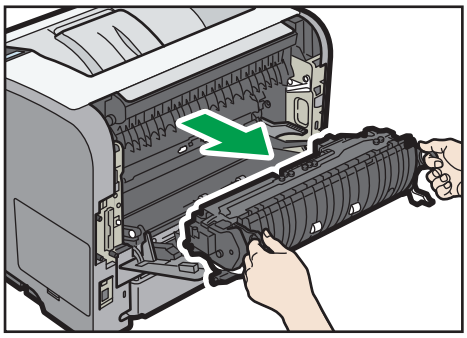
DBQ020

6. 定着ユニット固定レバーを上げてロックを解除します。



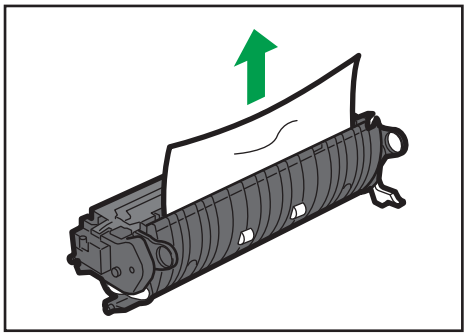
DBQ024

7. 定着ユニットを本機から引き抜きます。



DBQ023

8. カバーを開いて、つまった用紙を取り除きます。

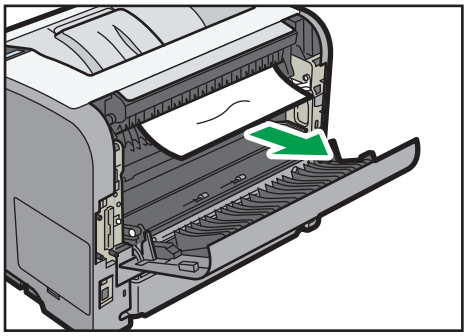


DBQ073

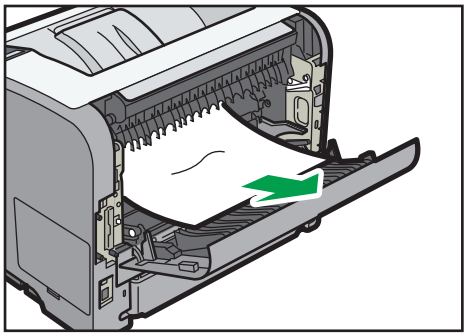
補足

・用紙が引き抜きにくい場合は、「封筒レバー」を上げてからつまった用紙を取り除いてください。

9. 定着ユニットに用紙がつまっていないときは、本機の内部からつまった用紙を取り除きます。

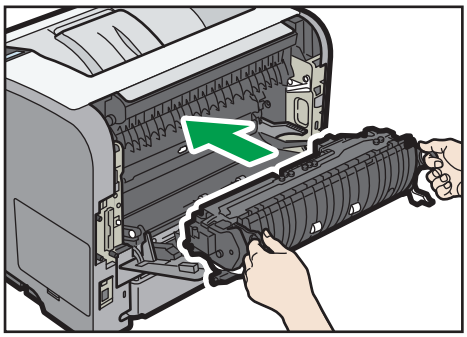


DBQ074



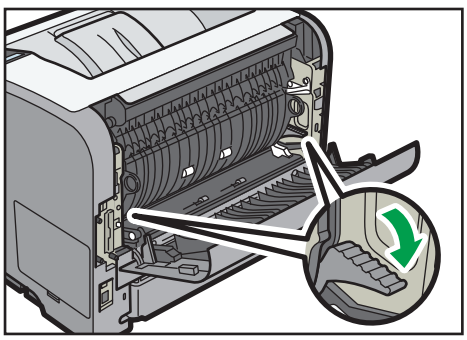
DBQ075

10.定着ユニットを本機の奥まで差し込みます。



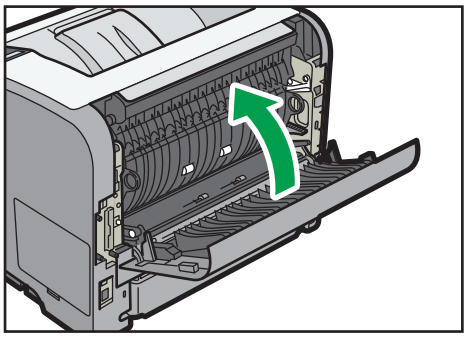
DBQ025

11.定着ユニット固定レバーをカチッと音がするまで下げて、ロックします。



DBQ026

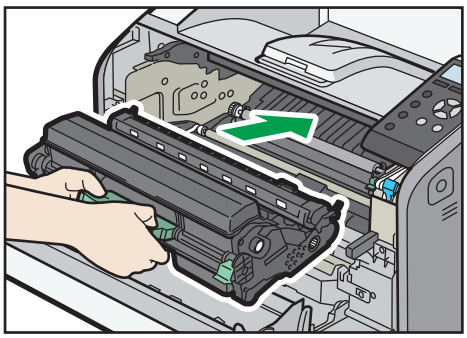
12.後ろカバーを閉めます。



DBQ029

13.トナーカートリッジのハンドルを持ち、奥まで差し込みます。

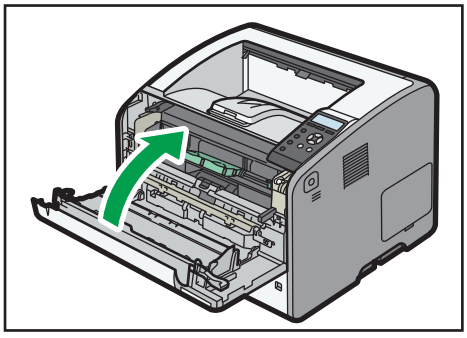
トナーカートリッジを取り付けたドラムユニットは、本機に貼られたラベルが示す位置までしっかりと押し込んでください。



DBQ016

14.前カバーを両手でゆっくりと押し上げて閉じます。

前カバーが閉まらないときは、前カバーを無理に閉めずに、トナーカートリッジを取り付けたドラムユニットが正しくセットされているか確認してください。



DBQ067

補足

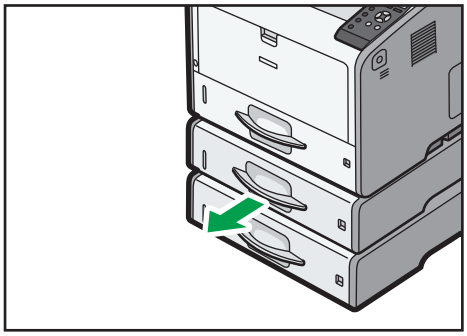
・前カバーを閉じるときは、カバーの上の部分をしっかりと押してください。
カバーを閉じたら、エラーが解除されたことを確認してください。

紙づまり（Y1）、（Y2）または（Y3）が発生したとき

ここでは、トレイ 2 で紙づまりが発生したときの手順について説明します。

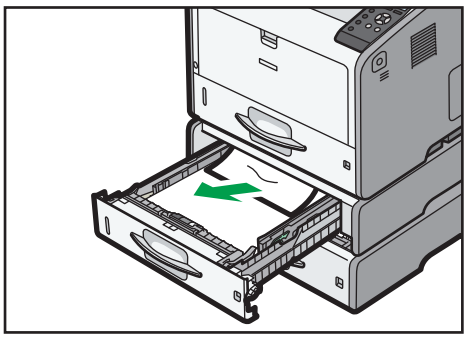
トレイ 3、トレイ 4 も対処方法は同じです。

1. 給紙トレイを止まる位置までゆっくりと引き出します。



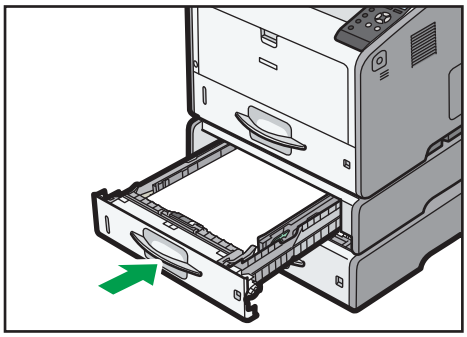
DBQ076

2. つまった用紙をゆっくりと引き抜きます。



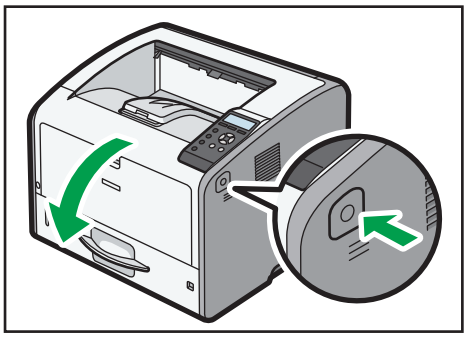
DBQ077

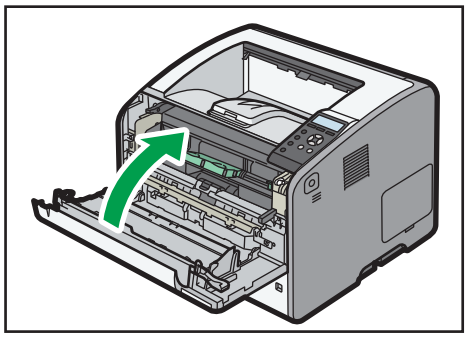
3. 給紙トレイを止まる位置までゆっくりと差し込みます。



DBQ078

4. 前カバーオープンボタンを押し、前カバーを両手でゆっくりと開けてから、前カバーを閉じます。


DBQ010


DBQ067

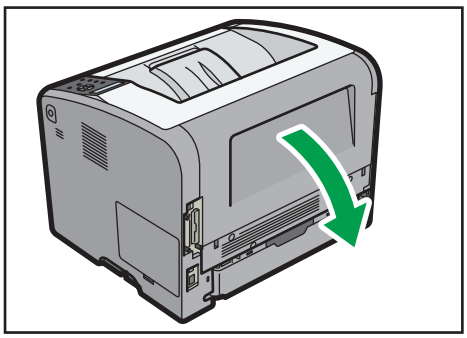
前カバーを開閉するとエラーの状態が解除されます。

補足

・前カバーを閉じるときは、カバーの上の部分をしっかりと押してください。
カバーを閉じたら、エラーが解除されたことを確認してください。

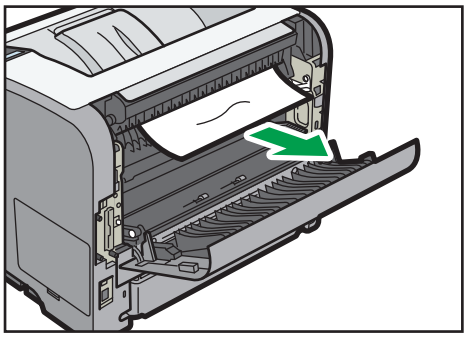
紙づまり（Z1）が発生したとき

1. 後ろカバーを開けます。



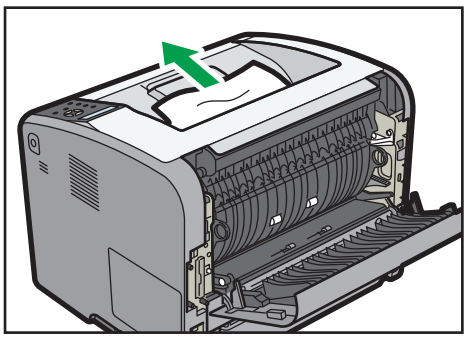
DBQ020

2. つまった用紙をゆっくりと引き抜きます。



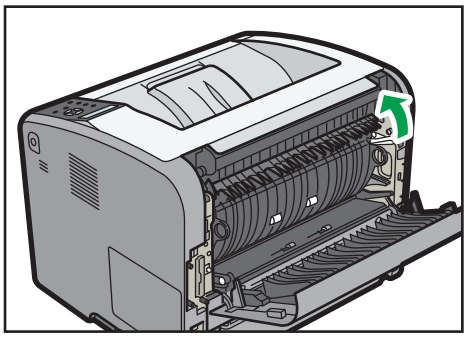
DBQ074

3. つまった用紙が排紙口から出ているときは、後ろカバーを開けた状態のまま、つまった用紙をゆっくりと引き抜きます。



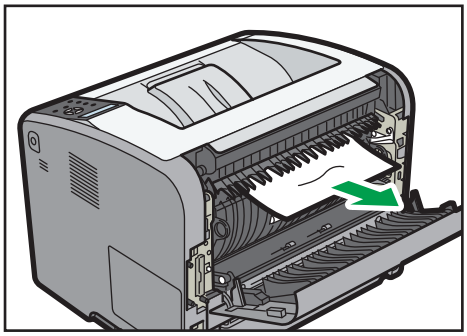
DBQ080

4. つまった用紙が排紙口から出ていないときや、本体内部に用紙がつまっていて引き抜けないときは、「Z1」を上げます。



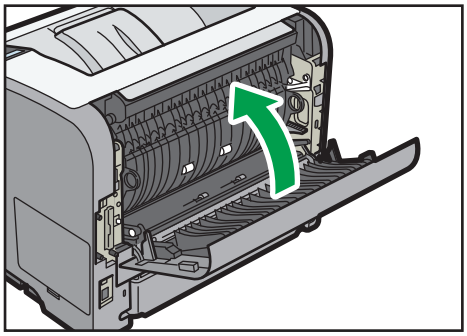
DBQ082

5. つまった用紙をゆっくりと引き抜きます。



DBQ081

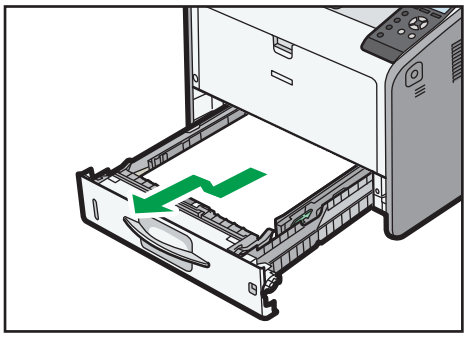
6. 後ろカバーを閉めます。



DBQ029

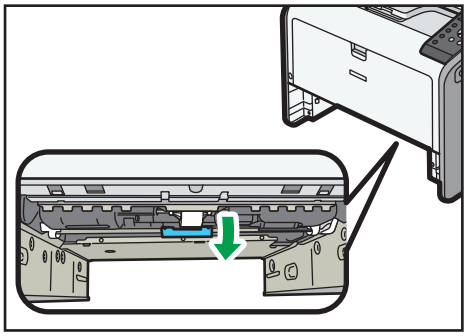
紙づまり（Z2）が発生したとき

1. 給紙トレイを止まる位置までゆっくりと引き出し、前面を持ち上げて引き抜きます。



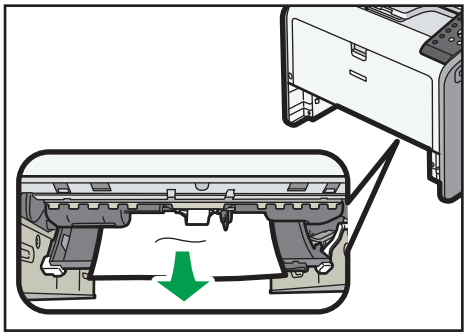
DBQ030

2. 「Z2」を下げます。



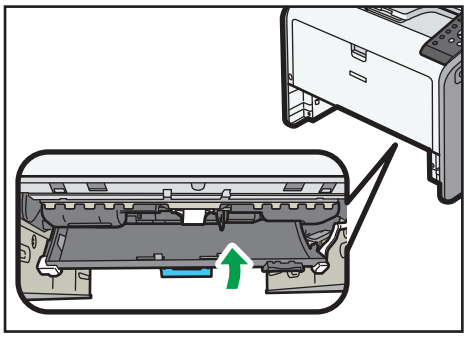
DBQ083

3. つまった用紙をゆっくりと引き抜きます。

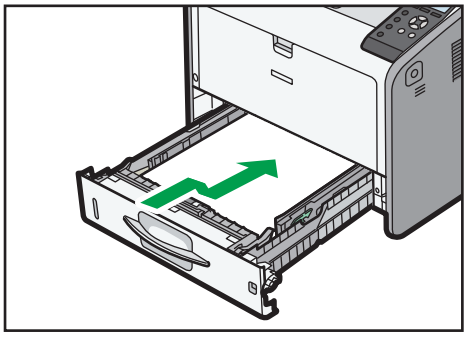


DBQ084

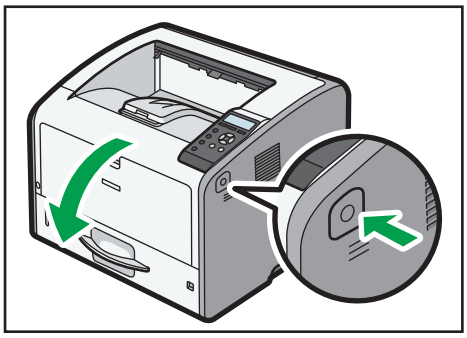
4. 「Z2」をもとの位置に戻します。

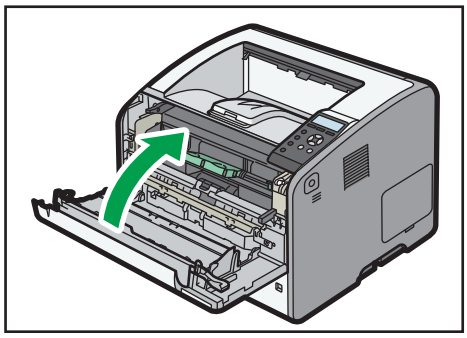

DBQ085

5. 前面を持ち上げるようにして給紙トレイを差し込み、奥までゆっくりと押し込みます。


DBQ039

6. 前カバーオープンボタンを押し、前カバーを両手でゆっくりと開けてから、前カバーを閉じます。


DBQ010


DBQ067

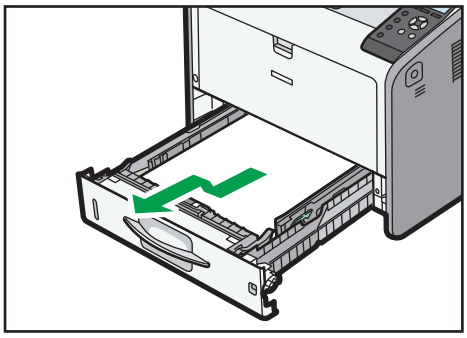
前カバーを開閉するとエラーの状態が解除されます。

補足

・前カバーを閉じるときは、カバーの上の部分をしっかりと押してください。
カバーを閉じたら、エラーが解除されたことを確認してください。

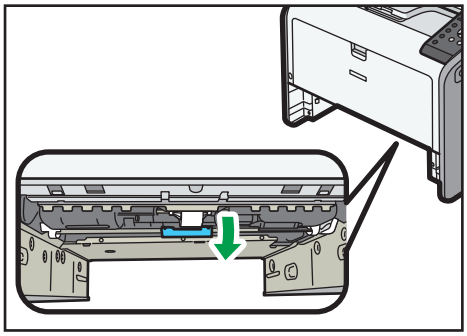
紙づまり（Z3）が発生したとき

1. 給紙トレイを止まる位置までゆっくりと引き出し、前面を持ち上げて引き抜きます。



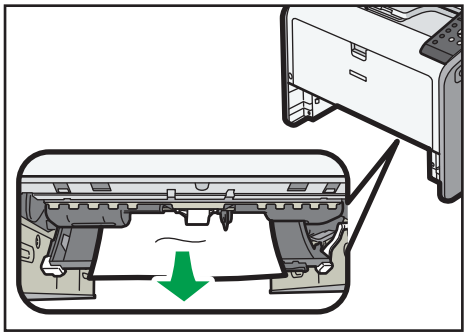
DBQ030

2. 「Z2」を下げます。



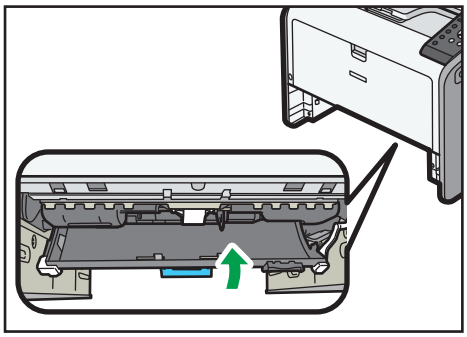
DBQ083

3. つまった用紙をゆっくりと引き抜きます。



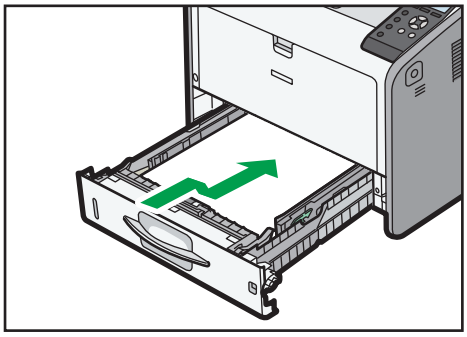
DBQ084

4. 「Z2」をもとの位置に戻します。



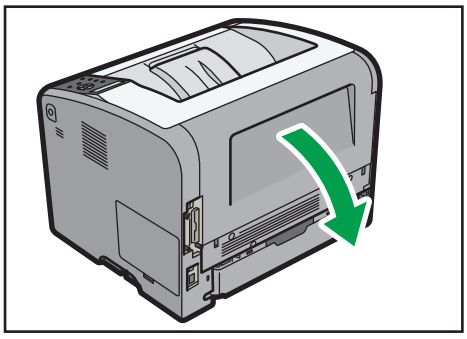
DBQ085

5. 前面を持ち上げるようにして給紙トレイを差し込み、奥までゆっくりと押し込みます。



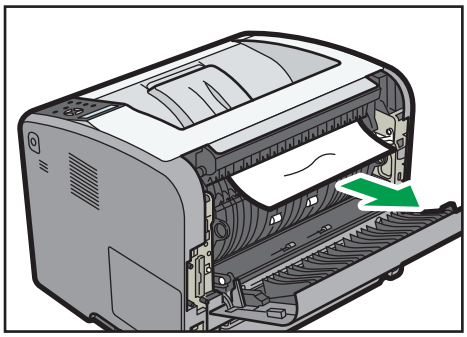
DBQ039

6. 後ろカバーを開けます。



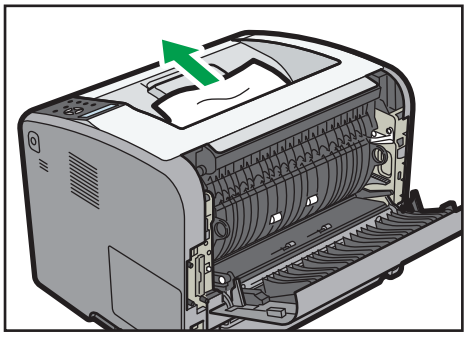
DBQ020

7. つまった用紙をゆっくりと引き抜きます。



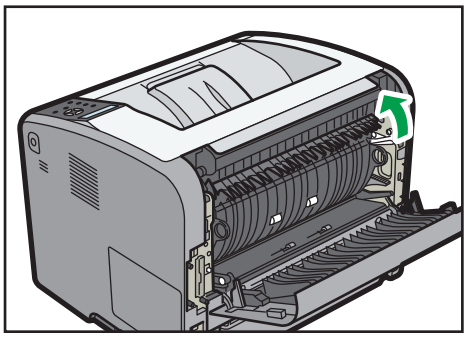
DBQ079

8. つまった用紙が排紙口から出ているときは、後ろカバーを開けた状態のまま、つまった用紙をゆっくりと引き抜きます。



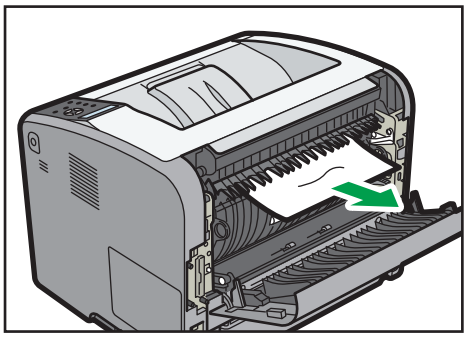
DBQ080

9. つまった用紙が排紙口から出ていないときや、本体内部に用紙がつまっていて引き抜けないときは、「Z1」を上げます。



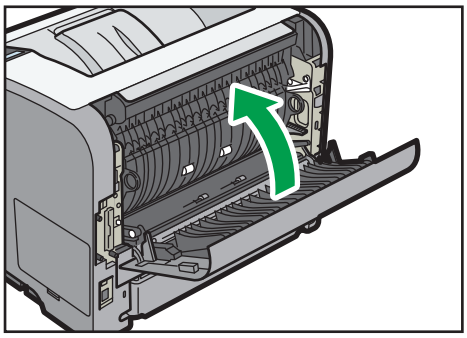
DBQ082

10.つまった用紙をゆっくりと引き抜きます。



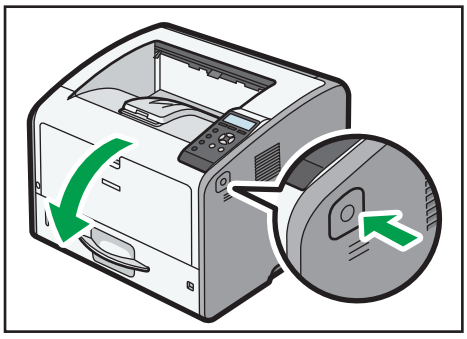
DBQ081

11.後ろカバーを閉めます。

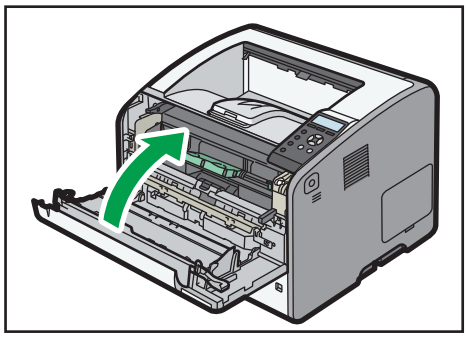


DBQ029

12.前カバーオープンボタンを押し、前カバーを両手でゆっくりと開けてから、前カバーを閉じます。



DBQ010



DBQ067

前カバーを開閉するとエラーの状態が解除されます。

補足

・前カバーを閉じるときは、カバーの上の部分をしっかりと押してください。
カバーを閉じたら、エラーが解除されたことを確認してください。

保守/仕様

消耗品交換時の注意事項や本機の清掃方法を説明しています。また本機やオプションの仕様について説明しています。

守ってほしいこと

本機を使用するときに、守ってほしい項目です。

使用上のお願い

⚠警告

・機械の近くまたは内部で可燃性のスプレーや引火性溶剤などを使用しないでください。引火による火災や感電の原因になります。

・この機械の上や近くに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品、水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入ったりすると、火災や感電の原因になります。

⚠注意

・この機械の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因になります。

・連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

・電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

重要

・通風孔などでは排気により温かいと感じることがありますが異常ではありません。
・寒いところから暖かいところに移動すると、機械内部に結露が生じることがあります。結露が生じたときは、2 時間以上放置して環境になじませてから使用してください。
・動作中に電源を切らないでください。電源を切るときは、動作が終了していることを確認してください。
・動作中に各部のカバーや給紙トレイを開けないでください。用紙がつまることが

あります。

・電源が入った状態で本機を動かしたり、傾けたりしないでください。また、振動を与えないでください。

・動作中に本体の上で紙をそろえるなど外的ショックを与えないでください。

換気について

換気の悪い部屋や狭い部屋で長時間使用したり大量の印刷を行うと、本機から臭気が出ることがあります。また、出力した用紙に臭気が残ることがあります。

臭いが気になるときは、快適な作業環境を保つために、定期的に換気をしてください。

・排気風が直接人に当たらない場所に機械を設置してください。

・換気量 1 人あたり 30m^3 以上/時間の換気をしてください。

オゾン臭が感じられることがありますが、通常の使用方法ではオゾン濃度が許容値（日本産業衛生学会の許容濃度等の勧告）：0.1ppm、0.2mg/m^3 を上回ることはありません。

新品時の臭いについて

新品時には、特有の臭いがすることがあります。この臭いは一週間程度で収まります。臭いが気になるときは、部屋の換気や通風を十分に行ってください。

印刷物の取り扱い

・印刷物は、長時間水や光にさらされると色あせることがあります。長時間保存するときは、バインダーなどで水や光から保護することをお勧めします。

・印刷物と生乾きの印刷物を重ね合わせると、トナーが溶けることがあります。

・印刷物を貼るとき、溶剤系の接着剤を使用すると、トナーが溶けることがあります。

・印刷物を折り曲げると、折った部分のトナーがはがれることがあります。

・塩化ビニール製のマットに印刷物を挟んだまま、温度の高いところに長時間放置するとトナーが溶けることがあります。

・暖房器具の近くなど、極度に温度が高くなるところに印刷物を放置すると、トナーが溶けることがあります。

本機を移動する

設置、移動するときの注意事項を説明します。

⚠警告

・濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

⚠注意

・機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き回線コードなど外部の接続線をはずしたことを確認のうえ行ってください。
コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

・電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

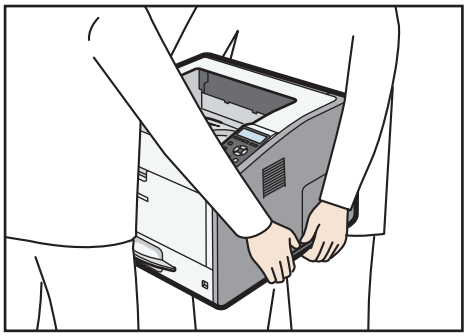
・機械本体は約 20kg あります。
・機械を移動するときは、両側面の中央下部にある取っ手を２人で持ち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。
・長距離を移動するときは、サービス実施店に相談してください。

・機械は電源コンセントにできるだけ近い位置に設置し、異常時に電源プラグを容易に外せるようにしてください。

重要

・次のことに注意し、移動してください。
  ・電源を切ってください。
  ・前カバーや手差しトレイなどを閉めてください。
  ・増設トレイなどを取り付けているときは、すべて取り外して、本機とは別々に移動してください。
  ・本機は、水平でがたつきのない場所を選んで設置してください。
  ・水平を保ち、静かに動かしてください。振動させたり、大きく傾けたりしないでください。故障の原因になります。
  ・机上の本体を移動するときは、引きずらないで、必ず持ち上げて移動してください。

1. 本体の両側に付いている運搬用の取っ手を持ち、本機を水平に保って、静かに移動します。



DBP003

移動するときは、トナーがこぼれないようにできるだけ水平を保ってください。

机上の本体を移動するときは、引きずらないで、必ず持ち上げて移動してください。

2. 取り外した外部オプションを取り付けます。

本機を清掃する

本機の清掃のしかたを説明します。

清掃のしかた

⚠注意

・お手入れをするときは、安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

やわらかい布でから拭きします。から拭きで汚れが取れないときは、水でぬらして固く絞った布で拭きます。また、水でも取れない汚れは中性洗剤を使用して拭きます。
水拭き後、から拭きをして水気を十分に取ります。

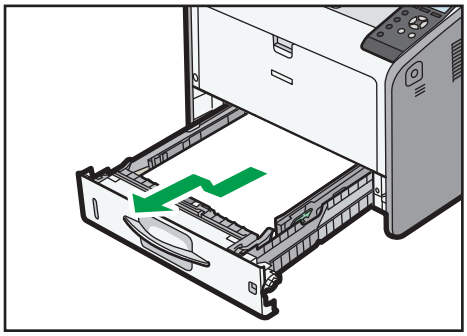
重要

・クリーナーなどの薬品類、シンナーやベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。隙間からしみこんだり、本機のプラスチックが溶けたりして、故障の原因になります。
・機械内部など本書で説明している部分以外の清掃はカスタマーエンジニアに依頼してください。

給紙トレイ、給紙コロを清掃する

紙粉が多く出て給紙トレイや給紙コロが汚れると、紙が重なって送られたり、つまったりする原因になります。給紙トレイと給紙コロの清掃方法はどのトレイでも同じです。
本体トレイを例に説明します。

1. **本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。**
2. **給紙トレイを止まる位置までゆっくりと引き出し、前面を持ち上げて引き抜きます。**

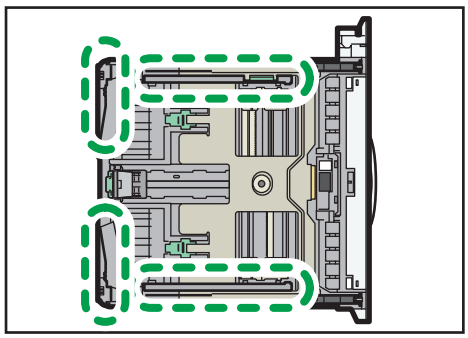


DBQ030

平らな場所に給紙トレイを置いて、セットしている用紙を取り出してください。

3. 水でぬらし固く絞った布、または乾いた布で以下の個所を拭きます。

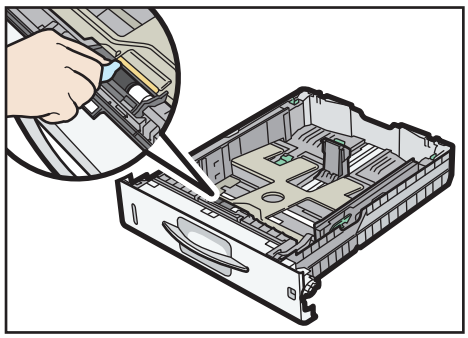
・給紙トレイ



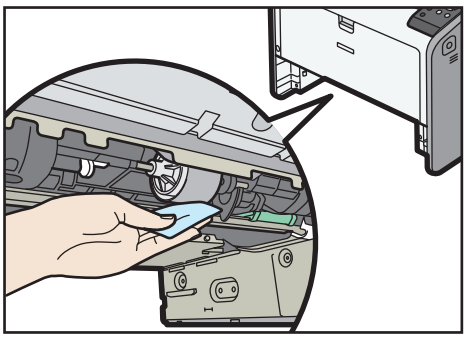
DBQ401

・給紙コロ

水でぬらし固く絞った布を使用して、給紙コロを回転させながら全体を拭いてください。そのあと、乾いた布で拭いてください。

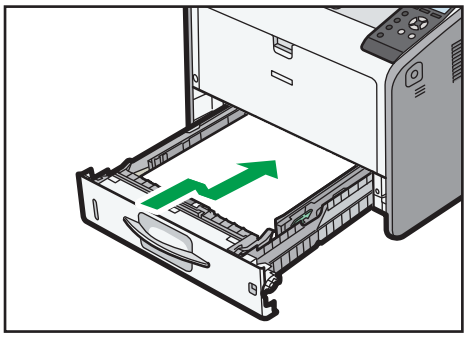


DBQ402



DBP801

4. 前面を持ち上げて給紙トレイを差し込み、奥までゆっくりと押し込みます。



DBQ039

用紙をセットした給紙トレイを本機にセットするときは、ゆっくりと入れてください。トレイを勢いよく入れると、トレイの用紙ガイドがずれることがあります。

5. 電源プラグをコンセントに差し込み、本機の電源を入れます。

レジストローラーを清掃する

標準紙以外の用紙を使用したときや紙づまりの処理のあとなどは、レジストローラーの周辺が汚れることがあります。紙粉や汚れによって印刷結果に部分的な白抜けが起きるときは、レジストローラーを清掃してください。

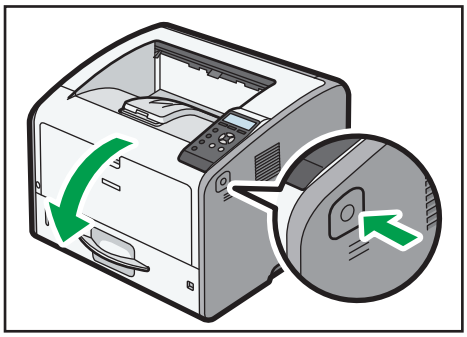
⚠注意

・機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルが貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

重要

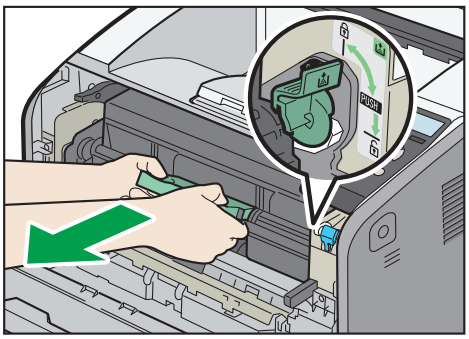
・アルコールや洗浄剤などは使用しないでください。

1. 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
2. 前カバーオープンボタンを押し、前カバーを両手でゆっくりと開けます。



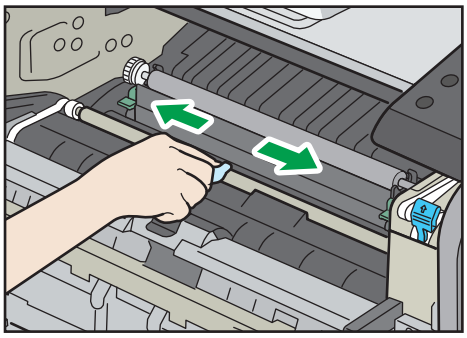
DBQ010

3. トナーカートリッジレバーがロックされていることを確認してから、トナーカートリッジのハンドルを持ち、トナーカートリッジを取り付けたドラムユニットを本機から引き出します。



DBQ011

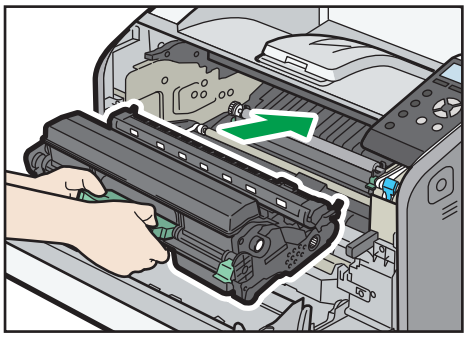
4. 水でぬらし、固く絞った布でレジストローラーを回しながら、左右に動かして拭きます。そのあと乾いた布で拭きます。



DBQ123

5. トナーカートリッジのハンドルを持ち、奥まで差し込みます。

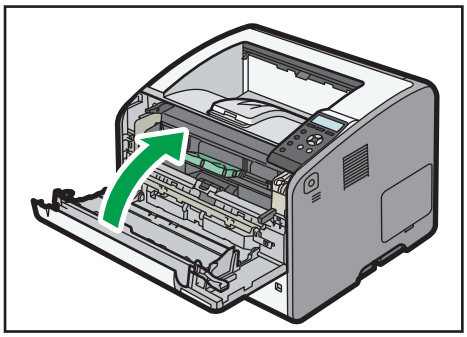
トナーカートリッジを取り付けたドラムユニットは、本機に貼られたラベルが示す位置までしっかりと押し込んでください。



DBQ016

6. 前カバーを両手でゆっくりと押し上げて閉じます。

前カバーが閉まらないときは、前カバーを無理に閉めずに、トナーカートリッジを取り付けたドラムユニットが正しくセットされているか確認してください。



DBQ067

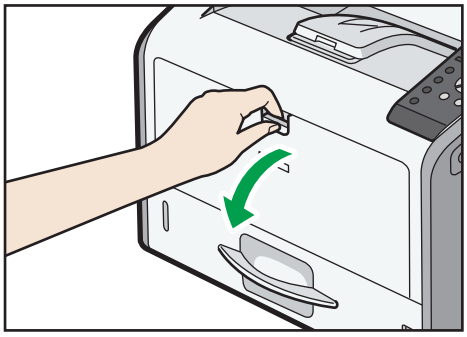
7. 電源プラグをコンセントに差し込み、本機の電源を入れます。

手差しトレイの給紙コロを清掃する

重要

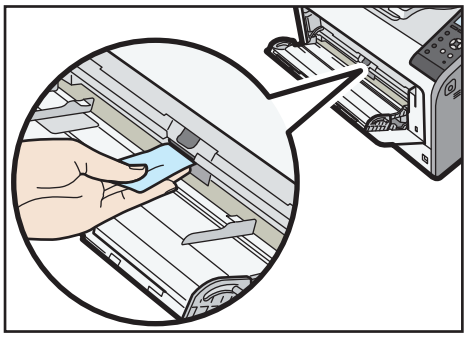
・アルコールや洗浄剤などは使用しないでください。

1. 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
2. 手差しトレイ中央の手差しトレイオープンボタンを押し下げながら、手差しトレイを開きます。



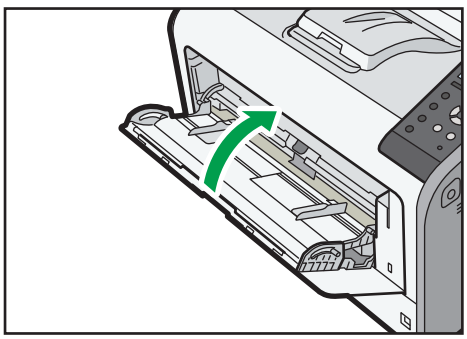
DBQ059

3. 水でぬらし、固く絞った布で、手差しトレイの給紙コロを回しながら、左右に動かして拭きます。そのあと乾いた布で拭きます。



DBP802

4. 手差しトレイを閉じます。



DBQ114

5. 電源プラグをコンセントに差し込み、本機の電源を入れます。

LED ヘッドを清掃する

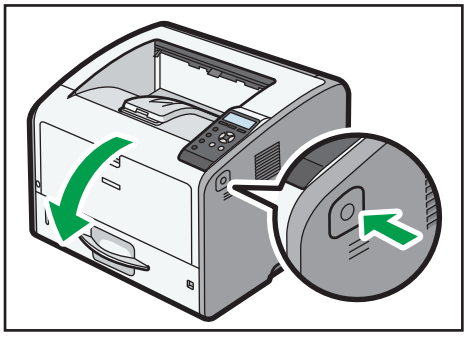
印刷したときにかすれたり、白いすじが入ったり、文字がにじんだりするときは、LED レンズクリーナーで LED ヘッドを清掃してください。LED レンズクリーナーは本体、ドラムユニットに同梱されています。

⚠注意

・機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルが貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

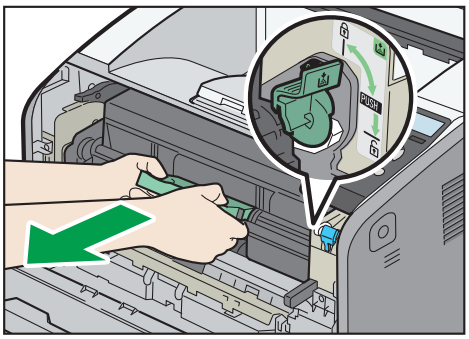
・LEDヘッドの清掃は、本機の電源が切れていて、プリンター本体が常温であるには触れないでください。やけどの原因になります。

1. 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
2. 前カバーオープンボタンを押し、前カバーをゆっくりと開けます。



DBQ010

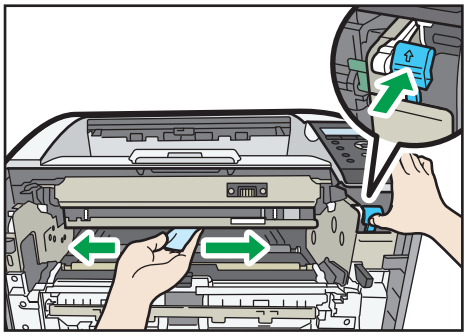
3. トナーカートリッジレバーがロックされていることを確認してから、トナーカートリッジのハンドルを持ち、トナーカートリッジを取り付けたドラムユニットを本機から引き出します。



DBQ011

4. 片手で LED 清掃レバーを突き当て位置まで押しながら、もう片方の手で LED ヘッド下部のレンズ面を LED レンズクリーナーで軽く拭きます。

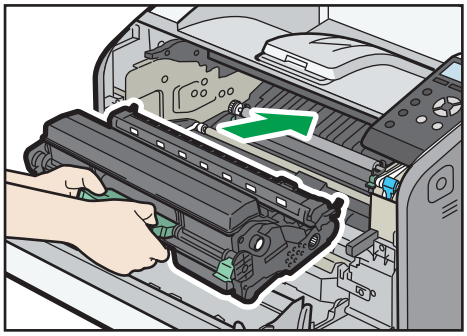
   レバーを突き当て位置まで押すと、LED ヘッドが降りてきます。



DBQ086

5. トナーカートリッジのハンドルを持ち、トナーカートリッジを取り付けたドラムユニットを奥まで差し込みます。

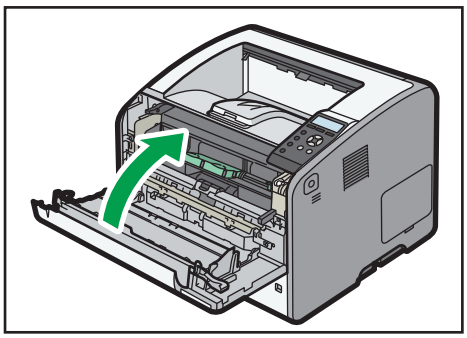
   トナーカートリッジを取り付けたドラムユニットは、本機に貼られたラベルが示す位置までしっかりと押し込んでください。



DBQ016

6. 前カバーを両手でゆっくりと押し上げて閉じます。

   前カバーが閉まらないときは、前カバーを無理に閉めずに、トナーカートリッジを取り付けたドラムユニットが正しくセットされているか確認してください。



DBQ067

7. 電源プラグをコンセントに差し込み、本機の電源を入れます。

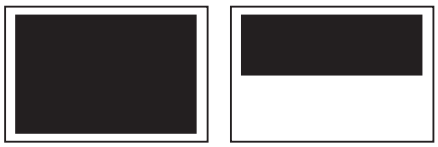
定着器を清掃する（定着クリーニング機能）

印刷画像に黒い斑点が発生したとき、印刷面が汚れる場合などに、定着クリーニング機能を実行すると改善される可能性があります。
ドラム交換の際に実行することをおすすめします。

操作部の［メニュー］キーを押し、［▼］［▲］キーを使用して操作してください。

1. **手差しトレイに A4▱用紙をセットします。**
2. **［調整/管理］** ▶ ［OK］
3. **［品質調整］** ▶ ［OK］
4. **［定着クリーニング］** ▶ ［OK］
5. **下記画像が両面で印刷されます。**

定着クリーニング画像



第 1 面　　第 2 面

補足

・定着クリーニング実行前に、手差しトレイの用紙サイズ設定を A4▱に設定してください。A4▱に設定されていない場合、定着クリーニングは動作しません。
・定着クリーニング実行後、黒い斑点が発生しなくなったか確認してください。
・1 回で改善しない場合は、定着クリーニング機能を複数回実行してください。

電源プラグを清掃する

⚠警告

・電源コードが傷んだり、芯線の露出・断線などが見られるときはサービス実施店に交換を依頼してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。

・電源プラグは年 1 回以上コンセントから抜いて、点検してください。
　・電源プラグに焦げ跡がある
　・電源プラグの刃が変形している
上記のような状態のときは、そのまま使用せずに販売店またはサービス実施店に相談してください。
そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

⚠警告

・電源コードは年１回以上コンセントから抜いて、点検してください。
  ・電源コードの芯線の露出・断線などがみられる
  ・電源コードの被膜に亀裂、へこみがある
  ・電源コードを曲げると、電源が切れたり入ったりする
  ・電源コードの一部が熱くなる
  ・電源コードが傷んでいる

上記のような状態のときは、そのまま使用せずに販売店またはサービス実施店に相談してください。
そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

・電源プラグの刃に金属などが触れると、火災や感電の原因になります。

⚠注意

・電源プラグは年に１回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因になります。

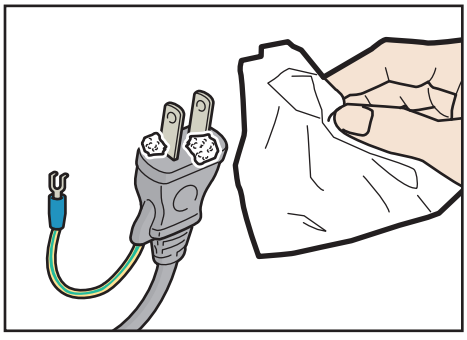
・お手入れをするときは、安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

重要

・電源プラグを抜くときは、本機の電源を切ってください。P.31「電源の切りかた」を参照してください。

お手入れの方法

乾いた布で、ほこりを取り除きます。



CJX002

印刷濃度を調整する

本機を移動したときや厚紙を印刷したとき、または繰り返し通常の印刷をしたとき、印刷面にかすれや汚れが出ることがあります。思いどおりの濃さに印刷するために、印刷濃度を調整してください。

操作部の［メニュー］キーを押し、［▼］［▲］キーを使用して操作してください。

1. **［調整/管理］** ▶ ［OK］
2. **［品質調整］** ▶ ［OK］
3. **［濃度調整］** ▶ ［OK］
4. **印刷濃度の調整値を入力** ▶ ［OK］

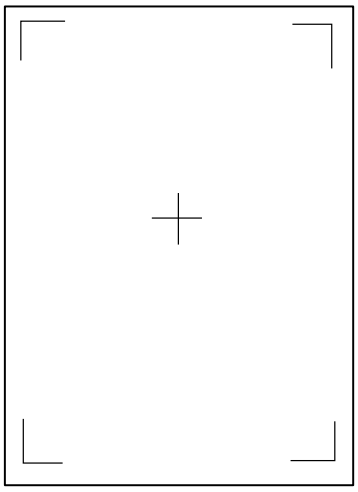
印刷位置を調整する

通常は特に設定する必要はありませんが、オプションの増設トレイを取り付けて印刷の位置がずれたときに調整します。

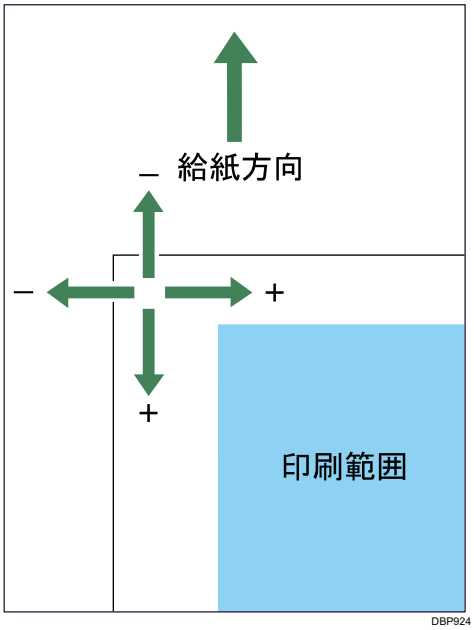
操作部の［メニュー］キーを押し、［▼］［▲］キーを使用して操作してください。

1. **［調整/管理］** ▶ ［OK］
2. **［品質調整］** ▶ ［OK］
3. **［印刷位置調整］** ▶ ［OK］
4. **［調整シート印刷］** ▶ ［OK］▶ **調整するトレイを選択** ▶ ［OK］

印刷した調整シートで、実際の印刷位置を確認します。



5. ［キャンセル］▶［調整実行］▶［OK］▶調整するトレイを選択 ▶［OK］
6. 数値を変更 ▶［OK］



数値を大きくすると、印刷範囲を+方向にずらして印刷します。数値を小さくすると、印刷範囲を−方向にずらして印刷します。

7. ［キャンセル］▶［調整シート印刷］▶［OK］▶調整した結果を確認

用紙の反りを低減する

印刷した用紙が反って排出されるときは、［カール低減］を有効にすることで反りを減らせます。

操作部の［メニュー］キーを押し、［▼］［▲］キーを使用して操作してください。

1. ［調整/管理］▶［OK］
2. ［品質調整］▶［OK］
3. ［カール低減］▶［OK］
4. ［有効］▶［OK］

補足

・［カール低減］を有効にすると、ファーストプリントおよび印刷速度が通常よりも遅くなります。
・［カール低減］を有効にすると、用紙の厚さによっては未定着になる場合があります。

縦すじの発生を防止する

印刷結果に縦すじが発生するときは、［手動ドラム回転］を実行することで改善される場合があります。
また、本機が低温、低湿な状況にある場合に縦すじが発生するときは、［低温モード］を有効にすることで縦すじの発生を防止できることがあります。

手動ドラム回転を実行する

ドラムの回転にはレベル 1（通常）とレベル 2（強）があります。レベル 1（通常）を実行して縦すじが改善されないときはレベル 2（強）を実行します。

操作部の［メニュー］キーを押し、［▼］［▲］キーを使用して操作してください。

1. ［調整/管理］ ▶ ［OK］
2. ［品質調整］ ▶ ［OK］
3. ［手動ドラム回転］ ▶ ［OK］
4. ［レベル 1］ ▶ ［OK］
5. **縦すじが発生した文書の印刷をアプリケーションから指示**
6. **印刷結果を確認**
   縦すじが改善されないときは、ドラムの回転をもう一度実行します。
7. ［調整/管理］ ▶ ［OK］
8. ［品質調整］ ▶ ［OK］
9. ［手動ドラム回転］ ▶ ［OK］
10. ［レベル 2］ ▶ ［OK］
11. **もう一度アプリケーションから印刷を指示**
12. **印刷結果を確認**

補足

・［手動ドラム回転］を何度も実行するとドラムユニットの寿命が短くなる可能性があるので、改善されないときはサービス実施店に連絡してください。

低温モードを有効にする

操作部の［メニュー］キーを押し、［▼］［▲］キーを使用して操作してください。

1. ［調整/管理］ ▶ ［OK］
2. ［品質調整］ ▶ ［OK］
3. ［低温モード］ ▶ ［OK］
4. ［有効］ ▶ ［OK］

補足

・［低温モード］を有効にすると印刷に時間がかかることがあります。

初期設定項目一覧

補助メニュー

強制排紙	
エラー履歴表示	

サプライ情報

サプライ情報	トナー/用紙/ドラムユニット/メンテナンスキット

用紙設定

用紙サイズ設定：手差しトレイ、トレイ 1～トレイ 4	A4▱（工場出荷時） 補足 ・設定できる用紙サイズについては、P.60「セットできる用紙のサイズ」を参照してください。 ・装着しているトレイだけが表示されます。 ・不定形サイズを選択した場合は、用紙サイズの設定が必要です。
用紙種類設定：手差しトレイ トレイ 1～トレイ 4	表示しない（普通紙）（工場出荷時） 補足 ・設定できる用紙種類については、P.63「セットできる用紙の種類」を参照してください。 ・Web Image Monitor の「ユーザー用紙種類」で設定したユーザー用紙種類で割り当てられた用紙種類が指定のトレイで利用できない場合は、表示されません。 ・装着しているトレイだけが表示されます。

両面印刷トレイ	トレイ 1～トレイ 4 手差しトレイ	**対象にする（工場出荷時）** 対象にしない 補足 装着しているトレイだけが表示されます。
自動トレイ選択	トレイ 1～トレイ 4 手差しトレイ	**対象にする（工場出荷時）** 対象にしない 補足 装着しているトレイだけが表示されます。
優先給紙トレイ	**トレイ 1（工場出荷時）**、トレイ 2、トレイ 3、トレイ 4、手差しトレイ 補足 装着しているトレイだけが表示されます。	

調整/管理

品質調整

濃度調整	−6～3 **工場出荷時：0**	
印刷位置調整	調整シート印刷	トレイ 1～トレイ 4、 手差しトレイ、 両面ユニット 補足 装着しているトレイだけが表示されます。
	調整実行	ヨコ：トレイ 1、ヨコ：トレイ 2、ヨコ：トレイ 3 ヨコ：トレイ 4、ヨコ：手差しトレイ、ヨコ：両面時裏面、タテ：トレイ 1、タテ：トレイ 2、タテ：トレイ 3、タテ：トレイ 4 タテ：手差しトレイ、タテ：両面時裏面 補足 装着しているトレイだけが表示されます。
カール低減	有効、**無効（工場出荷時）**	
手動ドラム回転	レベル 1、レベル 2	
定着クリーニング		
定着調整優先設定	画質優先、**速度優先（工場出荷時）**	
低温モード	有効、**無効（工場出荷時）**	

一般管理

再生紙設定	**普通紙（工場出荷時）**、普通紙 2	
色紙設定	**普通紙（工場出荷時）**、普通紙 2	
レターヘッド紙設定	トレイ 1～トレイ 4 手差しトレイ	薄紙、**普通紙（工場出荷時）** 普通紙 2、中厚口、厚紙 1 厚紙 2、厚紙 3 補足 装着しているトレイだけが表示されます。
ラベル紙設定	トレイ 1～トレイ 4 手差しトレイ	普通紙 2、中厚口、 **厚紙 1（工場出荷時）** 補足 装着しているトレイだけが表示されます。
封筒設定	トレイ 1	**厚紙 2（工場出荷時）** 厚紙 3
	手差しトレイ	**厚紙 2（工場出荷時）** 厚紙 3
印刷済み紙設定	**普通紙（工場出荷時）**、普通紙 2	
サプライ交換通知時期設定	トナー	早めに通知、**通常（工場出荷時）**、遅めに通知
	ドラムユニット	早めに通知、**通常（工場出荷時）**、遅めに通知
サプライエンド時動作	**印刷継続（工場出荷時）**、印刷停止	
サプライ残量表示	**待機画面に表示する（工場出荷時）**、表示しない	
封筒レバーメッセージ	**表示する（工場出荷時）**、表示しない	
メニュープロテクト	レベル 1、**レベル 2（工場出荷時）**、しない	

テスト印刷禁止	する、**しない（工場出荷時）**
ブザー音	ON、**OFF（工場出荷時）**
画面コントラスト調整	7 段階 **4（工場出荷時）**
キーリピート設定	リピートしない、**通常（工場出荷時）**、リピート時間：中 リピート時間：長
Compatible ID	**有効（工場出荷時）**、無効

時刻タイマー設定

オートリセット時間設定	**する（工場出荷時）**	10～999 秒（1 秒単位） **工場出荷時：60 秒**
	しない	
年月日設定		
時刻設定		

テスト印刷

一括リスト印刷
システム設定リスト
エラー履歴
ネットワークサマリー
サプライ情報リスト
メニューリスト
ヘキサダンプ

補足

・給紙トレイの中から A4（Letter）サイズの普通紙 / 再生紙がセットされているトレイを自動で選択します。もし、どの給紙トレイにも A4（Letter）サイズの普通紙 / 再生紙がセットされていないときは、優先給紙トレイを選択します。
・優先給紙トレイにセットされている用紙サイズが A4（Letter）サイズより小さいと、端が切れることがあります。逆に優先給紙トレイにセットされている用紙サイズが A4（Letter）サイズより大きいと、余白が大きくなることがあります。リストは A4（Letter）サイズへの印刷を前提にレイアウトされています。
・給紙トレイのいずれかに、A4（Letter）サイズの用紙（普通紙・再生紙）をセットすることをお勧めします。

システム設定

エラーレポート印刷	する、**しない（工場出荷時）**	
エラースキップ	**しない（工場出荷時）**、即時、1 分、5 分、10 分、15 分	
画像エラー処理	**印刷取り消し（工場出荷時）**、エラーシート印刷	
エラー表示設定	簡易表示、**すべて表示（工場出荷時）**	
エラー発生時のジョブ自動取消	する、**しない（工場出荷時）**	
補助用紙サイズ	自動、**しない（工場出荷時）**	
低電力モード設定	低電力モード移行設定	移行する、**移行しない（工場出荷時）**
	低電力モード移行時間	**1 分（工場出荷時）**、15 分、30 分、45 分、60 分、120 分、240 分 補足 低電力モード移行設定が「移行する」に設定されている場合に設定できます。
スリープモード設定	スリープモード移行設定	**移行する（工場出荷時）** 移行しない
	スリープモード移行時間	**1 分（工場出荷時）**、5 分、15 分、30 分、45 分、60 分、120 分、240 分
定着部オフモード（省エネ）移行設定	定着部オフモード（省エネ）移行設定	移行する、**移行しない（工場出荷時）**
	定着部オフモード解除設定	**印刷実行時（工場出荷時）** 操作部操作時

	定着部オフモード移行時間	**10 秒（工場出荷時）**、30 秒、1 分、15 分、30 分、60 分、120 分、240 分
ウィークリータイマー	毎日同時刻（Web 設定時刻）、曜日ごと（Web 設定時刻）、**使用しない（工場出荷時）**	
オフ解除コード設定	設定する	最大 8 桁
	設定しない（工場出荷時）	
明るさ検知自動電源オフ	モード設定	**自動電源オフのみ（工場出荷時）**、自動電源オフ&オン、無効
	オフ移行時間	1 分、5 分、30 分、60 分、**120 分（工場出荷時）**
	オン移行時間	**1 分（工場出荷時）**、5 分 30 分、60 分、120 分
	センサー感度	オフセンサー感度 **・0（工場出荷時）**～15 オンセンサー感度 ・0～**8（工場出荷時）**～15
待機時定着ヒーターオフ	**自動オフする（工場出荷時）**、自動オフしない	
プリントサーバー使用不可な省エネモード	**移行を禁止する（工場出荷時）**、移行を禁止しない	
印刷後待機状態	**操作画面オン（工場出荷時）**、操作画面オフ（省エネ）	
圧縮データの解凍印刷	する、**しない（工場出荷時）**	
優先メモリー	ユーザーメモリー、**ページメモリー（工場出荷時）**	
RAM ディスク	0MB、2MB、**4MB（工場出荷時）**、8MB、16MB	

自動メール通知	**する（工場出荷時）**、しない
機械番号	

印刷設定

一般設定

<table>
<tr><td>180 度回転</td><td colspan="2">する、しない（工場出荷時）</td></tr>
<tr><td>レターヘッド紙使用設定</td><td colspan="2">使用しない、使用する（自動判定）（工場出荷時）
使用する（常時）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">トレイ設定選択</td><td>手差しトレイ</td><td>ドライバー/コマンド優先（工場出荷時）、機器側設定優先、機器側設定優先（全紙種許可）、全用紙サイズ・用紙種類許可、全不定形サイズ・用紙種類許可</td></tr>
<tr><td>トレイ 1</td><td rowspan="4">ドライバー/コマンド優先、機器側設定優先（工場出荷時）
補足
装着しているトレイだけが表示されます。</td></tr>
<tr><td>トレイ 2</td></tr>
<tr><td>トレイ 3</td></tr>
<tr><td>トレイ 4</td></tr>
<tr><td>拡張リミットレス給紙</td><td colspan="2">する、しない（工場出荷時の設定）</td></tr>
</table>

セキュリティー管理

セキュリティー強化	SNMPv1、v2 による設定	禁止する、**禁止しない（工場出荷時）**
	ドライバー暗号鍵： 暗号強度設定	**簡易暗号（工場出荷時）** DES、AES
	パスワード攻撃検知	
	アクセスセキュリティー設定	
	アクセス攻撃検知	
サービスモード移行禁止設定	する、**しない（工場出荷時）**	
ファームウェアバージョン表示		
ネットワークセキュリティーレベル	**レベル 0（工場出荷時）**、レベル 1、レベル 2、FIPS140	
ログ転送設定	する（ログ収集サーバーからだけ設定可能） **しない（工場出荷時）**	
ログ収集設定	ジョブログ	有効、**無効（工場出荷時）**
	アクセスログ	有効、**無効（工場出荷時）**
	eco ログ	有効、**無効（工場出荷時）**

補足

・［サービスモード移行禁止設定］は、機器管理者としてログインしているときだけ表示されます。

機器設定情報

機器設定情報	機器設定情報：エクスポート（メディア）
	機器設定情報：インポート（メディア）

インターフェース設定

受信バッファ	**128KB（工場出荷時）**、256KB
インターフェース切り替え時間	10 秒、**15 秒（工場出荷時）**、20 秒、25 秒、60 秒

ネットワーク設定

本体 IPv4 アドレス	**自動的に取得（DHCP）（工場出荷時）**	
	指定	IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ
IPv6 ステートレス設定	**有効（工場出荷時）**、無効	
DHCPv6	DHCPv6 設定	有効、**無効（工場出荷時）**
	動作モード	**ルーター要求（工場出荷時）**、IP アドレス取得、IP アドレス取得しない
	DNS サーバーアドレス	**自動取得(DHCPv6)（工場出荷時）**、指定
IPsec	有効、**無効（工場出荷時の設定）**	
有効プロトコル	IPv4	**有効（工場出荷時）**、無効
	IPv6	有効、**無効（工場出荷時）**
	SMB	**有効（工場出荷時）**、無効
	ファームウェアアップデート（IPv4）	**有効（工場出荷時）**、無効
	ファームウェアアップデート（IPv6）	**有効（工場出荷時）**、無効

イーサネット速度	自動選択：1Gbps を許可する、**自動選択：1Gbps を許可しない（工場出荷時）**、10Mbps 半二重固定、10Mbps 全二重固定、100Mbps 半二重固定、100Mbps 全二重固定
イーサネット用 IEEE802.1X 認証	有効、**無効（工場出荷時）**
IEEE802.1X 認証初期化	
SSL/TLS 通信許可設定	暗号文のみ、**暗号文優先（工場出荷時）**、暗号文/平文

補足

・各項目の設定方法は、P.51「ネットワークの設定」を参照してください。

USB 設定

USB 速度	**自動選択（工場出荷時）**、フルスピード
USB ポート固定	レベル 1、レベル 2、**しない（工場出荷時）**

補足

・Web Image Monitor からの設定方法は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

表示言語切替

操作部の画面に表示する言語として、日本語と英語を選択できます。

工場出荷時は、**日本語**に設定されています。

表示言語切替について詳しくは、P.230「表示言語切替」を参照してください。

拡張機能初期設定

このメニューは操作部から設定できません。Web Image Monitor から設定します。

初期設定項目の機能説明

用紙サイズ設定：手差しトレイ

手差しトレイにセットする用紙サイズを設定します。

用紙サイズ設定：トレイ 1

トレイ 1 にセットする用紙サイズを設定します。

用紙サイズ設定：トレイ 2

トレイ 2 にセットする用紙サイズを設定します。

用紙サイズ設定：トレイ 3

トレイ 3 にセットする用紙サイズを設定します。

用紙サイズ設定：トレイ 4

トレイ 4 にセットする用紙サイズを設定します。

用紙種類設定：手差しトレイ

手差しトレイにセットする用紙種類を設定します。

用紙種類設定：トレイ 1

給紙トレイ 1 にセットする用紙種類を設定します。

用紙種類設定：トレイ 2

給紙トレイ 2 にセットする用紙種類を設定します。

用紙種類設定：トレイ 3

給紙トレイ 3 にセットする用紙種類を設定します。

用紙種類設定：トレイ 4

給紙トレイ 4 にセットする用紙種類を設定します。

両面印刷トレイ

両面印刷の対象にするトレイを設定します。
[用紙種類設定]の紙種と、[調整/管理]-[一般管理]下の紙厚の組み合わせで両面不可の場合、「対象にしない」に変更されます。

自動トレイ選択

自動トレイ選択の対象にするトレイを設定します。

優先給紙トレイ

「優先給紙トレイ」とは、本機の電源を入れたときに選択される給紙トレイで、自動トレイ選択や拡張リミットレス給紙機能を有効にしたときに最初に対象となるトレイです。

濃度調整

印刷面にかすれや汚れが出たときなどに印刷濃度を調整します。できるだけ工場出荷時の設定で使用してください。

印刷位置調整

トレイごとの印刷位置を合わせるために印刷位置を調整できます。通常は設定する必要はありませんが、オプションの給紙トレイを取り付けたときに調整します。

カール低減

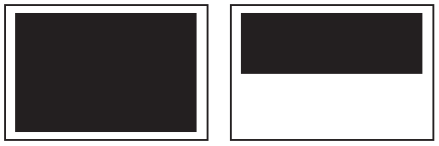
印刷後の用紙の反りを減らすために設定します。この機能を有効にすると、ファーストプリントおよび印刷速度が通常よりも遅くなります。
また使用する用紙の厚さによっては、未定着が発生する場合があります。

手動ドラム回転

印刷画像に縦すじが発生したときに実行すると改善される場合があります。
ドラムの回転をレベル１（通常）、レベル２（強）の２段階のレベルから選択し実行します。
何度も実行するとドラムユニットの寿命が短くなる可能性があるので、改善されないときはサービス実施店に連絡してください。

定着クリーニング

印刷画像に黒い斑点が発生したときに、定着クリーニングを実行すると改善される場合があります。手差しトレイに A4▱用紙をセットして実行すると下記の画像が両面で印刷されます。
実行後に黒い斑点が発生しなくなったことを確認してください。
ドラムユニット交換の際に、実施していただくことをおすすめします。
定着クリーニング画像



第 1 面　　第 2 面

定着調整優先設定

長時間連続して印刷する場合に印刷面に汚れが付着するときは、画質優先を選択することで防止できることがあります。
画質優先を選択すると、印刷中に一時的に動作を停止するため、印刷に時間がかかることがあります。

低温モード

低温、低湿な環境で本機を使用している場合に印刷画像に縦すじが発生するときは、低温モードを有効にすることで縦すじの発生を防止できることがあります。
この機能を有効にすると、印刷に時間がかかることがあります。

再生紙設定

再生紙の厚さを設定します。

色紙設定

色紙の厚さを設定します。

レターヘッド紙設定

レターヘッド紙の厚さをトレイごとに設定します。

ラベル紙設定

ラベル紙の厚さをトレイごとに設定します。

封筒設定

封筒の厚さをトレイ 1 と手差しトレイそれぞれに設定します。

印刷済み紙設定

印刷済み紙の厚さを設定します。

サプライ交換通知時期設定

サプライの交換時期を通知するタイミングを設定します。トナーとドラムユニットの交換の通知タイミングを個別に設定できます。

サプライエンド時動作

ドラムユニットのサプライエンド時に印刷を継続するかしないかを選択します。

サプライ残量表示

待機画面にトナー残量を表示するかどうか選択します。

封筒レバーメッセージ

封筒レバーを下ろしたまま、トレイ 1 または手差しトレイから封筒以外の用紙を給紙したときに、警告メッセージを表示するかしないかを選択します。

メニュープロテクト

管理者以外のユーザーでも設定を変更できる機能に、ユーザーのアクセス権のレベルを設定します。
Web Image Monitor の「管理者認証管理」で聞き管理者認証を「しない（工場出荷の設定）」に設定されている場合は選択できません。
詳しくは、『セキュリティーガイド』を参照してください。

テスト印刷禁止

［する］に設定すると、テスト印刷を禁止します。
Web Image Monitor の「管理者認証管理」で聞き管理者認証を「しない（工場出荷の設定）」に設定されている場合は選択できません。
詳しくは、『セキュリティーガイド』を参照してください。

ブザー音

操作部のキーを押したときや本機に異常が発生したときに、音を出すか出さないかを選択します。

画面コントラスト調整

画面のコントラストを調整します。

キーリピート設定

画面や操作部のキーを押し続けたときに、操作をリピートするかしないかを設定します。リピートする操作は機能によって異なります。

Compatible ID

Compatible ID の有効/無効を設定します。

オートリセット時間設定

一定時間操作をしないとき自動的に初期画面へ戻るまでの時間を設定します。この機能は次のようなときに有効です。

・通常のメニュー操作時
・認証に関する警告画面の表示時

［印刷一時停止/再開］キーを押してジョブを一時停止させたときは、ここで設定した時間が経過すると、自動的に印刷を再開します。
オートリセットを設定したときは、オートリセットするまでの時間を 10～999 秒（1 秒単位）の範囲で設定します。

年月日設定

システム時計の年月日を設定します。
「年」「月」「日」の切り替えは、［◂］［▸］キーを押してカーソルを移動します。
「年」「月」「日」は［▾］［▴］キーで設定します。

時刻設定

システム時計の時刻を設定します。
時刻は 24 時間制（1 秒単位）で入力します。
「時」「分」「秒」の切り替えは、［◂］［▸］キーを押してカーソルを移動します。
「時」「分」「秒」は［▾］［▴］キーで設定します。

一括リスト印刷

システム設定リスト、エラー履歴、ネットワークサマリー、サプライ情報リストを印刷します。
選択されているすべてのプリンター言語とエミュレーションが対象となります。

システム設定リスト

本機のシステム構成やシステム設定の設定内容などが印刷されます。
プリンター初期設定の設定値を印刷します。選択されているすべてのプリンター言語とエミュレーションが対象となります。

エラー履歴

印刷時に発生したエラー情報を、エラー履歴として印刷します。オートジョブキャンセルや、パネルからのジョブキャンセル情報も印刷されます。
エラー履歴には最新の 30 件が蓄積されます。すでに 30 件蓄積されているときに新たなエラーが加わると、最も古い履歴が消去されます。ただし最も古い履歴が試し印刷、機密印刷、保留印刷、保存印刷のときは消去されずに蓄積エラー履歴として 30 件まで別に蓄積されます。

ネットワークサマリー

ネットワークの設定内容が印刷されます。

サプライ情報リスト

サプライ情報が印刷されます。

メニューリスト

設定できる各項目と設定内容をツリー状に印刷します。
選択されているすべてのプリンター言語とエミュレーションが対象となります。

ヘキサダンプ

印刷不良の原因を調べるために、パソコンから送られてきたデータを 16 進数で印刷します。選択されているすべてのプリンター言語とエミュレーションが対象となります。

エラーレポート印刷

本機内部でのデータ処理中にエラーが発生したときにエラーレポートを印刷するかしないかを設定できます。

エラースキップ

プリンタードライバーから指示された紙サイズ･紙種が一致するトレイがなかったときの本機の動作を設定します。

・しない
　プリンタードライバーから指示された紙サイズ・紙種のトレイがセットまたは設定されるまで印刷されません。
・即時
・用紙サイズ・用紙種類が一致しないときでもすぐに印刷します。
　用紙サイズ・用紙種類が一致しないことを示すメッセージを指定時間表示し、その後印刷を実行します。

画像エラー処理

送信されたデータサイズが大きく、本機内部で処理できないときの本機の動作を設定します。

・印刷取り消し
　エラーが発生したページでジョブをリセットします。リセットされたページ以降は印刷されません。

・エラーシート印刷

エラーが発生しても印刷を継続し、ジョブの終わりにエラーシートを印刷します。エラーシートにはエラーコードが印刷されます。また、エラーによって印刷結果が不完全になったページが、最大 16 ページ分まで印刷されます。

エラー表示設定

本機内部でのデータ処理中に発生したエラーを操作部に表示するかしないかを設定します。

エラー発生時のジョブ自動取消

印刷エラーが発生したときに、印刷エラーが発生したジョブと、エラーが発生する前に本機が受信していたジョブの印刷を中止するかしないかを設定します。

補助用紙サイズ

指定した用紙サイズが給紙トレイにないときに、用紙サイズの切り替えをするかどうかを設定します。
本機能は A4、Letter（8$^{1}/_{2}$ × 11）間の用紙サイズ切り替えだけに対応しています。
切り替えをしたとき、A4 と Letter（8$^{1}/_{2}$ × 11）では最大印字領域が異なるので、それぞれの領域を超えた描画は、端部が切れたり、正常に印刷されなかったりします。

低電力モード移行時間設定

本機が一定時間使用されなかったときに、低電力モードに移行するかしないかを設定します。
［定着部オフモード（省エネ）移行設定］が［移行する］に設定されているときは、設定できません。

スリープモード設定

スリープモードに移行するかしないか、移行時間を設定します。
移行時間の間に本機を使用しないと、スリープモードに切り替わります。スリープモード中は本機の起動が遅くなり、印刷が始まるまで多少時間がかかります。

定着部オフモード（省エネ）移行設定

省エネモードに移行するかしないかを選択します。

省エネモードに移行すると消費電力をさらに節約できますが、省エネモード中は本機の起動が遅くなり、印刷が始まるまで時間がかかります。

［移行する］に設定すると、以下を設定できます。

定着部オフモード解除設定

省エネモードを解除する条件を選択します。印刷を実行したときに省エネモードを解除するか、操作部を操作したときに省エネモードを解除するかを選択できます。

定着部オフモード(省エネ)移行設定が「移行する」以外の場合は選択できません。

定着部オフモード移行時間

省エネモードに移行するまでの待機時間を設定します。

定着部オフモード(省エネ)移行設定が「移行する」以外の場合は選択できません。

待機時間は以下のときにリセットされます。

・印刷を実行したとき

「定着部オフモード解除設定」を「印刷実行時」に設定しているときに初期設定画面の「調整/管理：印刷」「調整/管理：画像」「問い合わせ情報」を押したとき

「定着部オフモード解除設定」を「操作部操作時」に設定しているときに、操作部のキーを押したとき

ウィークリータイマー

毎日、または指定した曜日に、自動で電源を入れたり切ったり、スリープモードに移行したりできます。ウィークリータイマーを使用する時刻や曜日などは、Web Image Monitor で設定します。

ウィークリータイマーを使用するには、［年月日設定］と［時刻設定］でのシステム時計の設定が必要です。

ウィークリータイマーを［毎日同時刻（Web 設定時刻）］または［曜日ごと（Web 設定時刻）］に設定しているときは、［明るさ検知自動電源オフ］の［オン移行時間］で設定した時間が過ぎても、電源は入りません。

オフ解除コード設定

オフ解除コードは、ウィークリータイマーを設定している時間帯に本機の使用を制限するための暗証コード（最大 8 桁）です。オフ解除コードを設定すると、ウィークリータイマーで「スリープモード」や「電源オフ」に設定されている日時に本機を使用するときに、オフ解除コードの入力が求められます。

ウィークリータイマー設定が「毎日同時刻（Web 設定時刻）」または「曜日ごと（Web 設定時刻）」選択時かつ機器管理者認証が「する」に設定されている場合のみ選択できま

す。オフ解除コードを使用するには、管理者認証の設定が必要です。

明るさ検知自動電源オフ

センサーで室内の明るさを検知し、本機の電源を自動で入れたり切ったりします。

モード設定

「電源オフのみ」の設定にした場合は、室内が暗くなったことを検知すると電源を切ります。明るくなったことを検知しても電源を入れません。

「電源オフ&オン」の設定にした場合は、室内が暗くなったことを検知すると電源を切り、明るくなったことを検知すると電源を入れます。ただし、ウィークリータイマーの設定で本機の電源が切れているときは、［オン移行時間］で設定した時間が過ぎても、電源は入りません。

オフ移行時間

室内が暗くなったことを検知してから本機の電源を切るまでの時間を設定します。

次のようなときにはタイマーがリセットされます。

・オフ移行時間が経過する前に ECO ナイトセンサーで明るさの変化を検知したとき
・操作部のキーを操作したとき、または印刷を実行したとき
・電源スイッチを入れたとき
・本機がスリープモードに移行したとき
・本機が省エネモードに移行したとき
・初期設定画面を表示したとき
・Web Image Monitor を使用して設定を変更したとき
・プログラムをダウンロードしたとき
・本機の設定をインポート・エクスポートしたとき

オン移行時間

室内が明るくなったことを検知してから本機の電源を入れるまでの時間を設定します。

次のようなときにはタイマーがリセットされます。

・オフ移行時間が経過する前に ECO ナイトセンサーで明るさの変化を検知したとき
・本機がスリープモードに移行したとき
・［明るさ検知自動電源オフ］の設定が変更されたとき
・電源スイッチを入れたとき

オフセンサー感度

電源を切る明るさのレベルを設定します。

レベル 0（非常に暗い）月明かり程度
レベル 5（暗い）薄暗い室内程度

レベル 7（やや暗い）日が沈んだ夕刻の室内程度
レベル 9（明るい）電気をつけている夜の室内程度
レベル 15（非常に明るい）日の光があたる室内程度

［オフセンサー感度］の明るさのレベルについての説明は目安です。実際のレベルは環境により異なります。

オンセンサー感度

電源を入れる明るさのレベルを設定します。

レベル 0（非常に暗い）月明かり程度
レベル 5（暗い）薄暗い室内程度
レベル 7（やや暗い）日が沈んだ夕刻の室内程度
レベル 9（明るい）電気をつけている夜の室内程度
レベル 15（非常に明るい）日の光があたる室内程度

［オンセンサー感度］は［オフセンサー感度］より高い値だけ設定できます。

［オンセンサー感度］の明るさのレベルについての説明は目安です。実際のレベルは環境により異なります。

待機時定着ヒーターオフ

スリープモードや定着部オフモードの省エネ機能が無効に設定されているなど、30 分間待機状態が続くと定着部のヒーターを自動でオフにします。
定着部のヒーターを自動でオフにするので、待機時よりも消費電力が少なくなります。

プリントサーバー使用不可な省エネモード

拡張 USB プリントサーバーを使用するときに、本機のスリープモードへの移行を禁止します。
スリープモード中は、拡張 USB プリントサーバーを使用して印刷できません。拡張 USB プリントサーバーを使用するときは、［移行を禁止する］を指定してください。

印刷後待機状態

スリープモード中に印刷したあとの本機の状態を設定します。

・操作画面オン
　印刷したあと、通常の待機状態になります。
・操作画面オフ（省エネ）
　印刷したあと、スリープモードに戻ります。

圧縮データの解凍印刷

圧縮データの解凍印刷をするかしないかを設定します。対応している圧縮形式は GZIP 形式です。

優先メモリー

優先的に使用するメモリー内容を設定します。印刷する用紙サイズ、解像度などによって選択します。

・ユーザーメモリー

PDL のワークメモリーに多くのメモリー領域を割り当てる設定です。
メモリー不足で印刷できないときに設定します。

・ページメモリー

画像メモリーに多くのメモリー領域を割り当てる設定です。印刷データの内容によっては印刷速度を上げられます。

RAM ディスク

2MB 以上の値を指定してください。
設定を変更したときは、いったん本機の電源を切り、電源を入れ直してください。

自動メール通知

本機でエラーが発生したときに、エラーの詳細情報を指定したメールアドレスに通知するかどうかを指定します。設定を変更したときは、いったん本機の電源を切り、電源を入れ直してください。

機械番号

本機の機番を表示します。

180 度回転

用紙の向きに対して、画像の向きを 180 度回転して印刷するかしないかを設定します。

レターヘッド紙使用設定

レターヘッド紙のように印刷方向や印刷面が決まっている用紙を正しく印刷するために設定します。

この機能を有効にして両面印刷をすると、最終ページが奇数ページのときも、両面で印刷されます。
印刷の途中で片面印刷から両面印刷になったとき、ソートの２ 部目以降はすべて両面印刷になります。２ 部目以降も片面で印刷するときは、両面印刷を禁止しているトレイから給紙してください。
この機能を使用するときは、用紙の天地や表裏を正しくセットしてください。

・使用しない
　レターヘッド紙印刷を使用しません。
・使用する（自動判定）
　印刷方向や印刷面が決まっている用紙が１ページ目に指定されたときに、レターヘッド紙印刷をします。
・使用する（常時）
　常にレターヘッド紙印刷を使用します。

補足

・［レターヘッド紙使用設定］を［使用する（自動判定）］に設定したときは、プリンタードライバーで用紙種類を［レターヘッド付き用紙］に設定しているときだけレターヘッド紙とみなされます。

トレイ設定選択

用紙設定（用紙サイズ、用紙種類）を操作部で行うか、プリンタードライバーやコマンドで行うかを設定します。

手差しトレイ、トレイ 1～4

・ドライバー/コマンド優先
　給紙トレイを指定して印刷するときは、本機に設定されている用紙設定にかかわらず、プリンタードライバーやコマンドで指定した用紙設定を適用して印刷します。
・機器側設定優先
　本機に設定されている用紙設定で印刷します。プリンタードライバーやコマンドで指定した用紙設定と本機の用紙設定が一致しないときは、エラーになります。
・機器側設定優先（全紙種許可）
　手差しトレイにだけ設定できます。
　用紙種類の指定が不要なときに指定すると、用紙サイズだけ一致していれば、用紙種類にかかわらず印刷できます。
　この機能を使用するには、以下の設定が必要です。
　　・［用紙設定］の［自動トレイ選択］で、手差しトレイを［対象にする］に設定

・プリンタードライバーの給紙トレイを［自動トレイ選択］に設定

・全用紙サイズ・用紙種類許可

手差しトレイにだけ設定できます。

プリンタードライバーやコマンドで指定した用紙設定が本機のどのトレイとも一致しないとき、プリンタードライバーやコマンドで指定した用紙設定を手差しトレイに適用し、印刷を継続できます。

・全不定形サイズ・用紙種類許可

手差しトレイにだけ設定できます。

プリンタードライバーやコマンドで指定した用紙設定が本機のどのトレイとも一致しないとき、プリンタードライバーやコマンドで指定した用紙設定が不定形サイズの場合だけ、その設定を手差しトレイに適用して印刷を継続できます。

補足

・［全用紙サイズ・用紙種類許可］および［全不定形サイズ・用紙種類許可］を設定して蓄積した文書は、蓄積後に設定を変更しても蓄積したときの設定で印刷されます。

・［全用紙サイズ・用紙種類許可］および［全不定形サイズ・用紙種類許可］に設定したときは手差しトレイも拡張リミットレス給紙機能の対象となります。

拡張リミットレス給紙

リミットレス給紙とは、印刷中に給紙トレイの用紙がなくなったとき、サイズや紙種が一致するほかの給紙トレイに自動的に切り替えて印刷する機能です。拡張リミットレス給紙を有効にすると、給紙トレイを指定して印刷しているときにもリミットレス給紙機能を使用できます。

［する］を選択したときは、プリンタードライバーや印刷条件の「リミットレス給紙」の設定に関係なく、リミットレス給紙機能が有効になります。

セキュリティー強化

ユーザー認証や、管理者による本機の利用制限だけではなく、本機が通信する情報やアドレス帳などのデータを暗号化し、セキュリティーを強化できます。

詳しくは『セキュリティーガイド』を参照してください。

サービスモード移行禁止設定

カスタマーエンジニアによるサービスモードの操作を制限できます。

サービスモードは、カスタマーエンジニアが点検や修理をするときに使用する設定です。

「サービスモード移行禁止設定」を［禁止する］に設定すると、機器管理者が「サービスモード移行禁止設定」を解除しないと、カスタマーエンジニアはサービスモードを使用できません。機器管理者が確認した状態で、カスタマーエンジニアは点検や修理をします。

ファームウェアバージョン表示

本機にインストールされているファームウェアのバージョンを表示します。

ネットワークセキュリティーレベル

プロトコルの有効／無効を 4 段階のレベルで自動的に設定し、セキュリティーの強度を変更できます。この設定により不正なアクセスを制限できます。
ネットワークセキュリティーレベル設定は、操作部、または Web Image Monitor で設定できます。ただし設定対象プロトコルが異なります。
詳しくは、『セキュリティーガイド』を参照してください。

メモリー全消去

本機を移設または廃棄するときに、蓄積されているすべてのデータを一括して上書き消去できます。次の情報がメモリー全消去の対象です。

- ユーザーコード
- ユーザーコード別カウンター
- アドレス帳
- SSL 機器証明書
- 本機のネットワーク設定

詳しくは、『セキュリティーガイド』を参照してください。

ログ転送設定

本機のログ転送設定からログ収集サーバーへのログ転送を無効にできます。ログ転送が［する］に設定されているときだけ［しない］の設定に変更できます。
詳しくは、『セキュリティーガイド』を参照してください。

機器データ暗号化設定

本機に蓄積されるデータの記録時に暗号化して、情報の漏洩を防止します。
暗号化されたデータの復元には、データ暗号化設定時に生成される暗号鍵を使用します。
暗号鍵は途中で変更できます。

電源を切ってもデータを保持する本機搭載メモリーに蓄積される次のデータが暗号化されます。

・アドレス帳
・ユーザー認証データ
・一時保存されている文書データ
・ログ
・ネットワーク I/F 設定情報
・機器設定情報

詳しくは、『セキュリティーガイド』を参照してください。

ログ収集設定

ジョブログ、アクセスログ、eco ログを収集するかしないかを設定できます。

機器設定情報

本機の機器情報は、設定情報ファイルとして外部機器にエクスポートできます。エクスポートした設定情報ファイルを本機にインポートすると、変更した設定を戻すことができるのでバックアップとして利用できます。
異なる機種、異なる構成（モデル／オプション）の機器は扱えません。
詳しくは、『セキュリティーガイド』を参照してください。

受信バッファ

受信バッファのメモリーサイズを設定します。通常は変更する必要はありません。

インターフェース切り替え時間

現在のインターフェースからデータが送信されなくなった時点から、そのインターフェースを有効にしておく時間を設定します。ここで設定した時間を超えるとほかのインターフェースからのデータを受信できます。
設定時間が短すぎると 1 つのデータを受信中にタイムアウトになってしまうことがあります。その結果、ほかのインターフェースからのデータが割り込んで印刷されたり、印刷を中止したデータが途中から印刷されたりします。

本体 IPv4 アドレス

自動的に取得（DHCP）

この項目を選択すると、DHCP が有効になります。

指定

［IP アドレス］、［サブネットマスク］、［ゲートウェイ］を「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で入力します。（x は数値）

［本体 IPv4 アドレス］は、ネットワーク内のほかの機器の IPv4 アドレスと重複しないように設定してください。

IPv6 ステートレス設定

IPv6 ステートレスアドレス設定の有効/無効を切り替えます。

DHCPv6

DHCPv6 について設定します。

DHCPv6 設定

DHCPv6 の有効/無効を切り替えます。

動作モード

DHCPv6 の動作モードを選択します。

DHCPv6 設定が「無効」の場合は選択できません。

DNS サーバーアドレス

DNS サーバーアドレスの指定方法を設定します。

DHCPv6 設定が「無効」の場合は選択できません。

IPsec

本機の IPsec 機能の有効/無効を設定します。
詳しくは、『セキュリティーガイド』を参照してください。

有効プロトコル

ネットワークで使用するプロトコルを選択します。

イーサネット速度

イーサネットの通信速度を選択します。使用している環境に合わせた速度を選択してください。
本機は、ネットワーク関連機器への負荷低減（省エネルギー効果）を目的として、初期設定では 100BASE-TX（100Mbps）が上限となっています。より高速な通信が必要なときは、［自動：1Gbps 許可］を選択して 1000BASE-T（1Gbps）を有効にしてください。
ハブとの相性で通信ができないときは、使用するネットワーク環境に合わせて速度を選択してください。

本機側の設定	接続可能な接続先の設定
自動：1Gbps を許可する	自動設定
自動：1Gbps を許可しない	自動設定、10 Mbps 半二重固定、100 Mbps 半二重固定
10 Mbps 全二重固定	10 Mbps 全二重固定
10 Mbps 半二重固定	自動設定、10 Mbps 半二重固定
100 Mbps 全二重固定	100 Mbps 全二重固定
100 Mbps 半二重固定	自動設定、100 Mbps 半二重固定

イーサネット用 IEEE 802.1X 認証

イーサネット用の IEEE 802.1X 認証を設定します。
詳しくは『セキュリティーガイド』を参照してください。

IEEE802.1X 認証初期化

IEEE 802.1X の設定値を初期化します。
詳しくは、『セキュリティーガイド』を参照してください。

SSL/TLS 通信許可設定

SSL/TLS の暗号化通信を設定します。［暗号文のみ］を設定するときは、本機にサーバー証明書の導入が必要です。

USB 速度

USB の速度設定を選択します。

USB ポート固定

USB ポートで新規接続時にプリンタードライバーを再度インストールするかしないかを設定します。
「レベル 1」に設定した場合、プリンタードライバーをインストール済みのパソコンに本機と同一の機種を USB 接続するとき、新規のプリンタードライバーをインストールしないで機器を使用できます。
「レベル 2」に設定するときは、サービス実施店または販売店にお問い合わせください。

表示言語切替

操作部の画面に表示する言語を選択できます。

拡張機能初期設定

拡張機能のインストールやアンインストール、各種設定ができます。

省エネルギー機能

低電力モード

本機は節電のために「低電力モード」機能を搭載しています。

一定時間操作しない状態が続いたとき、自動的に電力の消費を低くするように設定されています。電力消費量が低くなったこの状態を「低電力モード」と呼びます。低電力モードでもパソコンからの印刷はできます。

スリープモードよりも消費電力が増えますが、ジョブを受信してから印刷が開始されるまでの時間はスリープモードよりも短くなります。

低電力モードに移行する時間は［低電力モード移行時間設定］で変更できます。

工場出荷時の低電力モードへの移行時間（初期設定移行時間）は 1 分に設定されています。

設定項目の詳細は、P.203「システム設定」を参照してください。

スリープモード

本機は節電のために「スリープモード」機能を搭載しています。

一定時間操作しない状態が続いたとき、自動的に電力の消費を低くするように設定されています。電力消費量が低くなったこの状態を「スリープモード」と呼びます。

スリープモードでもパソコンからの印刷はできます。

低電力モードよりも消費電力が少なくなりますが、ジョブを受信してから印刷が開始されるまでの時間は低電力モードよりも長くなります。

スリープモードに移行する時間は、［スリープモード移行時間］で変更できます。

工場出荷時のスリープモードへの移行時間（初期設定移行時間）は 1 分に設定されています。

設定項目の詳細は、P.203「システム設定」を参照してください。

仕様

低電力モードでの消費電力	52W 以下
低電力モードへの移行時間	1 分
低電力モードからの復帰時間	10 秒以下
スリープモードでの消費電力	1W 未満
スリープモードへの移行時間	1 分
スリープモードからの復帰時間	17 秒以下

補足

・次のときは、直接スリープモードに移行します。
・低電力モードへの移行時間とスリープモードへの移行時間が同じ時間に設定されているとき
・スリープモードへの移行時間が低電力モードへの移行時間よりも短く設定されているとき
・低電力モードまたはスリープモード中に印刷データを受信したときは、操作部の画面にメッセージを表示して印刷します。印刷終了後は、［低電力モード移行時間設定］または［スリープモード設定］の設定時間に従って低電力モードまたはスリープモードに移行します。
・インストールされる Embedded Software Architecture アプリケーションの種類によって、低電力モードまたはスリープモードへの移行時間が設定よりも長くかかることがあります。

本体とオプションの仕様

補足

・オープンソースを含むその他のソフトウェアについて、各著作者の許諾を得て利用しています。著作者から要求されている記載事項は、付属の CD-ROM に収録されている「OSS.pdf」のファイルを参照してください。

本体の仕様

項目		内容
型式		デスクトップ
プリント方式		LED ヘッド＋乾式一成分電子写真方式
解像度	エンジン	300dpi/600dpi/1200dpi
	データ	300×300dpi、600×600dpi、1200×1200dpi
ウォームアップ時間 *1		電源投入時：19 秒以下、省電力モード復帰時：17 秒以下
ファーストプリント時間		6.5 秒以下 *2
連続プリント速度（A4▭）		片面：38 ページ/分 *3 両面：29 ページ/分
インターフェース		USB2.0 インターフェース（Hi-Speed）×1 LAN インターフェース（1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T）×1
コマンド体系		RPCS
CPU		PMC-SIERRA RM7035C-533L 533 MHz
メモリー	標準	512MB
	オプション	—

項目		内容
	ハードディスク	—
用紙及び給紙・排紙	用紙の種類	詳しくは、P.63「セットできる用紙の種類」を参照してください。
	用紙サイズ	詳しくは、P.60「セットできる用紙のサイズ」を参照してください。
	給紙容量	標準 本体給紙トレイ：550 枚（64 g/㎡）*4 手差しトレイ：100 枚（64 g/㎡）*5 オプション 増設トレイ：550 枚（64g/㎡）*4 最大 最大 2,300 枚（本体給紙トレイ＋手差しトレイ＋増設トレイ 3 段増設時）
	坪量	詳しくは、P.63「セットできる用紙の種類」を参照してください。
	排紙装置・容量	フェイスダウン 500 枚（80g/㎡、長さ 297mm 以下）
両面印刷装置（標準）*6	用紙サイズ	詳しくは、P.60「セットできる用紙のサイズ」を参照してください。
	坪量	52～162g/㎡
外形寸法		幅 459×奥行 392×高さ 347.5mm（突起物除く） トレイ延長時：459×526.5×347.5mm
質量		約 20.2kg（本体、電源コード、消耗品含む）
使用環境	温度	15～25℃
	湿度	30～70%RH（ただし、結露しないこと）

項目		内容
電源		AC100V±10V、12A、50/60Hz±3Hz
消費電力	最大	約 975W
	動作時	約 555W
	印刷可能状態（レディー時）	約 110W
	省電力モード時	約 0.42W
標準消費電力量（TEC 値）		1.85kWh
エネルギー消費効率*7		93kWh/年、区分：プリンターC
関連法令及び規格		詳しくは、P.2「関連法令及び規格」を参照してください。
騒音 *8	動作時	6.4B 以下、52.6dB(A)以下
	レディー時	3.5B 以下、16.5dB(A)以下
製品寿命		120 万ページまたは 5 年のいずれか早い方*9
搭載フォント		明朝 L、ゴシック B、明朝 L プロポーショナル、ゴシック B プロポーショナル、Courier10、Prestige Elite12、Letter Gothic15、BoldFace PS、Courier4 書体、Arial4 書体、TimesNewRoman4 書体、Wingdings、Century、Symbol、OCR-B、漢字ストローク

*1　温度 23℃/湿度 50%RH 環境においての値です。使用環境によっては表記より時間がかかる場合があります。

*2　給紙スタートから排紙完了までの時間（1 段目カセット：A4▱給紙時）

*3　印刷する用紙サイズ、条件により印字速度が異なります。

*4　積載高さは 56 ㎜以下

*5　積載高さは 10 ㎜以下

*6　高温環境で両面印刷を行うと、条件によりクールダウン動作を行います。

*7　エネルギー使用の合理化に関する法律(平成 25 年 3 月 1 日付け)で定められた測定方法による数値です。

*8　基本構成において。ISO 7779 で測定し、ISO 9296 に従って表示する。

単位 B: 表示 A 特性音響パワーレベル(LWAd)

単位 dB: 表示 A 特性放射音圧レベル(バイスタンダ位置)

*9　A4▱・3P/J・片面連続印刷を間欠して繰り返した場合の目安です。

また 90,000 枚毎に（A4▱・3P/J・片面連続印刷時）に弊社サービスマンによるメンテナンスキット（定着器、2次転写ローラー）の交換（有償）が必要です。

増設トレイの仕様

最大消費電力	12.5W 以下（電源は本体から供給）
大きさ（幅×奥行き×高さ）	459×392×124 mm
質量	5.6kg 以下

補足

・使用できる用紙については、P.60「セットできる用紙のサイズ」または P.63「セットできる用紙の種類」を参照してください。

印刷速度の仕様

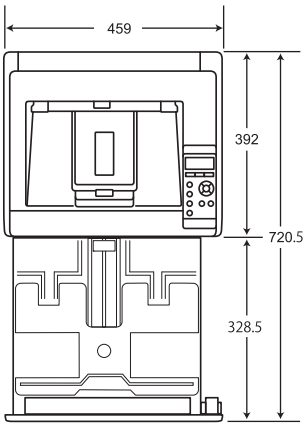
印字速度

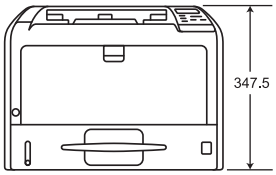
用紙サイズ名	実寸（mm）	連続印刷時間（ppm）		
		～1 分	1～2 分	2 分～
A3	297×420	21.9	←	←
A4	297×210	38.5	←	←
A4	210×97	23.3	17.6	←
A5	148×210	26.3	18.8	←
A5	210×148	28.8	23.3	←
A6	105×148	26.3	21.1	←
B4	257×364	24.8	←	←
B5	182×257	25.5	18.8	←
B5	257×182	38.5	←	←
B6	128×182	26.3	19.7	←

用紙サイズ名	実寸（mm）	連続印刷時間（ppm）		
		～1 分	1～2 分	2 分～
B6▭	182×128	-	-	-
郵便はがき▯	100×148	19.2	←	←
往復はがき▯	148×200	21.0	16.9	11,7
往復はがき▭	200×148	19.2	15.2	10.8
長形 3 号▯	120×235	18.1	←	11.6
長形 4 号▯	90 × 205	15.1	15.1	8.0
洋長 3 号▯	120×235	18.1	←	11.6
洋長 3 号▭	235×120	28.0	24.7	13.9
洋形 4 号▯	105×235	18.1	←	11.6
角形 2 号▯	240×332	19.5	←	←
8 開▯	267×390	23.3	←	←
16 開▯	195×267	36.0	←	←
16 開▭	267×195	25.0	18.5	←

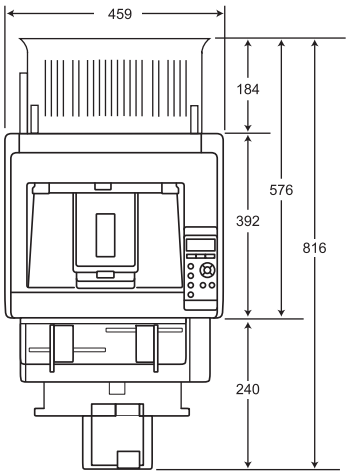
外形寸法の仕様

＜標準時＞

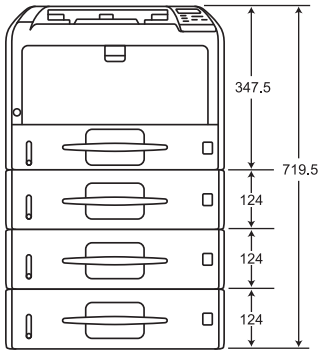




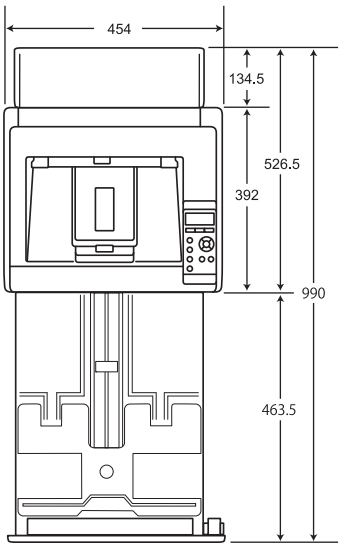
＜手差しトレイ／背面カバー開放時＞



＜増設トレイ 3台装着時＞



＜延長トレイ引き出し時＞



Web Image Monitor の設定項目一覧

本機で使用できる Web Image Monitor の設定項目です。
ゲストモードでは、本機の状態や設定、ジョブの状態などを表示できます。ただし、本機に関する設定を変更することはできません。
管理者モードでは、本機に関する各種の設定ができます。

表の見かた

ヘッダーの見かた

User：ユーザー管理者の操作権限です。
機器：機器管理者の操作権限です。
N/W：ネットワーク管理者の操作権限です。
文書：文書管理者の操作権限です。
あり：ログインユーザーの操作権限です。

「管理者認証管理」で管理者認証が有効になっているときの状態です。
Lv.1：メニュープロテクトが［レベル 1］に設定されている状態です。
Lv.2：メニュープロテクトが［レベル 2］に設定されている状態です。

マークの見かた

R/W：実行、変更、閲覧ができます。
R：閲覧ができます。
－：実行、変更、閲覧ができません。

補足

・メニュープロテクトを［しない］に設定したとき、ユーザーは各機能の設定項目すべてを実行、変更、閲覧できます。

構成

［機器の情報］の中の項目です。

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
機器	R	R	R	R	R	R
システム	R	R	R	R	R	R
バージョン	R	R	R	R	R	R
エミュレーション	R	R	R	R	R	R

状態

［機器の情報］の中の項目です。

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
警告	R	R	R	R	R	R
状態	R	R	R	R	R	R

消耗品

［機器の情報］の中の項目です。

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
トナー	R	R	R	R	R	R
ドラムユニット	R	R	R	R	R	R
その他	R	R	R	R	R	R

カウンター

［機器の情報］の中の項目です。

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
トータル	R	R	R	R	R	R
プリンター	R	R	R	R	R	R
カバレッジ	R	R	R	R	R	R
その他の機器	R	R	R	R	R	R

ユーザー別カウンター

［機器の情報］の中の項目です。

全ユーザーのカウンター情報を CSV ファイルでダウンロードできます。

ジョブ

［機器の情報］の中の項目です。

ユーザーは、ユーザー自身が実行したジョブだけを操作できます。

ジョブリスト

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
実行中/待機中ジョブ一覧：予約削除	－	R/W	－	－	－	R/W
実行中/待機中ジョブ一覧：印刷保留/印刷再開	－	R/W	－	－	－	－
実行中/待機中ジョブ一覧：順序入れ替え	－	R/W	－	－	－	－
ジョブ履歴	－	R	－	－	－	R*1

*1 ユーザー認証方式が、［ユーザーコード認証］のときに閲覧できます。

プリンター

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
ジョブ履歴	R	R/W	R	R	R	R

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
エラー履歴	−	R	−	−	−	R

設定

［機器の管理］の［設定］の項目です。
管理者認証を設定しているときは、［管理者認証管理］の適用初期設定項目によって、ユーザーの操作権限は異なります。

機器

［機器の管理］の［設定］の項目です。
管理者認証を設定しているときは、［管理者認証管理］の適用初期設定項目によって、ユーザーの操作権限は異なります。

システム

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
基本設定	−	−	−	−	−	−
・名前	R	R	R/W	R	R/W	R
・コメント	R	R	R/W	R	R/W	R
・設置場所	R	R	R/W	R	R/W	R
・機器側プリンター操作部のメニュープロテクト	R	R/W	R	R	−	−
・機器側操作部の表示言語	R	R/W	R	R	R/W	R
・ファームウェアアップデート許可	R	R/W	R	R	−	−
・IP アドレス機器画面表示	R	R/W	R	R	−	−
・Compatible ID	R	R/W	R	R	R/W	R
優先給紙トレイ　プリンター	R	R/W	R	R	R/W	R

用紙

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
トレイ 1～4*1、手差しトレイ	－	－	－	－	－	－
・用紙サイズ	R	R/W	R	R	R/W	R
・不定形用紙サイズ	R	R/W	R	R	R/W	R
・用紙種類	R	R/W	R	R	R/W	R
・自動用紙選択の対象	R	R/W	R	R	R/W	R
・両面印刷の対象	R	R/W	R	R	R/W	R

*1 装着された増設トレイが表示されます。

ユーザー用紙種類

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
ユーザー用紙種類 1～8	－	－	－	－	－	－
・用紙名称	R	R/W	R	R	R	R
・用紙種類	R	R/W	R	R	R	R

日付・時刻

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
年月日設定	R	R/W	R	R	R/W	R
時刻設定	R	R/W	R	R	R/W	R
SNTP サーバー名	R	R/W	R	R	R/W	R
SNTP ポーリング間隔	R	R/W	R	R	R/W	R
タイムゾーン	R	R/W	R	R	R/W	R

タイマー

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
低電力モード移行時間設定	R	R/W	R	R	R/W	R
スリープモード移行時間設定	R	R/W	R	R	R/W	R
オートリセット時間設定	R	R/W	R	R	R/W	R
オートログアウト時間設定	R	R/W	R	R	R/W	R
定着部オフモード移行設定	R	R/W	R	R	R/W	R
・定着部オフモード移行時間	R	R/W	R	R	R/W	R
・定着部オフモード解除設定	R	R/W	R	R	R/W	R
明るさ検知オフ設定	－	－	－	－	－	－
・明るさ検知オフ	R	R/W	R	R	R/W	R
・オフ移行時間	R	R/W	R	R	R/W	R
・オン移行時間	R	R/W	R	R	R/W	R
・オフセンサー感度	R	R/W	R	R	R/W	R
・オンセンサー感度	R	R/W	R	R	R/W	R
ウィークリータイマー	－	－	－	－	－	－
・ウィークリータイマー設定	R	R/W	R	R	R/W	R
・毎日、月曜日～日曜日	R	R/W	R	R	R/W	R
・主電源オンタイマー停止期間	R	R/W	R	R	R/W	R
・オフ解除コード設定	R	R/W	R	R	R/W	R

ログ

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
ジョブログ	–	–	–	–	–	–
・ジョブログ収集	R	R/W	R	R	R/W	R
・ジョブログ収集レベル	R	R/W	R	R	R/W	R
アクセスログ	–	–	–	–	–	–
・アクセスログ収集	R	R/W	R	R	R/W	R
・アクセスログ収集レベル	R	R/W	R	R	R/W	R
eco ログ	–	–	–	–	–	–
・eco ログ収集	R	R/W	R	R	R/W	R
・eco ログ収集レベル	R	R/W	R	R	R/W	R
共通設定	–	–	–	–	–	–
・ログ転送[*1]	R	R/W	R	R	R/W	R
・ログ暗号化	R	R/W	R	R	R/W	R
分類コード	R	R/W	R	R	R/W	R

[*1] ［無効］への変更だけできます。

ログダウンロード

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
ダウンロードするログ	–	R/W	–	–	–	–
ダウンロード	–	R/W	–	–	–	–

メール

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
管理者メールアドレス	−	R/W	−	−	R/W	R
受信	−	−	−	−	−	−
・受信プロトコル	−	R/W	−	−	R/W	R
・受信間隔設定	−	−	R/W	−	R/W	R
・サーバー側メール保持	−	−	R/W	−	R/W	R
SMTP	−	−	−	−	−	−
・SMTP サーバー名	−	−	R/W	−	R/W	R
・SMTP ポート番号	−	−	R/W	−	R/W	R
・SSL	−	−	R/W	−	R	−
・SMTP 認証	−	R/W	−	−	R/W	R
・SMTP 認証メールアドレス	−	R/W	−	−	R/W	R
・SMTP 認証ユーザー名	−	R/W	−	−	R/W	−
・SMTP 認証パスワード*1	−	R/W	−	−	R/W	−
・SMTP 認証暗号化	−	R/W	−	−	R/W	R
POP before SMTP	−	R/W	−	−	R/W	R
・POP メールアドレス	−	R/W	−	−	R/W	R
・POP ユーザー名	−	R/W	−	−	R/W	−
・POP パスワード*1	−	R/W	−	−	R/W	−
・POP 認証後待機時間	−	R/W	−	−	R/W	R
POP3/IMAP4	−	−	−	−	−	−

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
・POP3/IMAP4 サーバー名	−	R/W	−	−	R/W	R
・POP3/IMAP4 暗号化	−	R/W	−	−	R/W	R
メール通信ポート	−	−	−	−	−	−
・POP3 受信ポート番号	−	−	R/W	−	R/W	R
・IMAP4 受信ポート番号	−	−	R/W	−	R/W	R
メール通知アカウント	−	−	−	−	−	−
・メール通知用メールアドレス	−	−	R/W	−	R/W	R
・メール通知の受信	−	R/W	−	−	R/W	−
・メール通知ユーザー名	−	R/W	−	−	R/W	−
・メール通知パスワード[*1]	−	R/W	−	−	R/W	−

[*1] パスワードは閲覧できません。

自動メール通知

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
共通本文	R	R/W	R	R	R	R
通知先グループ　グループ 1～4	−	−	−	−	−	−
・名称	R	R/W	R	R	R	R
・通知先リスト	R	R/W	R	R	R	R
項目ごとの通知先	−	−	−	−	−	−
・サービスコール	R	R/W	R	R	R	R
・トナーなし	R	R/W	R	R	R	R
・トナー残りわずか	R	R/W	R	R	R	R

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
・用紙づまり	R	R/W	R	R	R	R
・カバーオープン	R	R/W	R	R	R	R
・用紙なし	R	R/W	R	R	R	R
・給紙トレイエラー	R	R/W	R	R	R	R
・排紙先満杯	R	R/W	R	R	R	R
・ユニット接続エラー	R	R/W	R	R	R	R
・廃トナー満杯	R	R/W	R	R	R	R
・廃トナーもうすぐ満杯	R	R/W	R	R	R	R
・文書保存領域もうすぐ満杯	R	R/W	R	R	R	R
・アクセス攻撃検知	R	R/W	R	R	R	R
・ユニット交換時期	R	R/W	R	R	R	R
・ユニット交換間近	R	R/W	R	R	R	R
・トナー残りわずか（残量レベル選択）	R	R/W	R	R	R	R
各項目の詳細設定	R	R/W	R	R	R	R

要求時メール通知

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
共通件名	R	R/W	R	R	R	R
共通本文	R	R/W	R	R	R	R
要求時メール通知のアクセス制限	－	－	－	－	－	－
・機器状態情報通知の制限	R	R/W	R	R	R	R
受信可能メールアドレス/ドメイン設定	R	R/W	R	R	R	R

ユーザー認証管理

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
ユーザー認証管理	R	R/W	R	R	R/W	R

管理者認証管理

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
ユーザー管理者認証	R/W	R	R	R	R	R
機器管理者認証	R	R/W	R	R	R	R
ネットワーク管理者認証	R	R	R/W	R	R	R
文書管理者認証	R	R	R	R/W	R	R

管理者登録/変更

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
ユーザー管理者	R/W	R	R	R	－	－
機器管理者	R	R/W	R	R	－	－
ネットワーク管理者	R	R	R/W	R	－	－
文書管理者	R	R	R	R/W	－	－
管理者 1～4	－	－	－	－	－	－
・ログインユーザー名[*1]	R/W	R/W	R/W	R/W	－	－
・ログインパスワード[*1]	R/W	R/W	R/W	R/W	－	－
・暗号パスワード[*1]	R/W	R/W	R/W	R/W	－	－

[*1] 管理者が管理者自身のアカウントだけを変更できます。

印刷利用量制限

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
上限到達時動作	R	R/W	R	R	R	R
印刷利用量制限度数設定	R	R/W	R	R	R	R
利用量カウンター定期/指定リセット設定	R	R/W	R	R	R	R

LDAP サーバー

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
登録	−	R/W	−	−	R/W	−
変更	−	R/W	−	−	R/W	−
消去	−	R/W	−	−	R/W	−

ファームウェアアップデート

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
ファームウェアファイル名	−	R/W	−	−	−	−
・アップデート	−	R/W	−	−	−	−
ファームウェアバージョン	−	R	−	−	−	−

Kerberos 認証

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
暗号化アルゴリズム	−	R/W	−	−	−	−
レルム 1～5	−	−	−	−	−	−

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
・レルム名	−	R/W	−	−	−	−
・KDC サーバー名	−	R/W	−	−	−	−
・ドメイン名	−	R/W	−	−	−	−

機器設定情報のインポート設定（サーバー）

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
ファイルのインポート元[*1]	−	−	−	−	−	−
・URL	−	−	−	−	−	−
・ユーザー名	−	−	−	−	−	−
・パスワード	−	−	−	−	−	−
指定時刻での定期インポート[*1]	−	−	−	−	−	−
・指定時刻 1～2						
前回のインポートファイルとの比較[*1]	−	−	−	−	−	−
失敗時のメール通知[*1]	−	−	−	−	−	−
再試行回数[*1]	−	−	−	−	−	−
再試行間隔[*1]	−	−	−	−	−	−
暗号鍵[*1]	−	−	−	−	−	−

[*1] ユーザー管理者、機器管理者、ネットワーク管理者、文書管理者のすべての権限を持つ管理者が実行、変更、閲覧できます。

インポートテスト

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
インポートテスト*1	–	–	–	–	–	–

*1 ユーザー管理者、機器管理者、ネットワーク管理者、文書管理者のすべての権限を持つ管理者が実行、変更、閲覧できます。

プリンター

［機器の管理］の［設定］の項目です。
管理者認証を設定しているときは、「メニュープロテクト」の設定によって、ユーザーの操作権限は異なります。

基本設定

設定項目	User	機器	N/W	文書	Lv.1	Lv.2
システム設定	–	–	–	–	–	–
・エラーレポート印刷	R	R/W	R	R	R	R
・エラースキップ	R	R/W	R	R	R	R
・画像エラー処理	R	R/W	R	R	R	R
・エラー表示設定	R	R/W	R	R	R	R
・エラー発生時のジョブ自動取消	R	R/W	R	R	R	R
・180 度回転	R	R/W	R	R	R	R
・圧縮データの解凍印刷	R	R/W	R/W	R	R	R
・優先メモリー	R	R/W	R	R	R	R
・補助用紙サイズ	R	R/W	R	R	R	R
・レターヘッド紙使用設定	R	R/W	R	R	R	R

保守/仕様

設定項目	User	機器	N/W	文書	Lv.1	Lv.2
・トレイ設定選択	R	R/W	R	R	R	R
・拡張リミットレス給紙	R	R/W	R	R	R	R
・仮想プリンター	R	R/W	R	R	R	R
インターフェース設定	R	R/W	R	R	R	R
・受信バッファ	R	R/W	R	R	R	R
・インターフェース切り替え時間	R	R/W	R	R	R	R

仮想プリンター設定

設定項目	User	機器	N/W	文書	Lv.1	Lv.2
仮想プリンター名	R	R/W	R	R	R	R

プリンター言語のファイルシステム操作許可設定

設定項目	User	機器	N/W	文書	Lv.1	Lv.2
PJL	R	R/W	R	R	R	R

インターフェース

［機器の管理］の［設定］の項目です。
管理者認証を設定しているときは、［管理者認証管理］の適用初期設定項目によって、ユーザーの操作権限は異なります。

インターフェース設定

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
イーサネット	–	–	–	–	–	–

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
・ネットワーク	R	R	R	R	R	R
・物理アドレス	R	R	R	R	R	R
・セキュリティ（802.1X）	R	R	R/W	R	R	R
・イーサネット速度	R	R	R/W	R	R	R
USB	R	R/W	R	R	R	R
USB ホスト	R	R	R	R	R	R

ネットワーク

［機器の管理］の［設定］の項目です。

管理者認証を設定しているときは、［管理者認証管理］の適用初期設定項目によって、ユーザーの操作権限は異なります。

IPv4

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
IPv4	−	−	−	−	−	−
イーサネット	−	−	−	−	−	−
・ホスト名	R	R	R/W	R	R	R
・DHCP	R	R	R/W	R	R	R
・ドメイン名	R	R	R/W	R	R	R
・IPv4 アドレス	R	R	R/W	R	R	R
・サブネットマスク	R	R	R/W	R	R	R
・DDNS	R	R	R/W	R	R	R
・WINS	R	R	R/W	R	R	R

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
・プライマリーWINS サーバー	R	R	R/W	R	R	R
・セカンダリーWINS サーバー	R	R	R/W	R	R	R
・LLMNR	R	R	R/W	R	R	R
・スコープ ID	R	R	R/W	R	R	R
詳細情報	－	－	－	－	－	－
・デフォルトゲートウェイ	R	R	R/W	R	R	R
・DNS サーバー	R	R	R/W	R	R	R
・LPR	R	R	R/W	R	R	R
・RSH/RCP	R	R	R/W	R	R	R
・DIPRINT	R	R	R/W	R	R	R
・FTP	R	R	R/W	R	R	R
・sftp	R	R	R/W	R	R	R
・WSD（Device）	R	R	R/W	R	R	R
・WSD（Printer）	R	R	R/W	R	R	R
・WSD（機器の暗号化通信）	R	R	R/W	R	R	R
・IPP	R	R	R/W	R	R	R
・WSD（Printer）/IPP タイムアウト	R	R	R/W	R	R	R
・RHPP	R	R	R/W	R	R	R

IPv6

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
IPv6	R	R	R/W	R	R	R

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
イーサネット	−	−	−	−	−	−
・ホスト名	R	R	R/W	R	R	R
・ドメイン名	R	R	R/W	R	R	R
・リンクローカルアドレス	R	R	R	R	R	R
・ステートレスアドレス	R	R	R/W	R	R	R
・手動設定アドレス	R	R	R/W	R	R	R
・DHCPv6	R	R	R/W	R	R	R
・DHCPv6 アドレス	R	R	R	R	R	R
・DDNS	R	R	R/W	R	R	R
・LLMNR	R	R	R/W	R	R	R
詳細情報	−	−	−	−	−	−
・デフォルトゲートウェイ	R	R	R/W	R	R	R
・DNS サーバー	R	R	R/W	R	R	R
・DHCPv6 動作モード	R	R	R/W	R	R	R
・DUID	R	R	R	R	R	R
・LPR	R	R	R/W	R	R	R
・RSH/RCP	R	R	R/W	R	R	R
・DIPRINT	R	R	R/W	R	R	R
・FTP	R	R	R/W	R	R	R
・sftp	R	R	R/W	R	R	R
・WSD（Device）	R	R	R/W	R	R	R

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
・WSD（Printer）	R	R	R/W	R	R	R
・WSD（機器の暗号化通信）	R	R	R/W	R	R	R
・IPP	R	R	R/W	R	R	R
・WSD（Printer）/IPP タイムアウト	R	R	R/W	R	R	R
・RHPP	R	R	R/W	R	R	R

SMB

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
SMB	R	R	R/W	R	R	R
基本設定	－	－	－	－	－	－
・プロトコル	R	R	R	R	R	R
・ワークグループ名	R	R	R/W	R	R	R
・コンピュータ名	R	R	R/W	R	R	R
・コメント	R	R	R/W	R	R	R
・共有名	R	R	R	R	R	R
・印刷完了通知	R	R	R/W	R	R	R

SNMP

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
SNMP	－	－	R/W	－	R	R
プロトコル	－	－	－	－	－	－
・IPv4	－	－	R/W	－	R	R

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
・IPv6	−	−	R/W	−	R	R
SNMPv1,v2 共通設定	−	−	−	−	−	−
・SNMPv1,v2 機能	−	−	R/W	−	R	R
・SNMPv1Trap 送信	−	−	R/W	−	R	R
・SNMPv2Trap 送信	−	−	R/W	−	R	R
・SNMPv1,v2 による設定許可	−	−	R/W	−	R	R
コミュニティー	−	−	R/W	−	R	R

SNMPv3

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
SNMP	−	−	R/W	−	R	R
プロトコル	−	−	−	−	−	−
・IPv4	−	−	R/W	−	R	R
・IPv6	−	−	R/W	−	R	R
SNMPv3 設定	−	−	−	−	−	−
・SNMPv3 機能	−	−	R/W	−	R	R
・SNMPv3Trap 送信	−	−	R/W	−	R	R
・コンテキスト名	−	−	R	−	R	R
・認証アルゴリズム	−	−	R/W	−	R	R
・暗号化アルゴリズム	−	−	R/W	−	R	R
・SNMPv3 通信許可設定	−	−	R/W	−	R	R
SNMPv3 Trap 送信設定	−	−	R/W	−	R	R

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
アカウント(一般)	－	－	－	－	－	－
・アカウント名（一般）	－	－	R/W	－	R	R
・認証パスワード（一般）	－	－	R/W	－	R	R
・暗号パスワード（一般）	－	－	R/W	－	R	R
・アクセスタイプ（一般）	－	－	R/W	－	R	R
アカウント(ネットワーク管理者)	－	－	R/W	－	R	R
アカウント(機器管理者)	－	R/W	－	－	R	R

SSDP

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
SSDP	－	－	R/W	－	R	R
UUID	－	－	R	－	R	R
プロファイル有効期限	－	－	R/W	－	R	R
TTL	－	－	R/W	－	R	R

Bonjour（本機では使用できません）

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
Bonjour	－	－	－	－	－	－
・IPv4	R	R	R/W	R	R	R
・IPv6	R	R	R/W	R	R	R
イーサネット	－	－	－	－	－	－
・ローカルホスト名	R	R	R	R	R	R

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
詳細情報	−	−	−	−	−	−
・コンピュータ名	R	R	R/W	R	R	R
・設置場所	R	R	R/W	R	R	R
印刷優先順位	−	−	−	−	−	−
・DIPRINT	R	R	R/W	R	R	R
・LPR	R	R	R/W	R	R	R
・IPP	R	R	R/W	R	R	R

システムログ

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
システムログ	R	R	R	R	R	R

セキュリティー

［機器の管理］の［設定］の項目です。

ネットワークセキュリティー

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
セキュリティーレベル	−	−	R/W	−	−	−
TCP/IP	−	−	−	−	−	−
・TCP/IP	−	−	R/W	−	−	−
・HTTP	−	−	R/W	−	−	−
・IPP	−	−	R/W	−	−	−

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
・SSL/TLS	—	—	R/W	—	—	—
・SSL/TLS バージョン	—	—	R/W	—	—	—
・暗号強度設定	—	—	R/W	—	—	—
・DIPRINT	—	—	R/W	—	—	—
・LPR	—	—	R/W	—	—	—
・FTP	—	—	R/W	—	—	—
・sftp	—	—	R/W	—	—	—
・ssh	—	—	R/W	—	—	—
・RSH/RCP	—	—	R/W	—	—	—
・TELNET	—	—	R/W	—	—	—
・Bonjour	—	—	R/W	—	—	—
・SSDP	—	—	R/W	—	—	—
・SMB	—	—	R/W	—	—	—
・NetBIOS over TCP/IPv4	—	—	R/W	—	—	—
・WSD（Device）	—	—	R/W	—	—	—
・WSD（Printer）	—	—	R/W	—	—	—
・WSD（機器の暗号化通信）	—	—	R/W	—	—	—
・RHPP	—	—	R/W	—	—	—
SNMP	—	—	R/W	—	—	—
・SNMPv1,v2 による設定許可	—	—	R/W	—	—	—
・SNMPv1,v2 機能	—	—	R/W	—	—	—

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
・SNMPv3 機能	−	−	R/W	−	−	−
・SNMPv3 通信許可設定	−	−	R/W	−	−	−
TCP/IP 暗号強度設定	−	−	−	−	−	−
・ssh	−	−	R/W	−	−	−
・IPsec	−	−	R/W	−	−	−
・IEEE802.1X（有線）	−	−	R/W	−	−	−
・SNMPv3	−	−	R/W	−	−	−
・Kerberos 認証	−	−	R/W	−	−	−
・ドライバー暗号鍵	−	−	R/W	−	−	−

アクセスコントロール

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
IPv4	−	−	−	−	−	−
・アクセスコントロール範囲 1～5	−	−	R/W	−	−	−
IPv6	−	−	−	−	−	−
・アクセスコントロール範囲 1～5	−	−	R/W	−	−	−

IPP 認証

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
認証	−	−	R/W	−	−	−
・ユーザー名 1～10	−	−	R/W	−	−	−
・パスワード 1～10	−	−	R/W	−	−	−

SSL/TLS

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
SSL/TLS	—	—	—	—	—	—
・IPv4	—	—	R/W	—	—	—
・IPv6	—	—	R/W	—	—	—
SSL/TLS 通信許可設定	—	—	R/W	—	—	—
証明書状態	—	—	R	—	—	—
SSL/TLS バージョン	—	—	—	—	—	—
・TLS1.2	—	—	R/W	—	—	—
・TLS1.1	—	—	R/W	—	—	—
・TLS1.0	—	—	R/W	—	—	—
・SSL3.0	—	—	R/W	—	—	—
暗号強度設定	—	—	—	—	—	—
・AES	—	—	R/W	—	—	—
・3DES	—	—	R/W	—	—	—
・RC4	—	—	R/W	—	—	—

ssh

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
ssh	—	—	R/W	—	—	R
ssh 設定	—	—	—	—	—	—
・圧縮転送	—	—	R/W	—	—	R

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
・ポート番号	−	−	R/W	−	−	R
・タイムアウト	−	−	R/W	−	−	R
・ログインタイムアウト	−	−	R/W	−	−	R
・暗号化アルゴリズム	−	−	R/W	−	−	R
・公開鍵	−	−	R/W	−	−	R

サイト証明書

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
サイト証明書チェック機能	−	−	R/W	−	−	−
インポート済みのサイト証明書	−	−	R/W	−	−	−
サイト証明書のインポート	−	−	R/W	−	−	−

機器証明書

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
証明書 1～6	−	−	R/W	−	−	−
利用する証明書	−	−	−	−	−	−
・SSL/TLS	−	−	R/W	−	−	−
・IEEE802.1X	−	−	R/W	−	−	−
・IPsec	−	−	R/W	−	−	−

IPsec

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
IPsec	―	―	―	―	―	―
・IPsec	―	―	R/W	―	―	―
・HTTPS 通信の除外	―	―	R/W	―	―	―
自動鍵交換設定	―	―	R/W	―	―	―

ユーザーロックアウト

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
ロックアウト	―	R/W	―	―	―	―
ログインパスワード入力許容回数	―	R/W	―	―	―	―
ロックアウト解除タイマー	―	R/W	―	―	―	―
ロックアウト解除までの時間	―	R/W	―	―	―	―

IEEE802.1X

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
ユーザー名	―	―	R/W	―	―	―
ドメイン名	―	―	R/W	―	―	―
EAP タイプ	―	―	R/W	―	―	―
IEEE802.1X クライアント証明書状態	―	―	R/W	―	―	―
パスワード	―	―	R/W	―	―	―
フェーズ 2 ユーザー名	―	―	R/W	―	―	―

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
フェーズ２メソッド	−	−	R/W	−	−	−
・EAP-TTLS	−	−	R/W	−	−	−
・PEAP	−	−	R/W	−	−	−
サーバー証明書の認証	−	−	R/W	−	−	−
中間認証局の信頼	−	−	R/W	−	−	−
サーバーID	−	−	R/W	−	−	−
サブドメイン許可	−	−	R/W	−	−	−

セキュリティー強化

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
ドライバー暗号鍵：暗号強度設定	R	R	R/W	R	−	R
ファームウェアアップデート	R	R/W	R	R	−	−
ファームウェア構成変更	R	R/W	R	R	−	−
SNMPv1，v2 による設定	R	R	R/W	R	−	R
アクセスセキュリティー設定	−	R/W	−	−	−	−
・攻撃拒否時間	−	R/W	−	−	−	−
・ユーザー管理対象数	−	R/W	−	−	−	−
・パスワード管理対象数	−	R/W	−	−	−	−
・状態監視間隔	−	R/W	−	−	−	−
パスワード攻撃検知	−	−	−	−	−	−
・許容回数	−	R/W	−	−	−	−
・測定時間	−	R/W	−	−	−	−

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
アクセス攻撃検知	−	−	−	−	−	−
・許容回数	−	R/W	−	−	−	−
・測定時間	−	R/W	−	−	−	−
・認証遅延処理時間	−	R/W	−	−	−	−
・同時アクセス管理対象数	−	R/W	−	−	−	−

Webpage 設定

［機器の管理］の［設定］の項目です。
管理者認証を設定しているときは、［管理者認証管理］の適用初期設定項目によって、ユーザーの操作権限は異なります。

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
Web Image Monitor オートログアウト	−	−	−	−	−	−
・Web Image Monitor オートログアウト設定時間	R	R	R/W	R	R/W	R
リンクページのリンク先設定	−	−	−	−	−	−
・URL1	R	R	R/W	R	R/W	R
・URL2	R	R	R/W	R	R/W	R
ヘルプリンク先設定	R	R	R/W	R	R/W	R
WSD/UPnP 設定	R	R	R/W	R	R/W	R

拡張機能初期設定

［機器の管理］の［設定］の項目です。

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
起動設定	－	R/W	－	－	－	－
拡張機能情報	R	R	R	R	R	R
インストール	－	R/W	－	－	－	－
アンインストール	－	R/W	－	－	－	－
管理者用設定	－	R/W	－	－	－	－
追加プログラム起動設定	－	R/W	－	－	－	－
追加プログラムインストール	－	R/W	－	－	－	－
追加プログラムアンインストール	－	R/W	－	－	－	－
拡張機能複製	－	R/W	－	－	－	－
カードセーブデータ複製	－	R/W	－	－	－	－

アドレス帳

［機器の管理］の中の項目です。

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
ユーザー追加	R/W	－	－	－	R/W	R/W
変更	R/W	－	－	－	R/W	R/W
削除	R/W	－	－	－	R/W	R/W
グループ追加	R/W	－	－	－	R/W	R/W

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
メンテナンス	R/W	−	−	−	R/W	R/W

印刷取消

［機器の管理］の中の項目です。

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
印刷中ジョブ消去	−	R/W	−	−	−	−
全ジョブ消去	−	R/W	−	−	−	−

機器のリセット

［機器の管理］の中の項目です。
管理者認証を設定しているときは、［管理者認証管理］の適用初期設定項目によって、ユーザーの操作権限は異なります。

設定項目	User	機器	N/W	文書	なし	あり
機器のリセット	−	R/W	−	−	R/W	−

アドレス帳の操作権限一覧

ヘッダーの見かた

閲覧：「閲覧」権限が設定されているユーザーです。
編集：「編集」権限が設定されているユーザーです。
編/削：「編集／削除」権限が設定されているユーザーです。
フル：「フルコントロール」権限が設定されているユーザーです。
登録者：アドレス帳に個人情報を登録されたユーザーです。ユーザーのログインユーザー名とログインパスワードを認知している本人です。
User：ユーザー管理者です。

マークの見かた

R/W：実行、変更、閲覧ができます。

R：閲覧ができます。

－：実行、変更、閲覧ができません。

登録情報

設定項目	閲覧	編集	編/削	フル	登録者	User
登録番号	R	R/W	R/W	R/W	R/W	R/W
名前	R	R/W	R/W	R/W	R/W	R/W
ヨミガナ	R	R/W	R/W	R/W	R/W	R/W

認証情報

設定項目	閲覧	編集	編/削	フル	登録者	User
ユーザーコード	－	－	－	－	－	R/W
ログインユーザー名	－	－	－	－	R	R/W
ログインパスワード	－	－	－	－	R/W*1	R/W*1
使用できる機能	－	－	－	－	R	R/W
印刷利用量制限	－	－	－	－	R	R/W

*1 パスワードは閲覧できません。

認証保護

設定項目	閲覧	編集	編/削	フル	登録者	User
宛先保護:アクセス許可ユーザー/グループ	－	－	－	R/W	R/W	R/W

登録先グループ

設定項目	閲覧	編集	編/削	フル	登録者	User
登録番号指定	R	R/W	R/W	R/W	R/W	R/W
検索	－	R/W	R/W	R/W	R/W	R/W

商標

Adobe、Acrobat、Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
Firefox は Mozilla Foundation の商標です。
Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista、Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。
OpenLDAP は、OpenLDAP Foundation の登録商標です。
SD および SD のロゴは、SD-3C, LLC の商標です。

・Internet Explorer の正式名称は次のとおりです。
　Microsoft® Internet Explorer® 6
・Windows Vista の製品名は以下のとおりです。
　Microsoft® Windows Vista® Ultimate
　Microsoft® Windows Vista® Business
　Microsoft® Windows Vista® Home Premium
　Microsoft® Windows Vista® Home Basic
　Microsoft® Windows Vista® Enterprise
・Windows 7 の製品名は以下のとおりです。
　Microsoft® Windows® 7 Home Premium
　Microsoft® Windows® 7 Professional
　Microsoft® Windows® 7 Ultimate
　Microsoft® Windows® 7 Enterprise
・Windows 8 の製品名は以下のとおりです。
　Microsoft® Windows® 8
　Microsoft® Windows® 8 Pro
　Microsoft® Windows® 8 Enterprise
・Windows 8.1 の製品名は以下のとおりです。
　Microsoft® Windows® 8.1
　Microsoft® Windows® 8.1 Pro
　Microsoft® Windows® 8.1 Enterprise
・Windows Server 2003 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows Server®2003 Standard Edition
Microsoft® Windows Server® 2003 Enterprise Edition
・Windows Server 2003 R2 の製品名は以下のとおりです。
Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Standard Edition
Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Enterprise Edition
・Windows Server 2008 の製品名は以下のとおりです。
Microsoft® Windows Server® 2008 Standard
Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise
・Windows Server 2008 R2 の製品名は以下のとおりです。
Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard
Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Enterprise
・Windows Server 2012 の製品名は以下のとおりです。
Microsoft® Windows Server® 2012 Foundation
Microsoft® Windows Server® 2012 Essentials
Microsoft® Windows Server® 2012 Standard
・Windows Server 2012 の製品名は以下のとおりです。
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Foundation
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Essentials
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard
Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
その他の製品名、名称は各社の商標または登録商標です。

索引

アルファベット

D

ＤＨＣＰ・・・・・・・・・・・・・・・・52, 209

G

ＧｉｇａＢｉｔイーサネット・・・・・・25, 48

I

ＩＰアドレス・・・・・・・・・・・・・・9
ＩＰアドレスの設定・・・・・・・・・・・51

L

ＬＡＮコネクター・・・・・・・・・・・・25, 48
ＬＥＤヘッドの清掃・・・・・・・・・・・189

U

ＵＳＢポート・・・・・・・・・・・・・・25
ＵＳＢ接続・・・・・・・・・・・・・・・50
ＵＳＢ接続がうまくいかない・・・・・・142

W

Ｗｅｂ　Ｉｍａｇｅ　Ｍｏｎｉｔｏｒ・・・37, 240

かな

あ

厚紙・・・・・・・・・・・・・・・・・・・63
安全上のご注意・・・・・・・・・・・・・10
安全に関する表示・・・・・・・・・・・・18

い

印刷時のトラブル・・・・・・・・・・・・140
印刷する・・・・・・・・・・・・・・・・87
印刷できない・・・・・・・・・・・・・・140
印刷を中止する・・・・・・・・・・・・・93
印刷内容のトラブル・・・・・・・・・・・143
印刷時のエラー・・・・・・・・・・・・・128
印刷に関するご注意・・・・・・・・・・・20
インストール・・・・・・・・・・・・・・41
インターフェース・・・・・・・・・・・・25
インターフェースケーブルの接続・・・・48
印刷濃度を調整する・・・・・・・・・・・193
印刷位置を調整する・・・・・・・・・・・193

う

後ろカバー・・・・・・・・・・・・・・・25

え

エラーコードがないメッセージ・・・・・129
エラーコードが表示されるメッセージ・・135
エコナイトセンサー・・・・・・・・・・・221

お

オプションの取り付け・・・・・・・・・・44
主な仕様・・・・・・・・・・・・・・・・233

か

外形寸法図・・・・・・・・・・・・・・・239
各部の名称と働き・・・・・・・・・・・・23
海外輸出規制・・・・・・・・・・・・・・20
関連法令及び規格・・・・・・・・・・・・2
紙づまり（Ａ１）　・・・・・・・・・・・156
紙づまり（Ａ２）　・・・・・・・・・・・158
紙づまり（Ｂ）　・・・・・・・・・・・・160
紙づまり（Ｃ）　・・・・・・・・・・・・163
紙づまり（Ｙ１）　・・・・・・・・・・・168
紙づまり（Ｙ２）　・・・・・・・・・・・168
紙づまり（Ｙ３）　・・・・・・・・・・・168
紙づまり（Ｚ１）　・・・・・・・・・・・170
紙づまり（Ｚ２）　・・・・・・・・・・・172
紙づまり（Ｚ３）　・・・・・・・・・・・174

き

基本的な印刷方法・・・・・・・・・・・・90
給紙トレイ・・・・・・・・・・・・・・・65
給紙コロ・・・・・・・・・・・・・・・・183

け

警告表示・・・・・・・・・・・・・・・・127
警告エラー・・・・・・・・・・・・・・・128
警告ラベル・・・・・・・・・・・・・・・18

こ

コピーガード・・・・・・・・・・・・・・104
合紙・・・・・・・・・・・・・・・・・・109
困ったときには・・・・・・・・・・・・・125
困ったときの処置・・・・・・・・・・・・128
こんなときには・・・・・・・・・・・・・140
コンピューターとの接続・・・・・・・・・48
国際エネルギースタープログラム・・・・21
高調波規制・・・・・・・・・・・・・・・21

し

使用済みプリンター・・・・・・・・・・277
使用済み消耗品・・・・・・・・・・・・277
省エネルギー機能・・・・・・・・・・・231
初期設定・・・・・・・・・・・・・・・・197
状態表示・・・・・・・・・・・・・・・・128
使用できる用紙・・・・・・・・・・・・・59
使用できない用紙・・・・・・・・・・・・57
消耗品の交換・・・・・・・・・・・・・・113

システム設定リスト・・・・・・・・・・・53
手動ドラム回転・・・・・・・・・・・・195
集約印刷・・・・・・・・・・・・・・・96

す

スタンプ印刷・・・・・・・・・・・・・103

せ

製本印刷・・・・・・・・・・・・・・・100
セキュリティ・・・・・・・・・・・・・22, 207
設定内容の確認・・・・・・・・・・・・53
設定メニュー・・・・・・・・・・・・・197, 240
設置環境・・・・・・・・・・・・・・・42
設置接続・・・・・・・・・・・・・・・11
清掃・・・・・・・・・・・・・・・・・183
節電・・・・・・・・・・・・・・・・・32

そ

操作パネル・・・・・・・・・・・・・・28
操作画面・・・・・・・・・・・・・・・30
増設トレイ・・・・・・・・・・・・・・237
増設トレイの紙づまり・・・・・・・・・168
増設トレイの取り付け・・・・・・・・・44
反り（用紙の反り）　・・・・・・・・・73, 194

ち

注意表示・・・・・・・・・・・・・・・10, 18
長尺紙・・・・・・・・・・・・・・・・61

て

定着器の清掃・・・・・・・・・・・・・191
定期交換部品・・・・・・・・・・・・・124
定着ユニット・・・・・・・・・・・・・27
手差しトレイ・・・・・・・・・・・・・24
手差しトレイの紙づまり・・・・・・・・158
電源コードの接続・・・・・・・・・・・46
電源プラグの清掃・・・・・・・・・・・191
電源コードの取り扱い・・・・・・・・・13
電源スイッチ・・・・・・・・・・・・・31
電波障害自主規制について・・・・・・・2
テスト印刷・・・・・・・・・・・・・・53
低温モード・・・・・・・・・・・・・・196

と

トナーカートリッジ・・・・・・・・・・26, 124
トナーカートリッジの交換・・・・・・・114
ドラムユニット・・・・・・・・・・・・26, 124
ドラムユニットの交換・・・・・・・・・119
トナーセーブ・・・・・・・・・・・・・103

ね

ネットワークの設定・・・・・・・・・・51

の

濃度調整・・・・・・・・・・・・・・・193

は

排紙口での紙づまり・・・・・・・・・・163
はがき・・・・・・・・・・・・・・・・73, 92

ひ

表示パネル・・・・・・・・・・・・・・30

ふ

普通紙・・・・・・・・・・・・・・・・59
封筒・・・・・・・・・・・・・・・・・59, 73
不定形サイズの用紙・・・・・・・・・・61, 81
プリンタードライバーのインストール・・41
物質エミッション・・・・・・・・・・・21
部単位・・・・・・・・・・・・・・・・102
分割印刷・・・・・・・・・・・・・・・98
分類コード・・・・・・・・・・・・・・110
ブザー・・・・・・・・・・・・・・・・125

へ

便利な印刷機能・・・・・・・・・・・・96

ほ

保証・・・・・・・・・・・・・・・・・2
ボタン・・・・・・・・・・・・・・・・28
本体を運ぶ・・・・・・・・・・・・・・15, 181

ま

前カバー・・・・・・・・・・・・・・・23
マルチページ・・・・・・・・・・・・・96
守ってほしいこと・・・・・・・・・・・179

め

メッセージ・・・・・・・・・・・・・・128
メンテナンスキット・・・・・・・・・・124

よ

用紙サイズ・・・・・・・・・・・・・・60, 81
用紙のセット・・・・・・・・・・・・・63, 65
用紙の保管・・・・・・・・・・・・・・57
用紙の種類・・・・・・・・・・・・・・63

ら

ラベル紙・・・・・・・・・・・・・・・56, 71

り

両面印刷・・・・・・・・・・・・・・・96

れ

レターヘッド紙・・・・・・・・・・・・79
レジストローラーの清掃・・・・・・・・186

使用済みコンピューター・プリンター・情報通信機器の回収再資源化について

カシオ計算機はご使用済みとなりました事業系コンピューター、プリンターおよび情報通信機器の回収・再資源化を有償にて行っております。
回収お申し込み方法など詳しくは下記ホームページをご覧ください。

http://www.casio.co.jp/csr/env/process/recycle/info_recycle/pc/

ポイント やむを得ずご自身で廃棄されるときは、必ず地域の条例や自治体の指示に従ってください。

使用済み消耗品の回収とリサイクルについて

ご使用済み「カシオ純正消耗品」無料回収のご案内

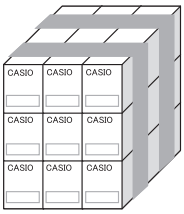
カシオ計算機はご使用済みとなりました「カシオ純正消耗品」を、地球環境保全と資源の有効活用のために無料で回収しております。

無料回収お申し込みホームページ　http://casio.jp/ppr/eco

回収時の環境負荷低減の為に『まとめ回収』にご協力ください。

3 ～ 9 個をテープでしばって回収業者にお渡しください。

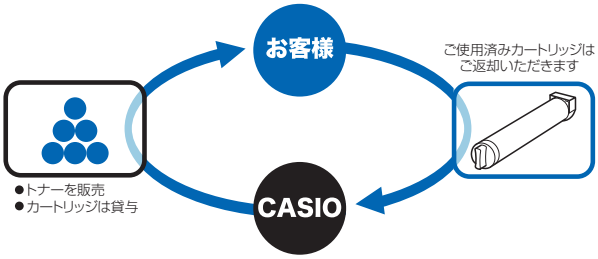
「未使用品」や「カシオ純正品以外のもの」が混ざらないようにご注意ください。



「回収協力トナーカートリッジ」をご活用ください

環境配慮と低ランニングコストを実現する回収協力トナーカートリッジ

使用済みカートリッジをカシオが無料で回収しリユースすることを前提とした「回収協力トナーカートリッジ」を、お手頃な価格でご提供しております。



CASIO

お問い合わせ窓口

製品の修理・メンテナンスに関するお問い合わせ

修理の内容・方法・期間・費用など詳しくは下記までお問い合わせください。

0570-033066

携帯電話・PHS・IP 電話等をご利用の場合　**042-503-7243**

製品の機能設定方法・ソフト障害に関するお問い合わせ

0570-066044

携帯電話・PHS・IP 電話等をご利用の場合　**042-503-7232**

カシオテクノ株式会社　カスタマーコンタクトセンター

＜受付時間＞月曜日～土曜日　AM9:00 ～ PM5:30（日・祝日・弊社指定休業日を除く）

消耗品やオプションのご購入に関するお問い合わせ

お買上の販売店および弊社営業所までお問い合わせください。

お客様サポートホームページ

http://casio.jp/support/ppr/

SPEEDIA B9500シリーズ

取扱説明書

2015 年 2 月 6 日　第1版

カシオ計算機株式会社
〒 151-8543 東京都渋谷区本町 1-6-2
カシオ電子工業株式会社

© CASIO ELECTRONICS MANUFACTURING CO., LTD.
© CASIO COMPUTER CO., LTD.

T-1097
CE1502